

**令和7年度  
寄居町人権問題に関する町民意識調査  
調査結果報告書**

**令和8年2月**

**寄居町・寄居町教育委員会・寄居町人権教育推進協議会**



# 目次

<b>1</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1	調査の目的 .....	3
2	調査の方法 .....	3
3	回収結果 .....	3
4	集計にあたっての留意点 .....	3
<b>2</b>	<b>回答者について</b> .....	<b>4</b>
1	性別 .....	4
2	年齢 .....	4
3	回答方法 .....	5
<b>3</b>	<b>人権全般について</b> .....	<b>6</b>
1	基本的人権が尊重されている社会だと思うか .....	6
2	関心のある人権問題 .....	8
3	人権侵害の有無 .....	10
4	人権を侵害されたと感じたこと .....	11
5	人権を侵害された場合の対応 .....	13
<b>4</b>	<b>女性の人権について</b> .....	<b>15</b>
1	女性の人権が尊重されていないと感じる状況 .....	15
2	女性の人権を守るために必要なこと .....	17
<b>5</b>	<b>子どもの人権について</b> .....	<b>19</b>
1	子どもの人権が尊重されていないと感じる状況 .....	19
2	子どもの人権を守るために必要なこと .....	21
<b>6</b>	<b>高齢者の人権について</b> .....	<b>23</b>
1	高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況 .....	23
2	高齢者の人権を守るために必要なこと .....	25
<b>7</b>	<b>障害のある人の人権について</b> .....	<b>27</b>
1	障害のある人の人権が尊重されていないと感じる状況 .....	27
2	障害のある人の人権を守るために必要なこと .....	29
3	障害者差別解消法の認知状況 .....	31
<b>8</b>	<b>外国人の人権について</b> .....	<b>33</b>
1	外国人の人権が尊重されていないと感じる状況 .....	33
2	外国人の人権を守るために必要なこと .....	35
3	ヘイトスピーチ解消法の認知状況 .....	37
<b>9</b>	<b>同和問題（部落差別）について</b> .....	<b>39</b>
1	同和問題（部落差別）の認知状況 .....	39
2	同和問題（部落差別）を知った時期 .....	41
3	同和問題（部落差別）を知ったきっかけ .....	43
4	同和問題（部落差別）の起源 .....	45

5	部落差別が起こる場面・事例	47
6	インターネット上での同和問題（部落差別）に関する人権侵害	48
7	居住地に同和地区を避けるか	49
8	子の結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応	49
9	結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応	50
10	結婚や就職の際の同和地区出身者であるかについての身元調査の是非	50
11	同和問題を解決するために必要なこと	51
12	部落差別解消推進法の認知状況	52
13	埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例の認知状況	54
<b>10</b>	<b>インターネットによる人権侵害について</b>	<b>55</b>
1	インターネットによる人権侵害	55
2	インターネット等による人権侵害を解決するために必要なこと	57
<b>11</b>	<b>性的少数者（LGBTQ等）の人権について</b>	<b>59</b>
1	性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じる状況	59
2	性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要なこと	61
3	LGBT理解増進法の認知状況	63
<b>12</b>	<b>その他の人権問題について</b>	<b>64</b>
1	その他にどのような人権問題があるか	64
<b>13</b>	<b>自由回答</b>	<b>66</b>
<b>14</b>	<b>調査のまとめ</b>	<b>68</b>
1	回答者について	68
2	人権全般について	68
3	女性の人権について	68
4	子どもの人権について	69
5	高齢者の人権について	69
6	障害のある人の人権について	69
7	外国人の人権について	70
8	同和問題（部落差別）について	70
9	インターネットによる人権侵害について	71
10	性的少数者（LGBTQ等）の人権について	71
11	その他の人権問題について	71
<b>15</b>	<b>調査票</b>	<b>72</b>

# 1 調査の概要

## 1 調査の目的

本町の人権・同和問題に関する住民の意識の現状を把握し、今後における町の人権教育・啓発に役立てるため、実施しました。

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域 寄居町全域
- (2) 調査対象 満 18 歳以上の住民（住民基本台帳登録者）
- (3) 対象人数 1,200 人（人口比率による無作為抽出）
- (4) 調査期間 令和 7 年 8 月 20 日～9 月 30 日
- (5) 調査方法 発送：郵送、回収：郵送とインターネット回答の併用

## 3 回収結果

標本数	回収数	回収率
1,200 件	460 件 (うち、インターネット回答 90 件)	38.3%

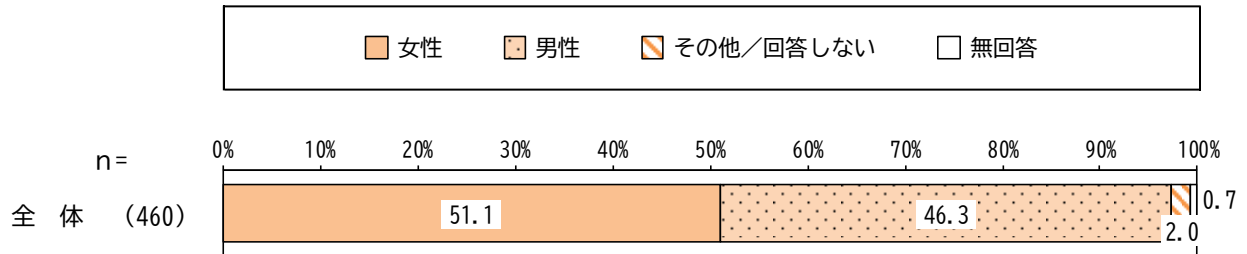
## 4 集計にあたっての留意点

- (1) 調査結果の構成比はすべて百分比 (%) で表しており、その質問の回答者総数 (n) を基数として、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しています。そのため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、構成比の合計が 100%を超えることがあります。
- (3) 質問の選択肢は意味を損なわない程度に省略した表現を用いていることがあります。
- (4) 回答数が 10 人未満の回答については、回答数が少ないためコメントしていません。
- (5) 帯グラフ上で回答のない項目は見やすさを優先して数値 (0.0) を表示していません。
- (6) R 7 調査より、質問及び選択肢の一部を変更しているため、過去の調査と比較できない場合があります。

## 2 回答者について

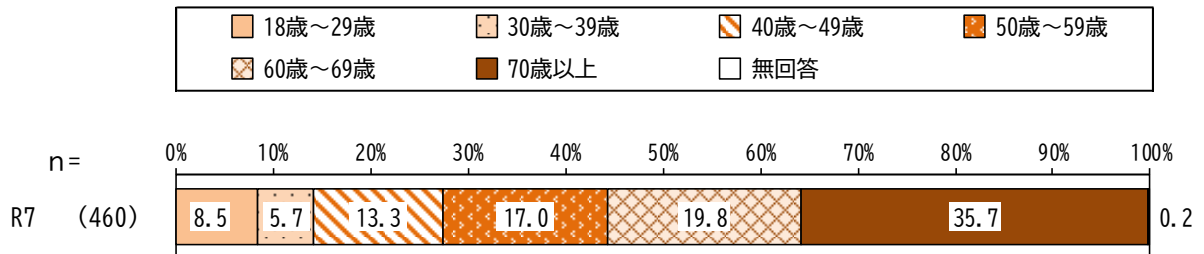
### 1 性別

問1 あなたの性別（自認する性別でも可）をお答えください。（○は1つ）



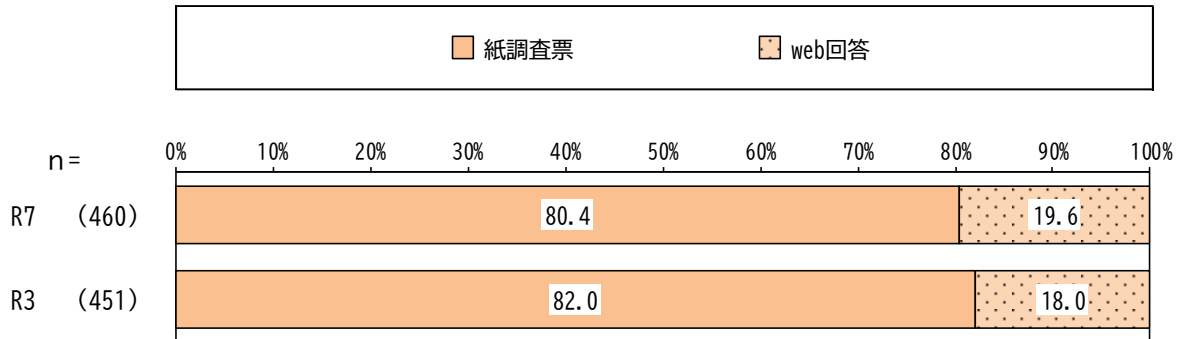
### 2 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

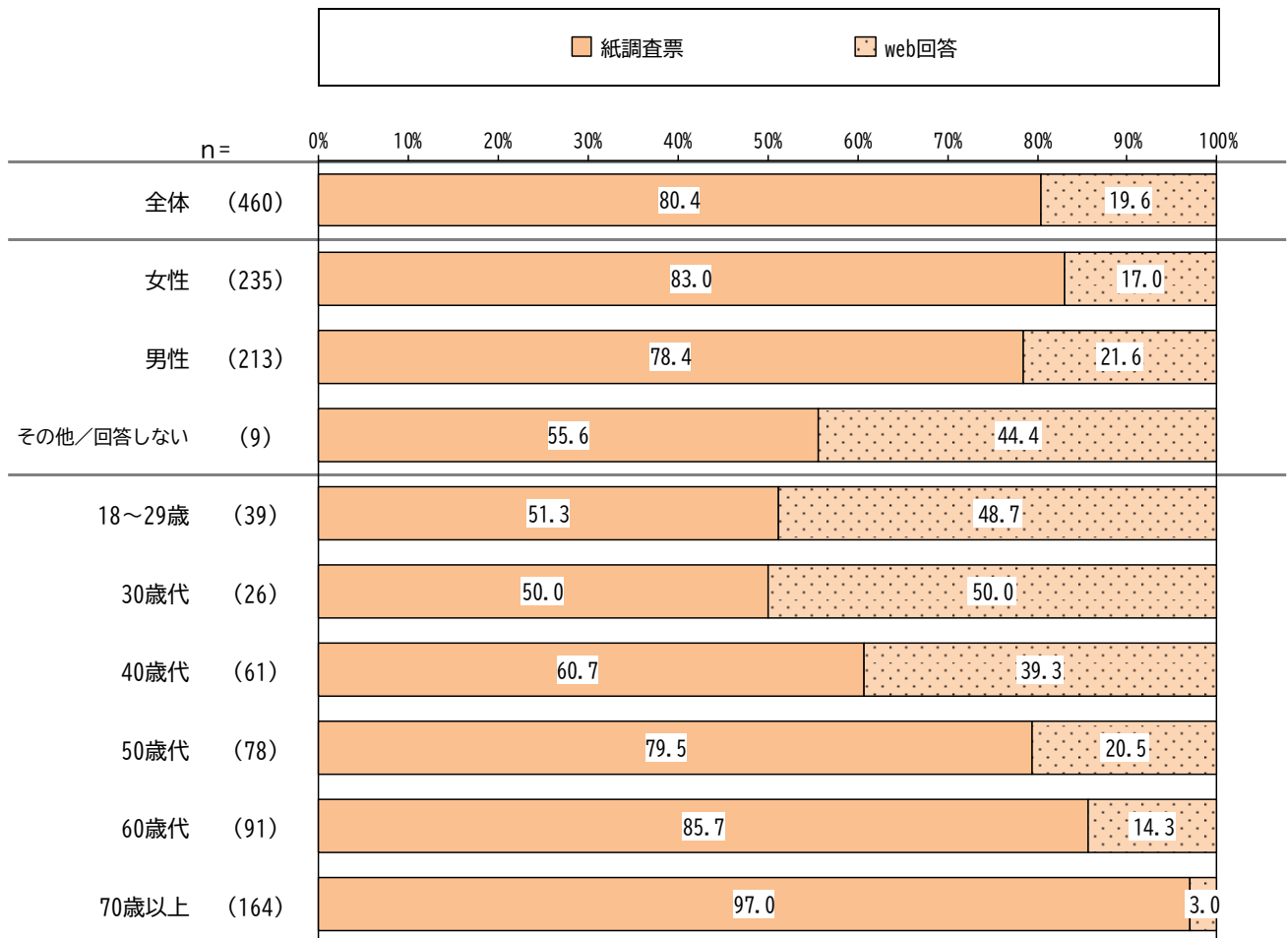


### 3 回答方法

#### ○回答方法



#### 【性別・年代別】



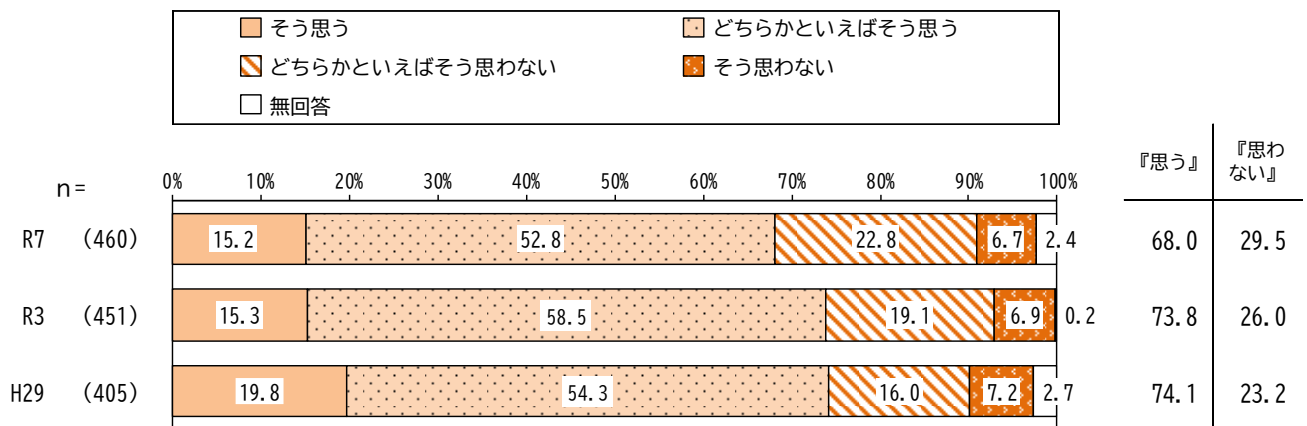
### 3 人権全般について

#### 1 基本的人権が尊重されている社会だと思うか

問3 あなたは、今の日本において、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(○は1つ)

今の日本において、基本的人権が尊重されている社会だと思うかについて、「そう思う」(15.2%)と「どちらかといえばそう思う」(52.8%)を合わせた『思う』が68.0%になっており、「どちらかといえばそう思わない」(22.8%)と「そう思わない」(6.7%)を合わせた『思わない』を38.5ポイントと大きく上回っています。

過去調査と比較すると、『思う』は令和3年度調査より5.8ポイント減少しています。



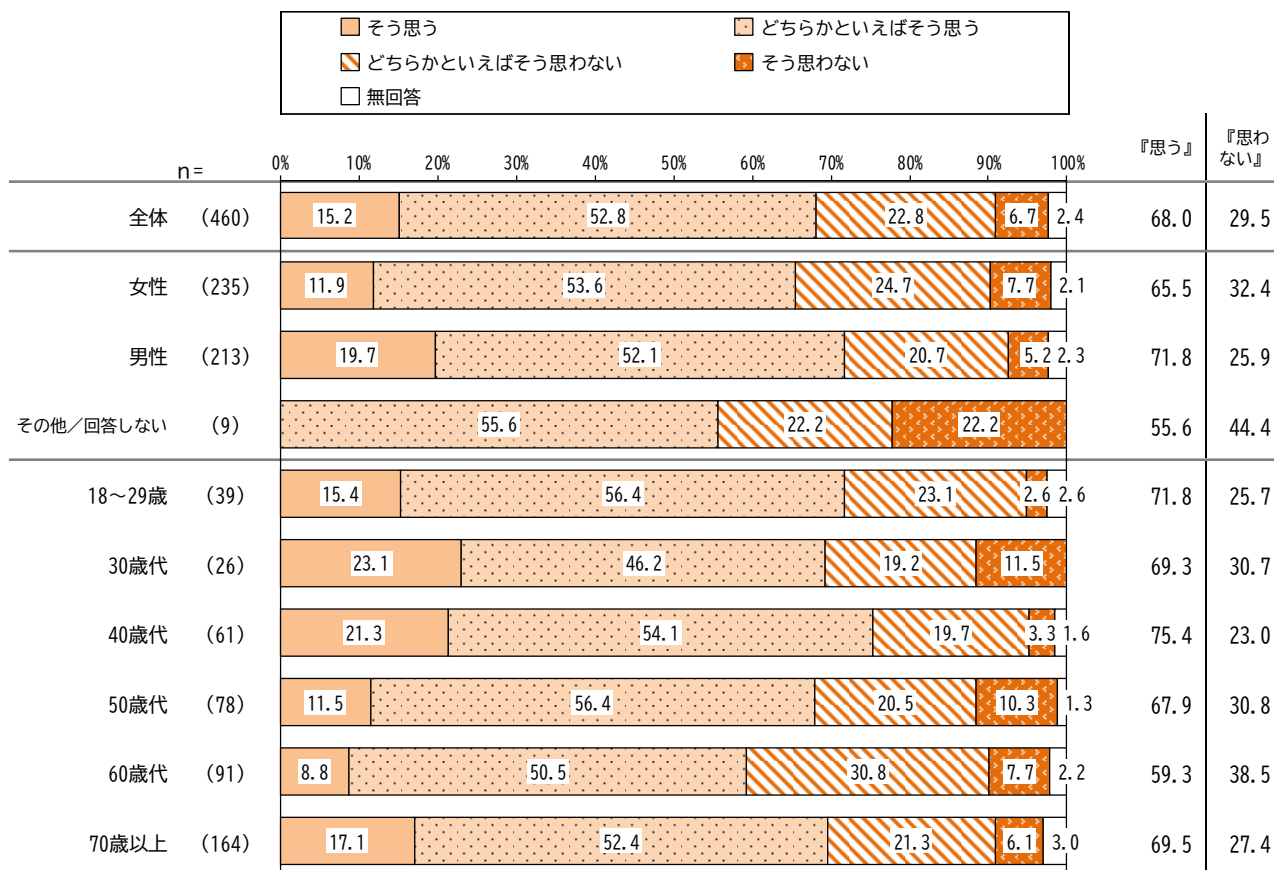
『思う』:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計

『思わない』:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計

## 【性別・年代別】

性別で見ると、『思う』は男性（71.8%）が女性（65.5%）を6.3ポイント上回っています。

年代別で見ると、60歳代以外のいずれの年代でも、『思う』が6割半ばを超えており、特に18～29歳と40歳代で7割を超えています。

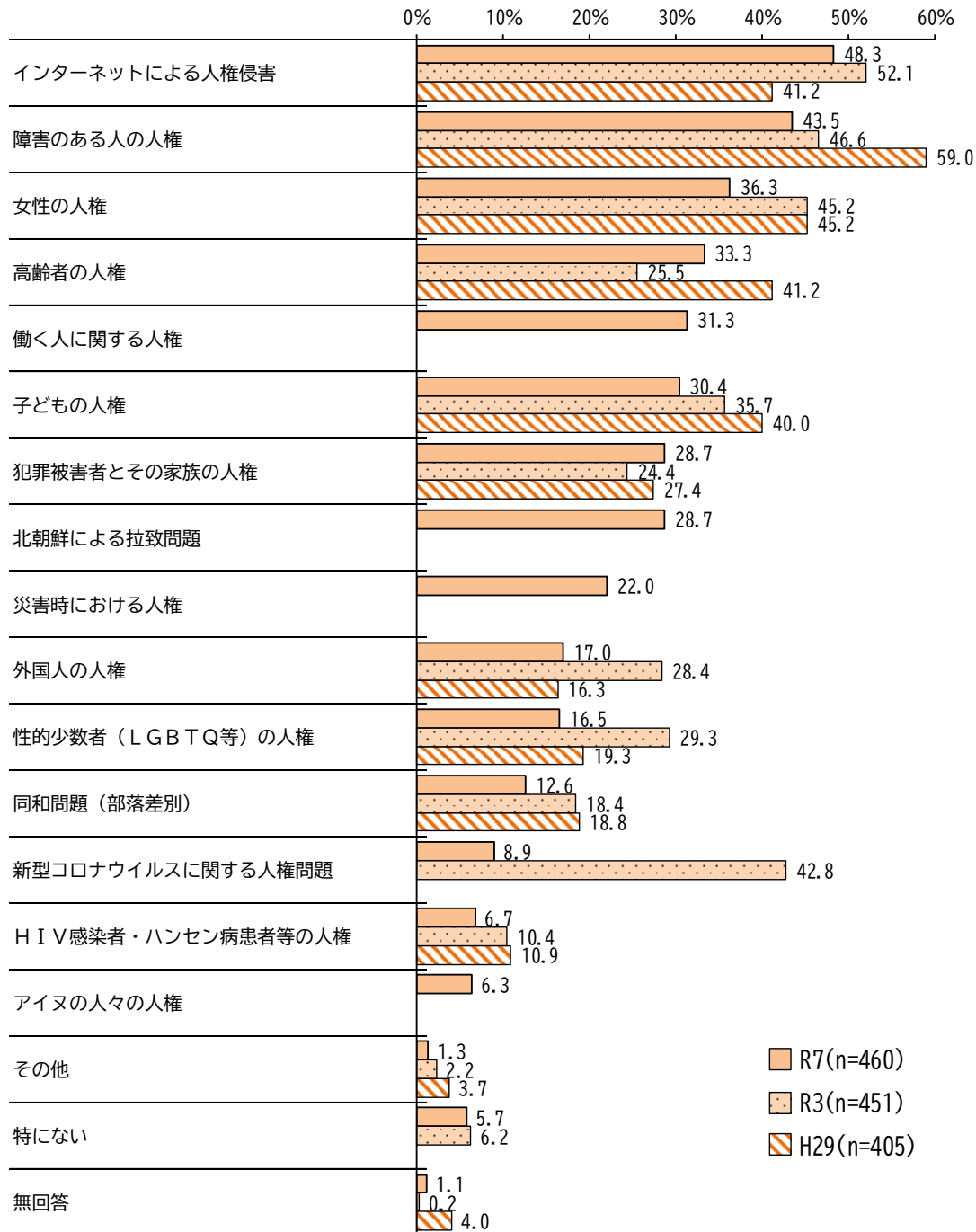


## 2 関心のある人権問題

問4 現在、日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

関心のある人権問題について、「インターネットによる人権侵害」(48.3%)と「障害のある人の人権」(43.5%)が4割を超えて高く、次いで「女性の人権」(36.3%)、「高齢者の人権」(33.3%)が続いています。

過去調査と比較すると、「高齢者の人権」「犯罪被害者とその家族の人権」以外の項目はいずれも令和3年度調査より下がっています。



「働く人に関する人権」「北朝鮮による拉致問題」「災害時における人権」「アイヌの人々の人権」はR7から  
「新型コロナウイルスに関する人権問題」「特にない」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「インターネットによる人権侵害」が最も高くなっています。「女性の人権」は女性（44.7%）が男性（26.8%）を17.9ポイント大きく上回っています。

年代別で見ると、30歳代では「女性の人権」、50歳代では「障害のある人の人権」が最も高く、それ以外の年代では「インターネットによる人権侵害」が最も高くなっています。また、30歳代では「外国人の人権」「性的少数者（LGBTQ等）の人権」が10ポイント以上、他の年代よりも高くなっています。

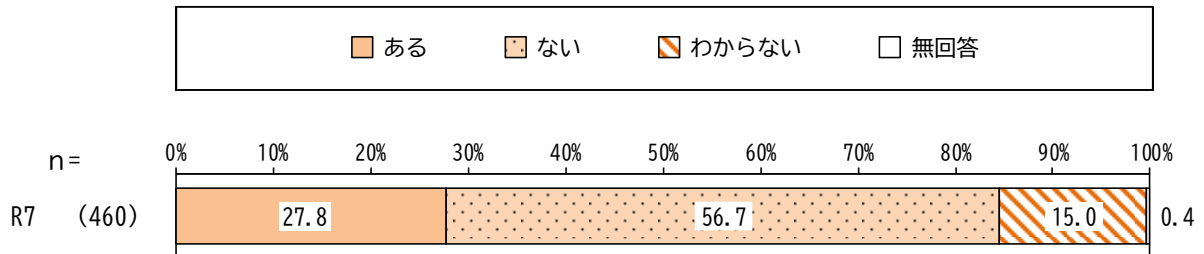
	回答者数 (n)	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障害のある人の人権	同和問題 (部落差別)	外国人の人権	インターネットによる人権侵害	性的少数者 (LGBTQ等)の人権	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	アイヌの人々の人権	
(単位:%)												
全体	(460)	36.3	30.4	33.3	43.5	12.6	17.0	48.3	16.5	6.7	6.3	
性別	女性	(235)	44.7	30.6	34.9	43.4	12.3	14.9	46.8	20.9	6.8	7.2
	男性	(213)	26.8	30.0	32.4	42.7	13.1	18.8	49.8	11.3	7.0	5.2
	その他/回答しない	(9)	55.6	44.4	22.2	55.6	11.1	22.2	55.6	33.3	0.0	11.1
年代別	18~29歳	(39)	51.3	43.6	17.9	35.9	5.1	20.5	53.8	20.5	2.6	5.1
	30歳代	(26)	57.7	42.3	11.5	34.6	7.7	30.8	46.2	38.5	0.0	0.0
	40歳代	(61)	31.1	39.3	24.6	37.7	19.7	11.5	55.7	18.0	4.9	6.6
	50歳代	(78)	33.3	30.8	26.9	51.3	11.5	16.7	47.4	19.2	9.0	10.3
	60歳代	(91)	34.1	29.7	42.9	47.3	7.7	17.6	48.4	16.5	8.8	6.6
	70歳以上	(164)	34.1	22.6	41.5	43.3	15.9	15.9	45.1	10.4	7.3	5.5

	回答者数 (n)	犯罪被害者とその家族の人権	新型コロナウイルスに関する人権問題	北朝鮮による拉致問題	災害時における人権	働く人に関する人権	その他	特になし	無回答	
(単位:%)										
全体	(460)	28.7	8.9	28.7	22.0	31.3	1.3	5.7	1.1	
性別	女性	(235)	28.5	10.6	28.5	21.7	28.9	0.9	5.5	0.9
	男性	(213)	29.1	6.6	29.6	22.5	32.9	1.4	5.6	0.9
	その他/回答しない	(9)	22.2	22.2	11.1	22.2	55.6	11.1	11.1	0.0
年代別	18~29歳	(39)	10.3	5.1	15.4	23.1	43.6	2.6	5.1	0.0
	30歳代	(26)	34.6	3.8	19.2	23.1	46.2	0.0	3.8	0.0
	40歳代	(61)	31.1	6.6	21.3	31.1	37.7	4.9	4.9	0.0
	50歳代	(78)	32.1	10.3	23.1	20.5	33.3	2.6	6.4	0.0
	60歳代	(91)	31.9	14.3	31.9	22.0	35.2	0.0	3.3	1.1
	70歳以上	(164)	28.0	7.9	37.2	18.9	20.7	0.0	7.3	1.8

### 3 人権侵害の有無

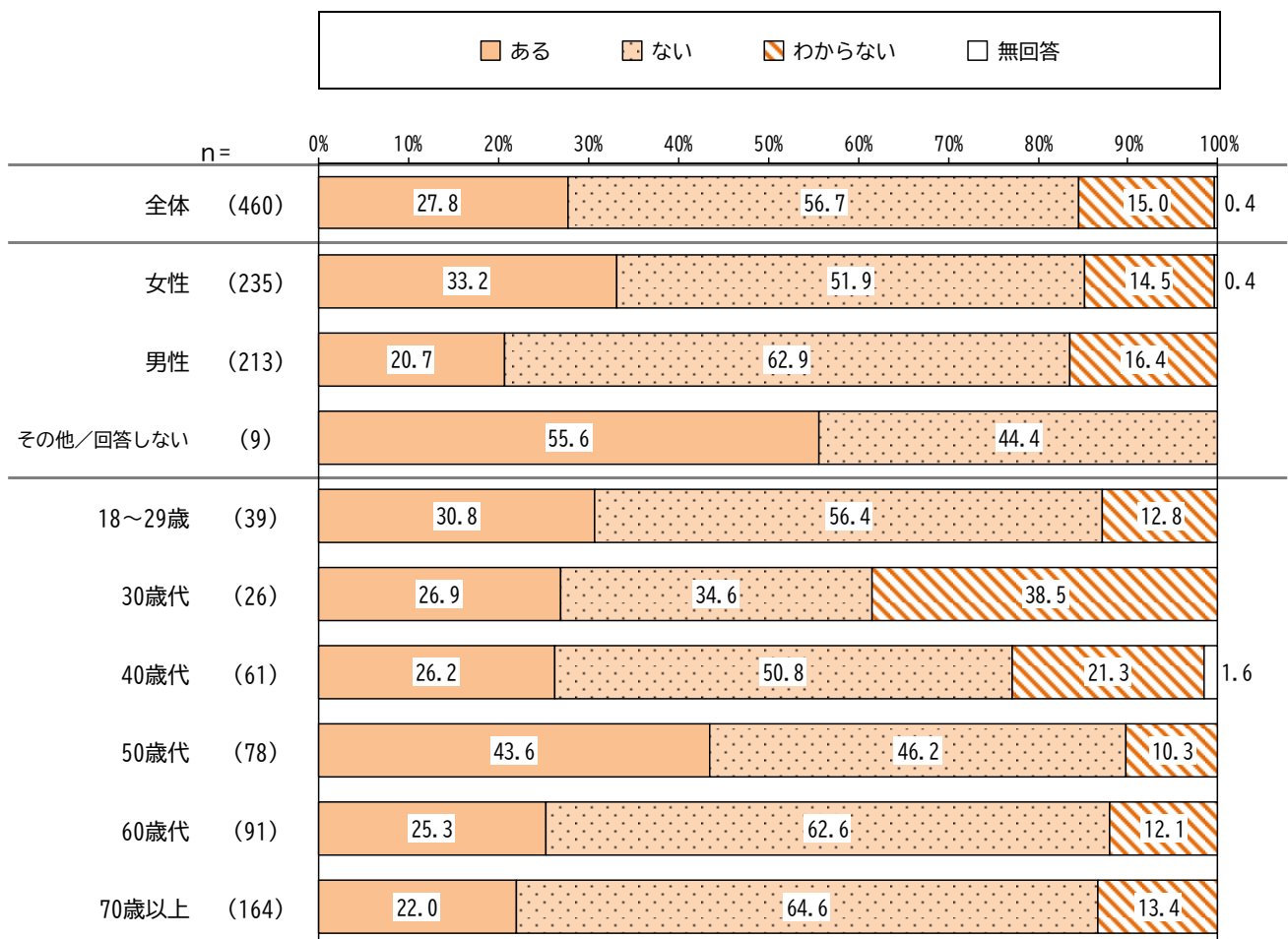
問5 あなたは、これまであなた自身、またはあなたの身近な人(家族・友人など)の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(○は1つ)

回答者自身や回答者の身近な人(家族・友人など)の人権が侵害されたと感じたことの有無について、「ある」が27.8%、「ない」が56.7%、「わからない」が15.0%となっています。



#### 【性別・年代別】

性別でみると、「ある」は女性(33.2%)が男性(20.7%)を12.5ポイント上回っています。年代別でみると、「ある」は50歳代で43.6%と4割を超えて、他の年代よりも高くなっています。

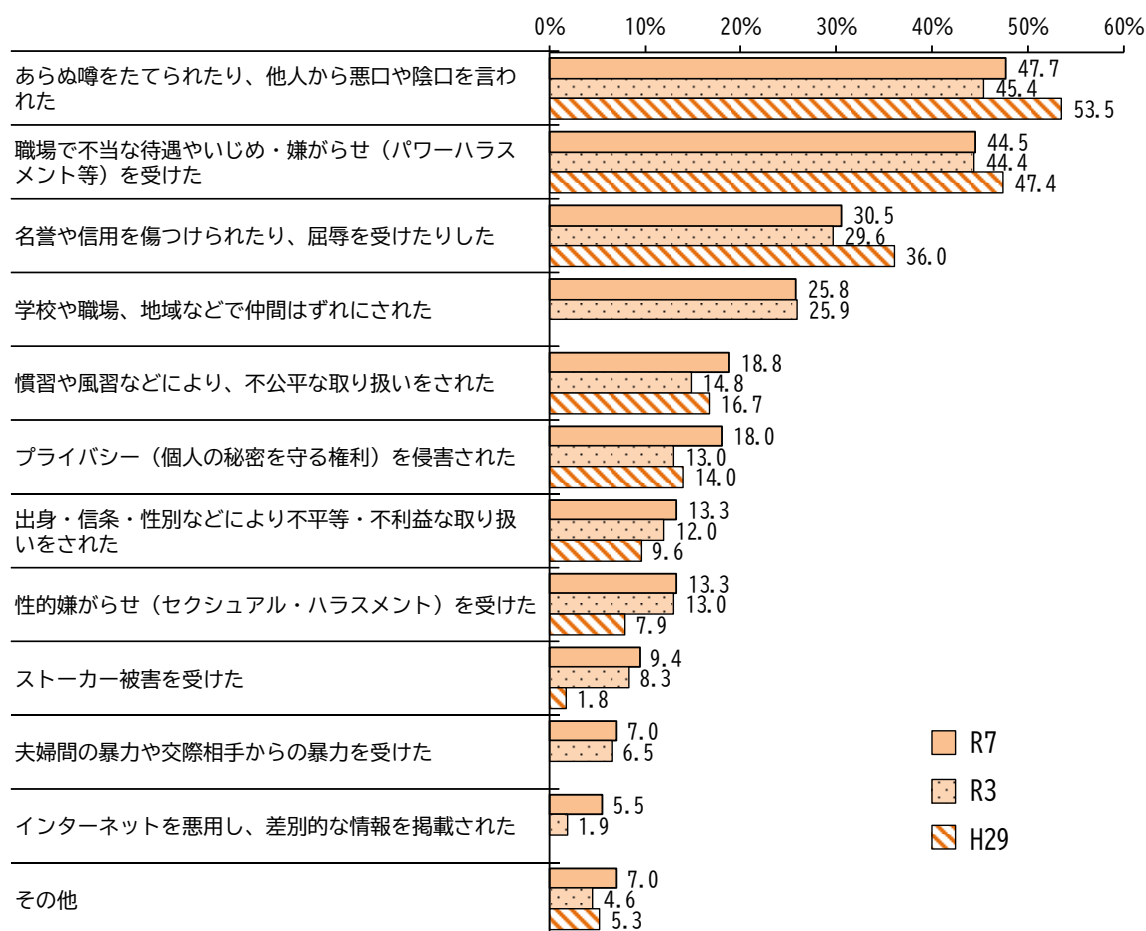


## 4 人権を侵害されたと感じたこと

問6 **【問5で人権を侵害されたことが「1.ある」と答えた方にお聞きします。】**  
 それはどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

人権を侵害されたと感じたことは、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」(47.7%)と「職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ(パワーハラスメント等)を受けた」(44.5%)が4割を超えて高く、次いで「名誉や信用を傷つけられたり、屈辱を受けたりした」(30.5%)、「学校や職場、地域などで仲間はずれにされた」(25.8%)が続いています。

過去調査と比較すると、「学校や職場、地域などで仲間はずれにされた」以外の項目はいずれも令和3年度調査より上がっており、特に「プライバシー(個人の秘密を守る権利)を侵害された」は5ポイント増加しています。



「職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ(パワーハラスメント等)を受けた」は、R3以前は「職場で不当な待遇や言動を受けた」

「ストーカー被害を受けた」は、R3以前は「執拗につきまとわれた(ストーカー行為)」

「学校や職場、地域などで仲間はずれにされた」「夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた」「インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された」はR3から

## 【性別・年代別】

性別でみると、女性は「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、男性は「職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ（パワーハラスメント等）を受けた」が最も高くなっています。12項目中9項目で女性が男性を上回っており、特に「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」は女性（55.1%）が男性（34.1%）を21.0ポイント大きく上回っています。

年代別でみると、40歳代以下と70歳以上では「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、50～60歳代では「職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ（パワーハラスメント等）を受けた」が最も高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	名誉や信用を傷つけられたり、屈辱を受けたりした	慣習や風習などにより、不公平な取り扱いをされた	出身・信条・性別などにより不平等・不利益な取り扱いをされた	職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ（パワーハラスメント等）を受けた	プライバシー（個人の秘密を守る権利）を侵害された	性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた
全体		(128)	47.7	30.5	18.8	13.3	44.5	18.0	13.3
性別	女性	(78)	55.1	33.3	19.2	15.4	46.2	15.4	19.2
	男性	(44)	34.1	29.5	11.4	9.1	43.2	18.2	2.3
	その他/回答しない	(5)	40.0	0.0	80.0	20.0	20.0	40.0	20.0
年代別	18～29歳	(12)	66.7	33.3	16.7	8.3	41.7	16.7	25.0
	30歳代	(7)	85.7	28.6	14.3	28.6	42.9	0.0	14.3
	40歳代	(16)	68.8	37.5	31.3	18.8	62.5	25.0	12.5
	50歳代	(34)	38.2	20.6	14.7	8.8	50.0	20.6	17.6
	60歳代	(23)	30.4	30.4	17.4	21.7	34.8	17.4	13.0
	70歳以上	(36)	44.4	36.1	19.4	8.3	38.9	16.7	5.6

(単位:%)		回答者数 (n)	ストーカー被害を受けた	インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	学校や職場、地域などで仲間はずれにされた	その他	無回答
全体		(128)	9.4	5.5	7.0	25.8	7.0	0.0
性別	女性	(78)	12.8	3.8	10.3	26.9	9.0	0.0
	男性	(44)	0.0	6.8	0.0	27.3	4.5	0.0
	その他/回答しない	(5)	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18～29歳	(12)	16.7	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0
	30歳代	(7)	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0
	40歳代	(16)	18.8	6.3	12.5	37.5	6.3	0.0
	50歳代	(34)	17.6	8.8	8.8	14.7	5.9	0.0
	60歳代	(23)	4.3	0.0	8.7	21.7	17.4	0.0
	70歳以上	(36)	0.0	8.3	0.0	27.8	5.6	0.0

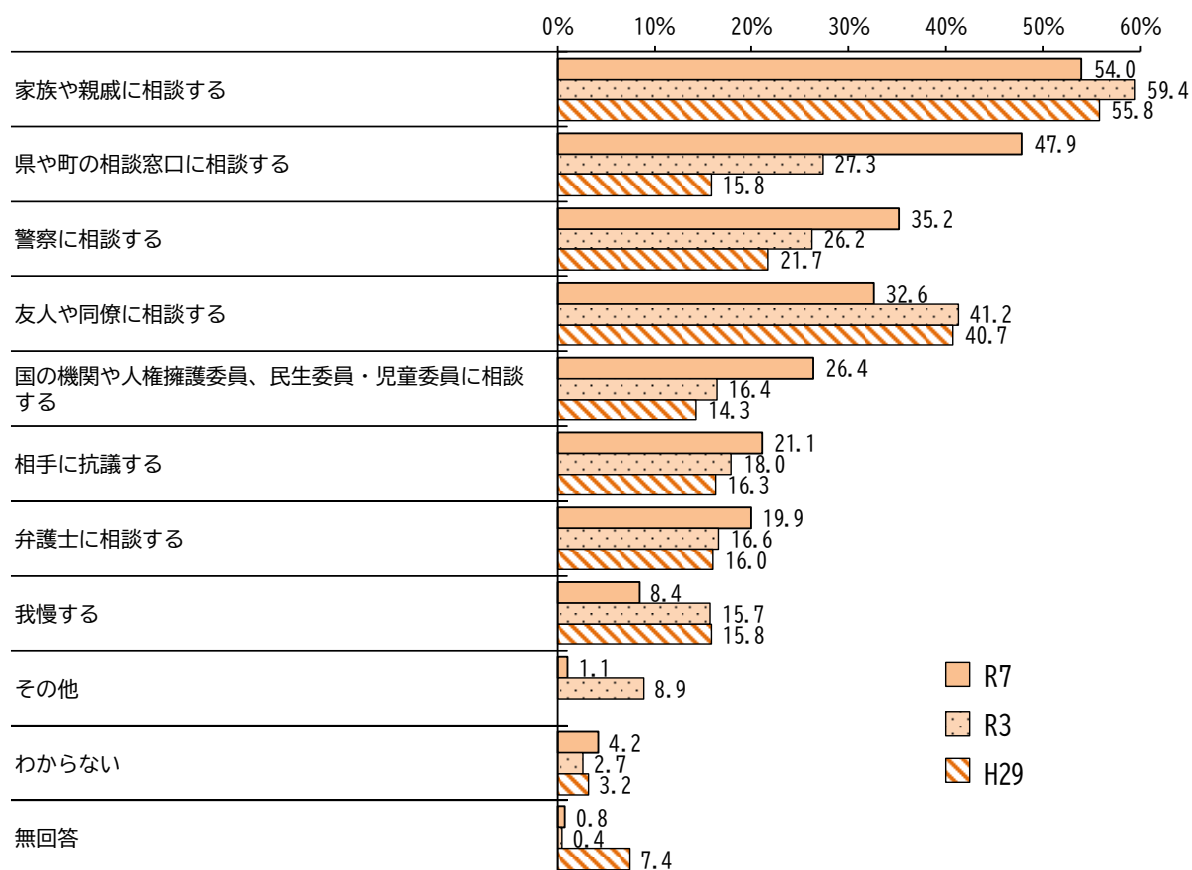
## 5 人権を侵害された場合の対応

問7 【問5で人権を侵害されたことが「2.ない」と答えた方にお聞きします。】

もし、あなた、またはあなたの身近な人(家族・友人など)が人権を侵害されたら、どのような対応をしますか。(あてはまるものすべてに○)

人権を侵害された場合の対応について、「家族や親戚に相談する」(54.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「県や町の相談窓口相談する」(47.9%)、「警察に相談する」(35.2%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「県や町の相談窓口相談する」が20.6ポイント、「国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する」が10.0ポイント増加しており、公的機関に相談する傾向がみられます。



## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「家族や親戚に相談する」、男性は「県や町の相談窓口で相談する」が最も高くなっています。特に「家族や親戚に相談する」は女性（62.3%）が男性（45.5%）を16.8ポイント、「相手に抗議する」は男性（27.6%）が女性（13.1%）を14.5ポイントと大きく上回っています。

年代別で見ると、60歳代以下では「家族や親戚に相談する」、70歳以上では「県や町の相談窓口で相談する」が最も高くなっています。また、30歳代以下では「友人や同僚に相談する」、40歳代以上では「県や町の相談窓口で相談する」が高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	友人や同僚に相談する	家族や親戚に相談する	警察に相談する	弁護士に相談する	国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する	県や町の相談窓口で相談する
全 体		(261)	32.6	54.0	35.2	19.9	26.4	47.9
性別	女性	(122)	32.0	62.3	36.9	18.0	27.0	47.5
	男性	(134)	31.3	45.5	34.3	21.6	26.1	49.3
	その他/回答しない	(4)	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18～29歳	(22)	59.1	68.2	13.6	9.1	13.6	18.2
	30歳代	(9)	66.7	77.8	33.3	44.4	22.2	11.1
	40歳代	(31)	32.3	51.6	22.6	19.4	12.9	45.2
	50歳代	(36)	33.3	61.1	33.3	30.6	33.3	50.0
	60歳代	(57)	29.8	52.6	36.8	21.1	22.8	49.1
	70歳以上	(106)	25.5	48.1	43.4	16.0	33.0	56.6

(単位:%)		回答者数 (n)	相手に抗議する	我慢する	その他	わからない	無回答
全 体		(261)	21.1	8.4	1.1	4.2	0.8
性別	女性	(122)	13.1	7.4	2.5	5.7	0.8
	男性	(134)	27.6	8.2	0.0	3.0	0.7
	その他/回答しない	(4)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18～29歳	(22)	36.4	4.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代	(9)	66.7	33.3	11.1	0.0	0.0
	40歳代	(31)	22.6	6.5	0.0	6.5	0.0
	50歳代	(36)	11.1	8.3	0.0	8.3	2.8
	60歳代	(57)	10.5	5.3	3.5	5.3	0.0
	70歳以上	(106)	22.6	9.4	0.0	2.8	0.9

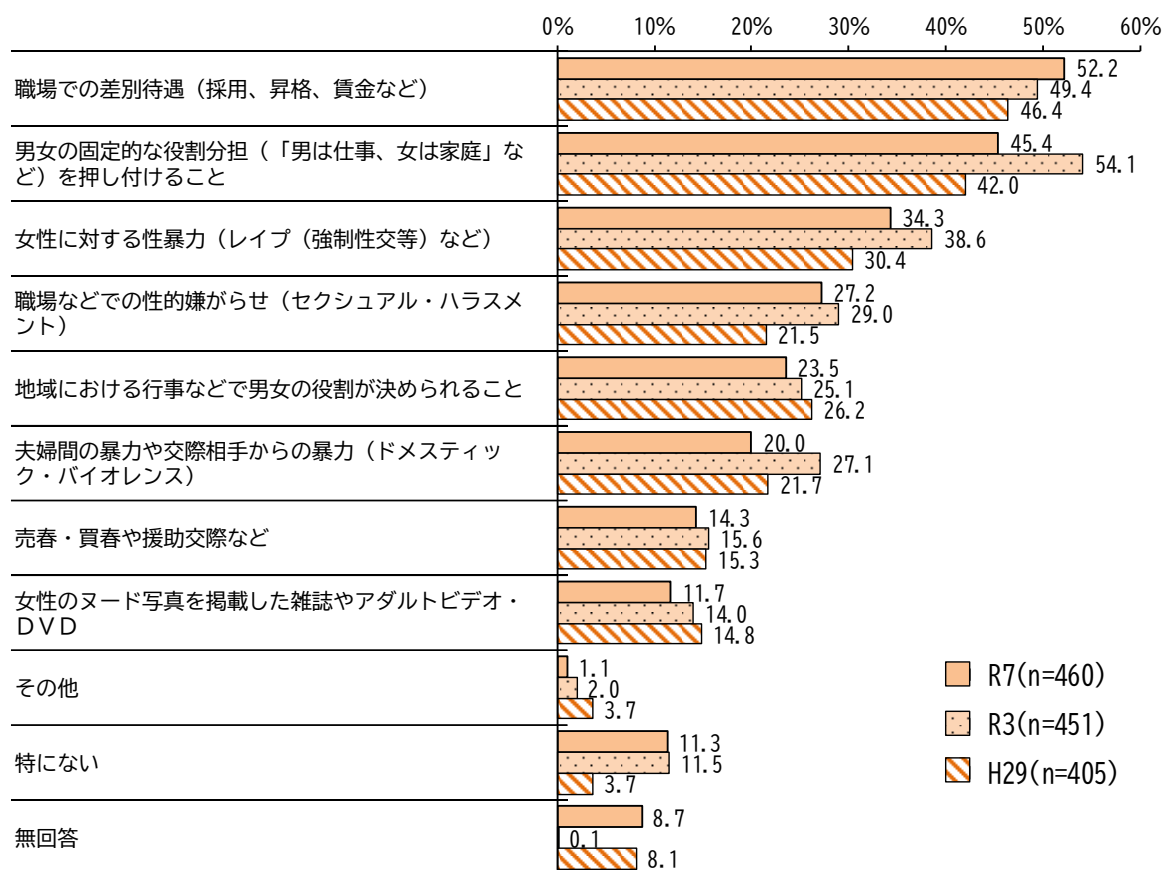
## 4 女性の人権について

### 1 女性の人権が尊重されていないと感じる状況

問8 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。  
(あてはまるものすべてに○)

女性の人権が尊重されていないと感じる状況は、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」（52.2%）が5割を超えて最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」（45.4%）、「女性に対する性暴力（レイプ（強姦性交等）など）」（34.3%）が続いています。

過去調査と比較すると、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」以外のすべての項目で令和3年度調査より下がっており、特に「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」が8.7ポイント減少しています。



「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」は、R3以前は「採用や昇格、賃金など職場における差別待遇」  
「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」は、R3以前は「男は仕事、女は家庭」などといった、男女の性別役割分担を押し付けること  
「女性のヌード写真を掲載した雑誌やアダルトビデオ・DVD」は、R3以前は「女性のヌード写真を掲載した雑誌やアダルトビデオ」

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」、男性は「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が最も高くなっています。また、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」「特にない」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」は20.2ポイント、「女性に対する性暴力（レイプ（強制性交等）など）」は12.7ポイントと女性が男性を大きく上回っています。

年代別で見ると、30歳代以下では「男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」、40歳代以上では「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が最も高くなっています。また、30歳代以下では「女性に対する性暴力（レイプ（強制性交等）など）」が5割を超えて、他の年代よりも高くなっています。

	回答者数 (n)	男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること	職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）	売春・買春や援助交際など	女性に対する性暴力（レイプ（強制性交等）など）	夫婦間の暴力や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	職場などでの性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）
全体	(460)	45.4	52.2	14.3	34.3	20.0	27.2
性別	女性	54.9	47.7	14.9	40.4	23.4	27.7
	男性	34.7	57.3	13.1	27.7	16.4	26.3
	その他/回答しない	66.7	55.6	33.3	33.3	22.2	33.3
年代別	18～29歳	71.8	56.4	12.8	51.3	30.8	43.6
	30歳代	57.7	50.0	11.5	57.7	19.2	42.3
	40歳代	55.7	57.4	18.0	36.1	19.7	21.3
	50歳代	39.7	48.7	14.1	32.1	21.8	26.9
	60歳代	52.7	57.1	11.0	30.8	27.5	24.2
	70歳以上	32.3	48.8	15.9	29.3	12.8	25.0

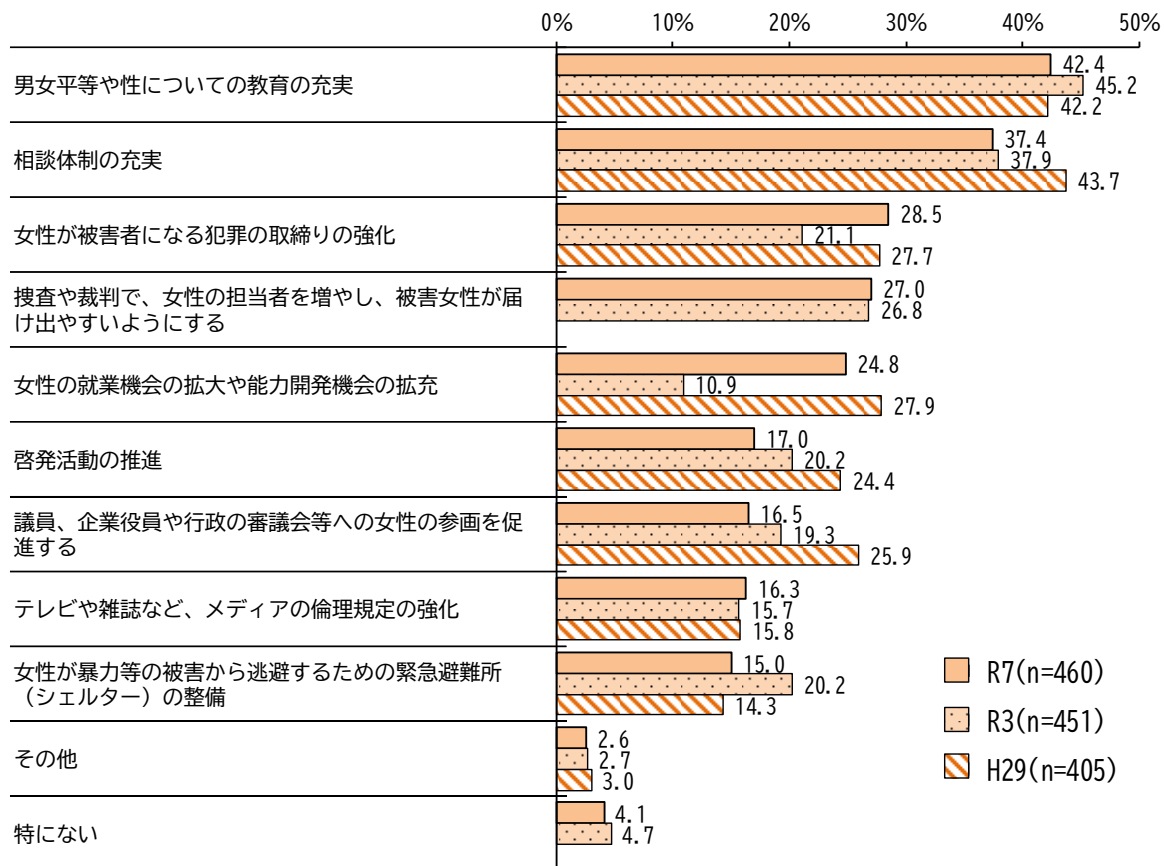
	回答者数 (n)	女性のヌード写真を掲載した雑誌やアダルトビデオ・DVD	地域における行事などで男女の役割が決められること	その他	特にない	無回答
全体	(460)	11.7	23.5	1.1	11.3	8.7
性別	女性	15.3	24.7	2.1	8.5	7.7
	男性	7.5	22.5	0.0	14.1	9.4
	その他/回答しない	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0
年代別	18～29歳	10.3	25.6	0.0	2.6	0.0
	30歳代	3.8	26.9	0.0	11.5	0.0
	40歳代	8.2	34.4	0.0	16.4	1.6
	50歳代	10.3	24.4	2.6	14.1	5.1
	60歳代	12.1	19.8	2.2	12.1	5.5
	70歳以上	15.2	20.1	0.6	9.8	17.7

## 2 女性の人権を守るために必要なこと

問9 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

女性の人権を守るために必要なことは、「男女平等や性についての教育の充実」(42.4%)が4割を超えて最も高く、次いで「相談体制の充実」(37.4%)、「女性が被害者になる犯罪の取締りの強化」(28.5%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「女性の就業機会の拡大や能力開発機会の拡充」が13.9ポイント、「女性が被害者になる犯罪の取締りの強化」が7.4ポイント増加しています。



「女性が被害者になる犯罪の取締りの強化」は、R3以前は「性犯罪取締りの強化」  
 「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届けやすいようにする」「特にない」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「男女平等や性についての教育の充実」が4割を超えて最も高くなっています。また「女性が被害者になる犯罪の取締りの強化」は女性（32.3%）が男性（23.9%）を8.4ポイント、「啓発活動の推進」は男性（22.5%）が女性（12.3%）を10.2ポイント上回っています。

年代別で見ると、すべての年代で「男女平等や性についての教育の充実」が最も高くなっています。また、30歳代と70歳以上で「相談体制の充実」、18～29歳で「女性の就業機会の拡大や能力開発機会の拡充」が4割を超えて、他の年代よりも高くなっています。

	回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	男女平等や性についての教育の充実	女性の就業機会の拡大や能力開発機会の拡充	議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	女性が暴力等の被害から逃避するための緊急避難所（シェルター）の整備	
(単位:%)								
全体	(460)	37.4	17.0	42.4	24.8	16.5	15.0	
性別	女性	(235)	35.3	12.3	41.7	24.7	17.0	18.3
	男性	(213)	40.8	22.5	42.3	23.5	15.5	11.7
	その他/回答しない	(9)	22.2	0.0	44.4	44.4	33.3	11.1
年代別	18～29歳	(39)	33.3	12.8	46.2	41.0	15.4	15.4
	30歳代	(26)	46.2	15.4	46.2	15.4	19.2	23.1
	40歳代	(61)	29.5	19.7	49.2	31.1	13.1	9.8
	50歳代	(78)	38.5	9.0	42.3	19.2	10.3	16.7
	60歳代	(91)	36.3	17.6	37.4	31.9	18.7	14.3
	70歳以上	(164)	40.2	20.1	40.9	18.3	19.5	15.2

	回答者数 (n)	女性が被害者になる犯罪の取締りの強化	捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする	テレビや雑誌など、メディアの倫理規定の強化	その他	特になし	無回答	
(単位:%)								
全体	(460)	28.5	27.0	16.3	2.6	4.1	2.6	
性別	女性	(235)	32.3	29.8	17.9	3.0	3.4	1.7
	男性	(213)	23.9	23.5	14.6	2.3	5.2	3.8
	その他/回答しない	(9)	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0
年代別	18～29歳	(39)	35.9	25.6	15.4	0.0	2.6	0.0
	30歳代	(26)	34.6	23.1	11.5	3.8	7.7	0.0
	40歳代	(61)	21.3	19.7	13.1	0.0	4.9	0.0
	50歳代	(78)	34.6	19.2	16.7	3.8	6.4	3.8
	60歳代	(91)	25.3	26.4	23.1	1.1	3.3	3.3
	70歳以上	(164)	27.4	34.8	14.6	4.3	3.0	3.7

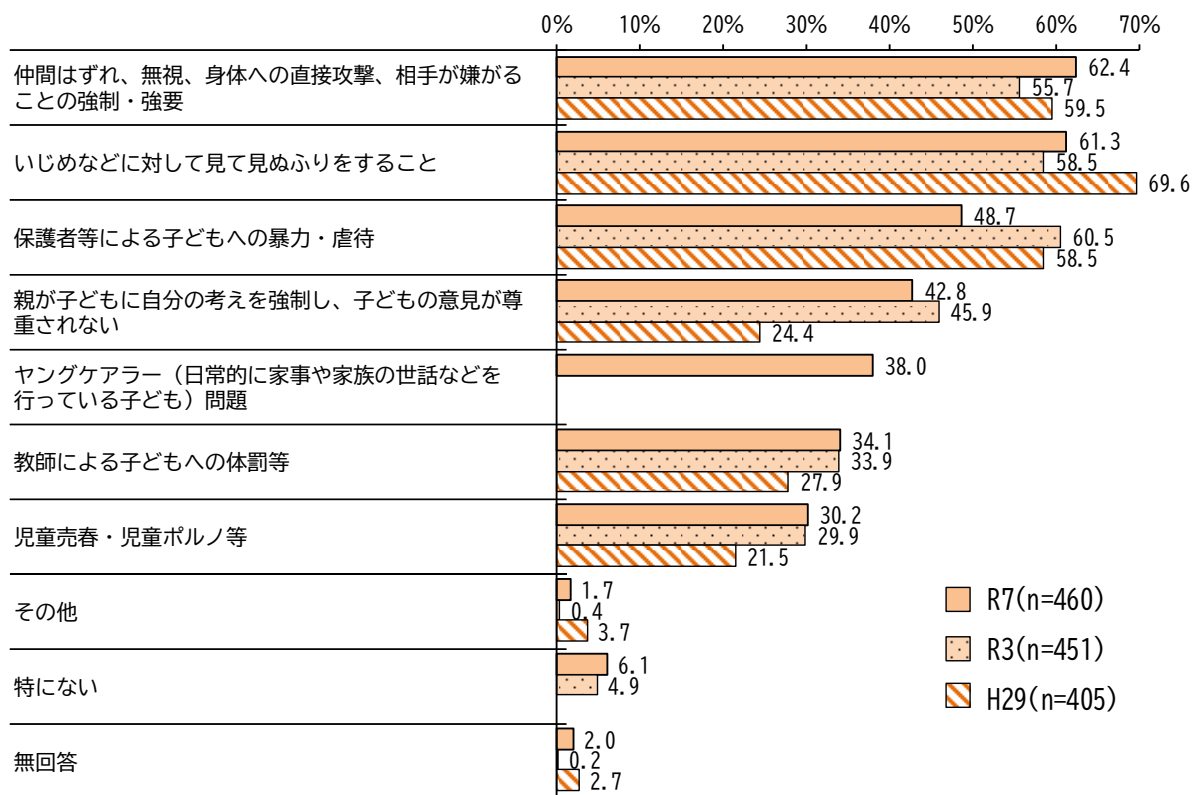
## 5 子どもの人権について

### 1 子どもの人権が尊重されていないと感じる状況

問10 あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要」(62.4%)と「いじめなどに対して見て見ぬふりをする事」(61.3%)が6割を超えて高く、次いで「保護者等による子どもへの暴力・虐待」(48.7%)、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない」(42.8%)が続いています。

過去調査と比較すると、「保護者等による子どもへの暴力・虐待」が令和3年度調査より11.8ポイント減少しています。



「仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要」は、R3以前は「子ども同士によるいじめ」  
 「ヤングケアラー（日常的に家事や家族の世話などを行っている子ども）問題」はR7から  
 「特になし」はR3から

## 【性別・年代別】

性別でみると、女性は「仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要」、男性は「いじめなどに対して見て見ぬふりをする事」がそれぞれ6割を超えて最も高くなっています。また、「いじめなどに対して見て見ぬふりをする事」「その他」「特にない」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「ヤングケアラー（日常的に家事や家族の世話などを行っている子ども）問題」は女性（46.8%）が男性（27.7%）を19.1ポイント大きく上回っています。

年代別でみると、18～29歳では「保護者等による子どもへの暴力・虐待」、30～50歳代では「仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要」、30歳代と50歳代以上では「いじめなどに対して見て見ぬふりをする事」が最も高くなっています。また、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない」は年代が低いほど高くなる傾向にあります。

	回答者数 (n)	教師による子どもへの 体罰等	保護者等による子ども への暴力・虐待	仲間はずれ、無視、身 体への直接攻撃、相手 が嫌がることの強制・ 強要	いじめなどに対して見 て見ぬふりをする事	親が子どもに自分の考 えを強制し、子どもの 意見が尊重されない	
(単位:%)							
全 体	(460)	34.1	48.7	62.4	61.3	42.8	
性別	女性	(235)	36.2	51.1	66.0	60.4	46.0
	男性	(213)	32.4	46.5	57.3	61.0	39.9
	その他/回答しない	(9)	11.1	22.2	77.8	88.9	22.2
年代別	18～29歳	(39)	33.3	71.8	66.7	66.7	66.7
	30歳代	(26)	38.5	46.2	57.7	57.7	57.7
	40歳代	(61)	32.8	49.2	63.9	49.2	45.9
	50歳代	(78)	34.6	46.2	56.4	56.4	39.7
	60歳代	(91)	34.1	52.7	67.0	69.2	39.6
	70歳以上	(164)	33.5	42.1	61.6	63.4	37.2

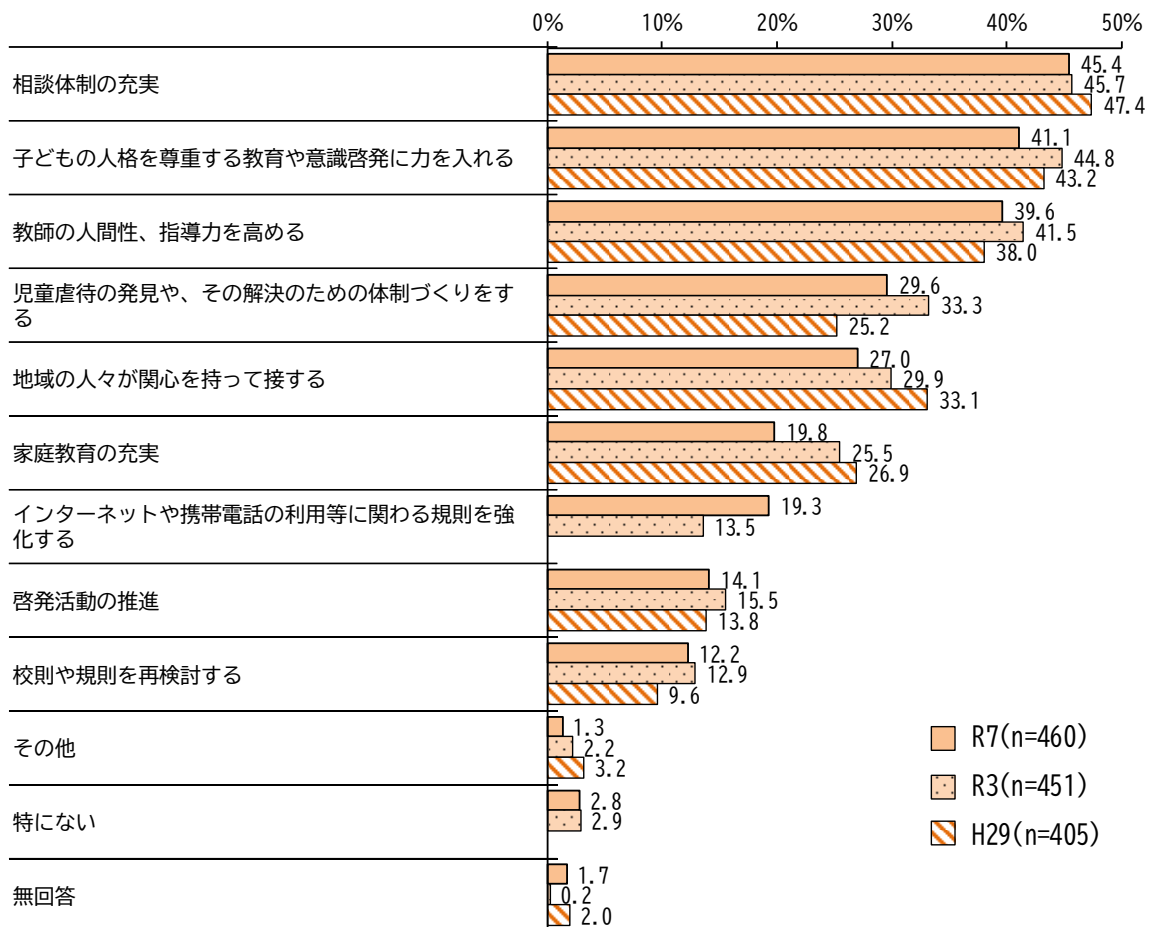
	回答者数 (n)	児童売春・児童ポル ノ等	ヤングケアラー（日常 的に家事や家族の世話 などを行っている子ど も）問題	その他	特にない	無回答	
(単位:%)							
全 体	(460)	30.2	38.0	1.7	6.1	2.0	
性別	女性	(235)	34.0	46.8	1.7	6.0	2.1
	男性	(213)	24.9	27.7	1.9	6.1	1.9
	その他/回答しない	(9)	44.4	66.7	0.0	11.1	0.0
年代別	18～29歳	(39)	28.2	46.2	0.0	0.0	0.0
	30歳代	(26)	42.3	42.3	0.0	3.8	0.0
	40歳代	(61)	31.1	42.6	1.6	3.3	0.0
	50歳代	(78)	30.8	41.0	1.3	11.5	3.8
	60歳代	(91)	33.0	46.2	2.2	5.5	1.1
	70歳以上	(164)	26.8	28.0	2.4	6.7	3.0

## 2 子どもの人権を守るために必要なこと

問 11 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

子どもの人権を守るために必要なことは、「相談体制の充実」(45.4%)と「子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる」(41.1%)が4割を超えて高く、次いで「教師の人間性、指導力を高める」(39.6%)、「児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする」(29.6%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「インターネットや携帯電話の利用等に関わる規則を強化する」が5.8ポイント増加し、「家庭教育の充実」が5.7ポイント減少しています。



「インターネットや携帯電話の利用等に関わる規則を強化する」「特にない」はR3から

【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「相談体制の充実」が4割を超えて最も高くなっています。

年代別で見ると、60歳代以下で「相談体制の充実」、70歳以上で「子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる」が最も高くなっています。

	回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる	校則や規則を再検討する	教師の人間性、指導力を高める	地域の人々が関心を持って接する	
(単位:%)								
全体	(460)	45.4	14.1	41.1	12.2	39.6	27.0	
性別	女性	(235)	47.7	11.1	39.1	11.9	37.4	24.3
	男性	(213)	44.1	17.4	42.7	12.2	41.8	29.1
	その他/回答しない	(9)	22.2	11.1	33.3	11.1	33.3	55.6
年代別	18~29歳	(39)	56.4	5.1	48.7	17.9	28.2	20.5
	30歳代	(26)	53.8	11.5	34.6	3.8	42.3	26.9
	40歳代	(61)	39.3	16.4	29.5	21.3	34.4	18.0
	50歳代	(78)	42.3	12.8	33.3	12.8	32.1	28.2
	60歳代	(91)	48.4	16.5	40.7	11.0	41.8	27.5
	70歳以上	(164)	43.3	15.2	48.2	9.1	45.7	31.1

	回答者数 (n)	家庭教育の充実	児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする	インターネットや携帯電話の利用等に関わる規則を強化する	その他	特にない	無回答	
(単位:%)								
全体	(460)	19.8	29.6	19.3	1.3	2.8	1.7	
性別	女性	(235)	19.1	31.9	21.7	1.7	2.6	2.1
	男性	(213)	19.7	27.2	16.9	0.9	3.3	1.4
	その他/回答しない	(9)	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
年代別	18~29歳	(39)	33.3	41.0	12.8	0.0	0.0	0.0
	30歳代	(26)	30.8	34.6	23.1	7.7	3.8	0.0
	40歳代	(61)	24.6	26.2	26.2	1.6	4.9	0.0
	50歳代	(78)	14.1	33.3	15.4	3.8	2.6	2.6
	60歳代	(91)	20.9	30.8	20.9	0.0	1.1	1.1
	70歳以上	(164)	15.2	25.0	18.9	0.0	3.7	3.0

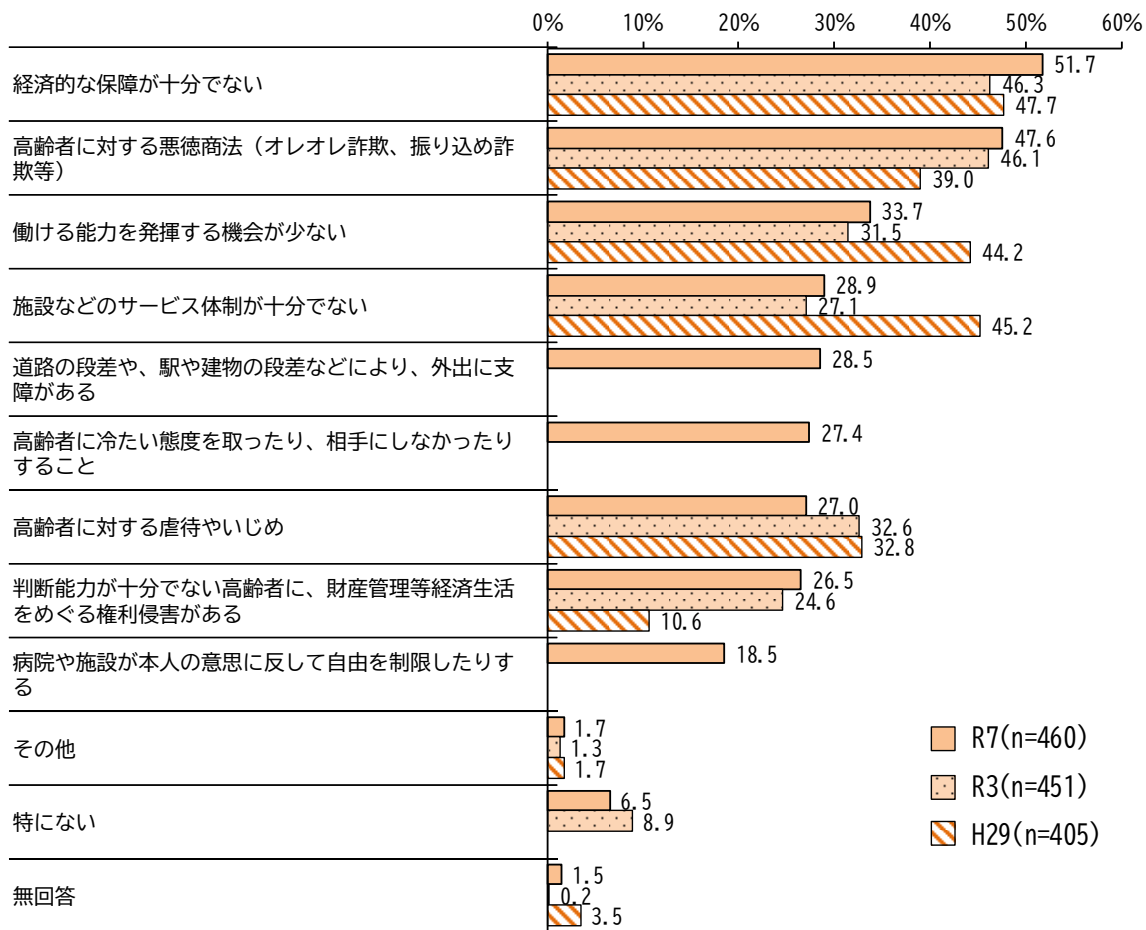
## 6 高齢者の人権について

### 1 高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況

問 12 あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的な保障が十分でない」(51.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「高齢者に対する悪徳商法(オレオレ詐欺、振り込め詐欺等)」(47.6%)、「働ける能力を発揮する機会が少ない」(33.7%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「経済的な保障が十分でない」が5.4ポイント増加し、「高齢者に対する虐待やいじめ」が5.6ポイント減少しています。



「判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある」は、R3以前は「財産管理等の権利侵害」  
 「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」「高齢者に冷たい態度を取ったり、相手にしなかったりすること」  
 「病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする」はR7から  
 「特になし」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）」、男性は「経済的な保障が十分でない」が最も高くなっています。また、「働ける能力を発揮する機会が少ない」「その他」「特にない」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）」は女性（54.0%）が男性（39.9%）を14.1ポイント大きく上回っています。

年代別で見ると、18～29歳、40歳代、60歳以上では「経済的な保障が十分でない」、30～50歳代では「高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）」が最も高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	経済的な保障が十分でない	働ける能力を発揮する機会が少ない	施設などのサービス体制が十分でない	病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする	高齢者に冷たい態度を取ったり、相手にしなかったりすること	高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）
全体		(460)	51.7	33.7	28.9	18.5	27.4	47.6
性別	女性	(235)	51.9	32.3	30.6	20.4	28.5	54.0
	男性	(213)	51.2	34.3	26.8	16.0	26.3	39.9
	その他/回答しない	(9)	66.7	55.6	33.3	22.2	22.2	55.6
年代別	18～29歳	(39)	46.2	25.6	20.5	15.4	25.6	41.0
	30歳代	(26)	26.9	30.8	26.9	15.4	26.9	42.3
	40歳代	(61)	50.8	41.0	27.9	23.0	29.5	50.8
	50歳代	(78)	53.8	32.1	35.9	21.8	20.5	59.0
	60歳代	(91)	57.1	34.1	29.7	19.8	30.8	45.1
	70歳以上	(164)	53.7	34.1	27.4	15.2	28.7	45.1

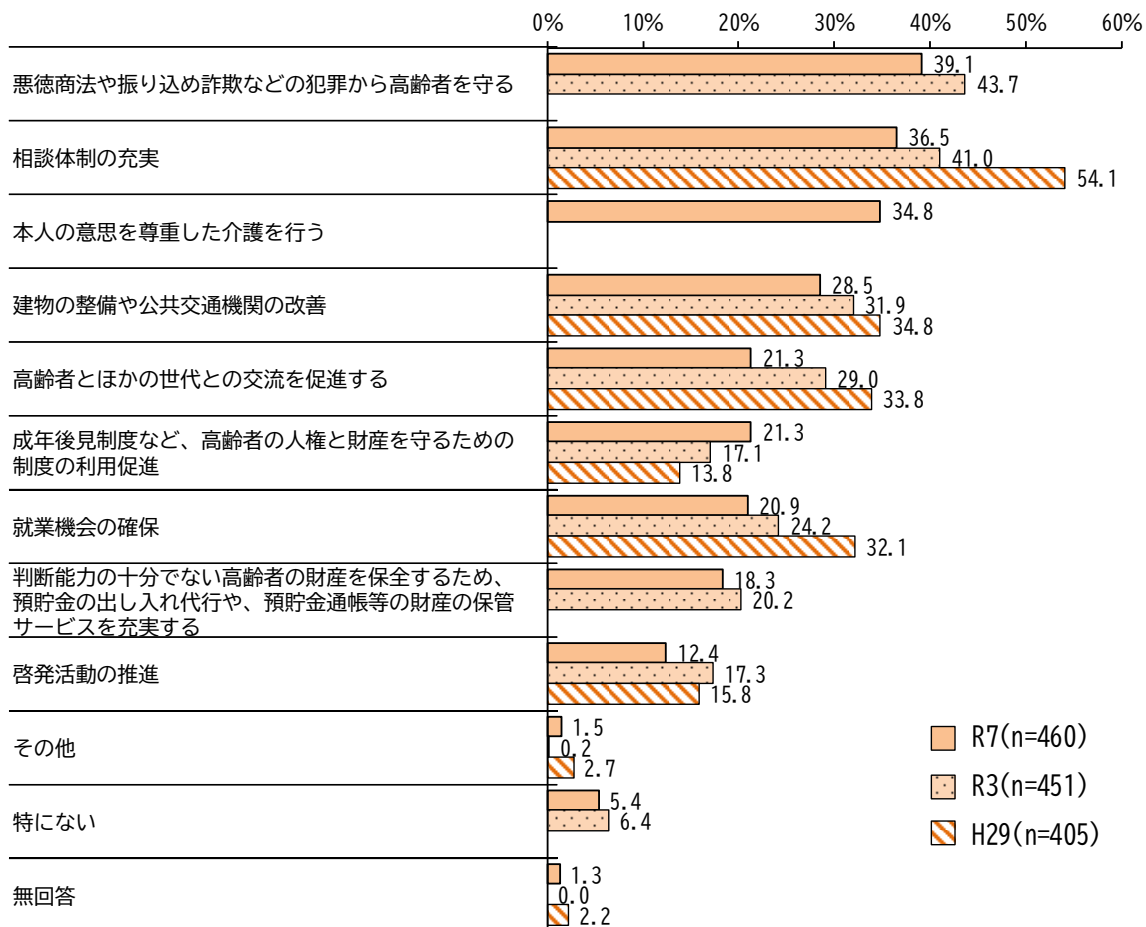
(単位:%)		回答者数 (n)	高齢者に対する虐待やいじめ	判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある	道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある	その他	特にない	無回答
全体		(460)	27.0	26.5	28.5	1.7	6.5	1.5
性別	女性	(235)	28.1	26.4	31.1	1.7	5.1	1.7
	男性	(213)	24.9	26.3	25.8	1.9	8.0	1.4
	その他/回答しない	(9)	44.4	33.3	33.3	0.0	11.1	0.0
年代別	18～29歳	(39)	30.8	25.6	25.6	0.0	10.3	0.0
	30歳代	(26)	26.9	30.8	23.1	0.0	15.4	3.8
	40歳代	(61)	29.5	31.1	19.7	1.6	11.5	0.0
	50歳代	(78)	24.4	23.1	35.9	5.1	9.0	2.6
	60歳代	(91)	27.5	30.8	25.3	1.1	2.2	1.1
	70歳以上	(164)	26.2	23.8	31.7	1.2	3.7	1.8

## 2 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 13 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

高齢者の人権を守るために必要なことは、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」(39.1%)が最も高く、次いで「相談体制の充実」(36.5%)、「本人の意思を尊重した介護を行う」(34.8%)が続いています。

過去調査と比較すると、「高齢者とほかの世代との交流を促進する」が令和3年度調査より7.7ポイント減少しています。



「高齢者とほかの世代との交流を促進する」は、R3以前は「世代間交流の促進」

「成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用促進」は、R3以前は「成年後見制度等の法整備強化」

「判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する」

は、R3は「財産管理サービス等の充実」

「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」「判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する」「特にない」はR3から

「本人の意思を尊重した介護を行う」はR7から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」、男性は「相談体制の充実」が最も高くなっています。

年代別で見ると、18～29歳で「高齢者とほかの世代との交流を促進する」、30～60歳代で「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」、70歳以上で「相談体制の充実」が最も高くなっています。また、30歳代で「判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する」が3割を超えて、他の年代より高くなっています。

		回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	就業機会の確保	建物の整備や公共交通機関の改善	高齢者とほかの世代との交流を促進する	判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する
(単位:%)								
全 体		(460)	36.5	12.4	20.9	28.5	21.3	18.3
性別	女性	(235)	37.4	8.5	18.3	30.2	24.7	16.6
	男性	(213)	<b>36.6</b>	16.9	23.5	25.8	17.8	20.2
	その他/回答しない	(9)	22.2	0.0	22.2	33.3	11.1	22.2
年代別	18～29歳	(39)	25.6	5.1	12.8	28.2	<b>41.0</b>	12.8
	30歳代	(26)	26.9	3.8	15.4	15.4	23.1	34.6
	40歳代	(61)	27.9	11.5	27.9	21.3	14.8	18.0
	50歳代	(78)	39.7	7.7	24.4	28.2	17.9	14.1
	60歳代	(91)	38.5	13.2	28.6	24.2	22.0	18.7
	70歳以上	(164)	<b>41.5</b>	17.7	15.2	35.4	19.5	18.9

		回答者数 (n)	成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用促進	悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る	本人の意思を尊重した介護を行う	その他	特にない	無回答
(単位:%)								
全 体		(460)	21.3	<b>39.1</b>	34.8	1.5	5.4	1.3
性別	女性	(235)	22.6	<b>41.3</b>	36.2	1.3	3.0	1.3
	男性	(213)	20.2	35.2	32.9	1.9	7.5	1.4
	その他/回答しない	(9)	22.2	<b>66.7</b>	33.3	0.0	22.2	0.0
年代別	18～29歳	(39)	25.6	30.8	23.1	0.0	12.8	0.0
	30歳代	(26)	26.9	<b>38.5</b>	30.8	0.0	15.4	3.8
	40歳代	(61)	23.0	<b>36.1</b>	27.9	3.3	9.8	0.0
	50歳代	(78)	15.4	<b>41.0</b>	35.9	2.6	7.7	1.3
	60歳代	(91)	23.1	<b>40.7</b>	33.0	2.2	1.1	1.1
	70歳以上	(164)	20.7	40.9	40.9	0.6	1.8	1.8

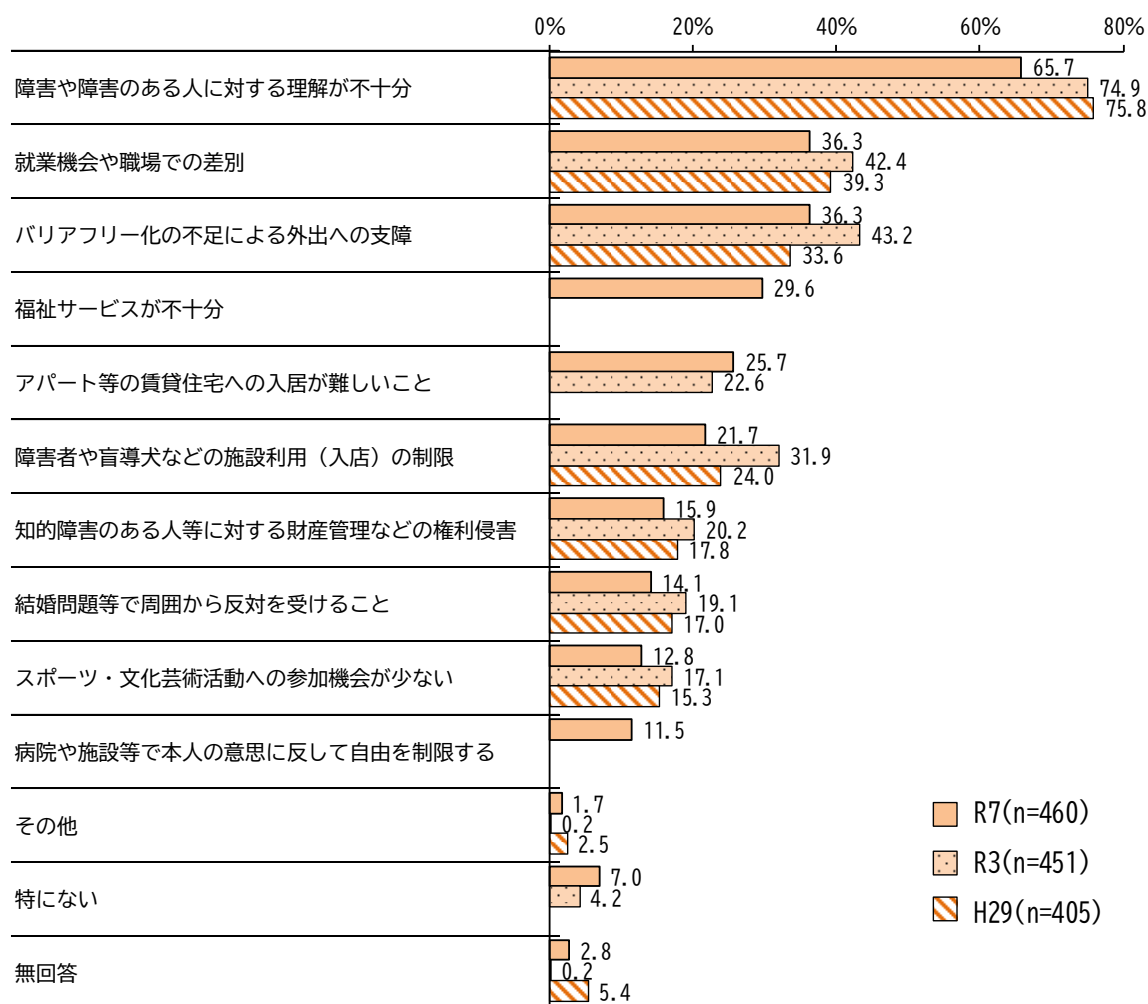
## 7 障害のある人の人権について

### 1 障害のある人の人権が尊重されていないと感じる状況

問 14 あなたは、障害のある人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のある人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障害や障害のある人に対する理解が不十分」(65.7%)が最も高く、次いで「就業機会や職場での差別」と「バリアフリー化の不足による外出への支障」(ともに36.3%)、「福祉サービスが不十分」(29.6%)が続いています。

過去調査と比較すると、「アパート等の賃貸住宅への入居が難しいこと」「その他」「特にない」以外のいずれの項目でも令和3年度調査より下がっており、特に「障害者や盲導犬などの施設利用(入店)の制限」が10.2ポイント、「障害や障害のある人に対する理解が不十分」が9.2ポイント減少しています。



「アパート等の賃貸住宅への入居が難しいこと」は、R3は「アパート等への入居が困難」  
 「アパート等の賃貸住宅への入居が難しいこと」「特にない」はR3から  
 「福祉サービスが不十分」「病院や施設等で本人の意思に反して自由を制限する」はR7から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「障害や障害のある人に対する理解が不十分」が6割半ば前後で最も高くなっています。

年代別で見ると、すべての年代で「障害や障害のある人に対する理解が不十分」が最も高くなっています。また、18～29歳で「就業機会や職場での差別」が5割を超えて、他の年代より高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	障害や障害のある人に対する理解が不十分	就業機会や職場での差別	バリアフリー化の不足による外出への支障	福祉サービスが不十分	病院や施設等で本人の意思に反して自由を制限する	スポーツ・文化芸術活動への参加機会が少ない	知的障害のある人等に対する財産管理などの権利侵害
全体		(460)	65.7	36.3	36.3	29.6	11.5	12.8	15.9
性別	女性	(235)	66.4	34.9	39.1	26.8	13.2	12.3	14.5
	男性	(213)	64.3	37.1	33.3	32.4	8.9	13.6	16.0
	その他/回答しない	(9)	66.7	44.4	33.3	44.4	22.2	0.0	44.4
年代別	18～29歳	(39)	74.4	51.3	23.1	33.3	12.8	25.6	17.9
	30歳代	(26)	73.1	38.5	38.5	7.7	15.4	0.0	15.4
	40歳代	(61)	59.0	39.3	34.4	27.9	9.8	13.1	16.4
	50歳代	(78)	64.1	30.8	32.1	32.1	10.3	7.7	21.8
	60歳代	(91)	70.3	34.1	38.5	33.0	12.1	12.1	19.8
	70歳以上	(164)	62.8	34.8	40.9	29.9	11.0	14.6	10.4

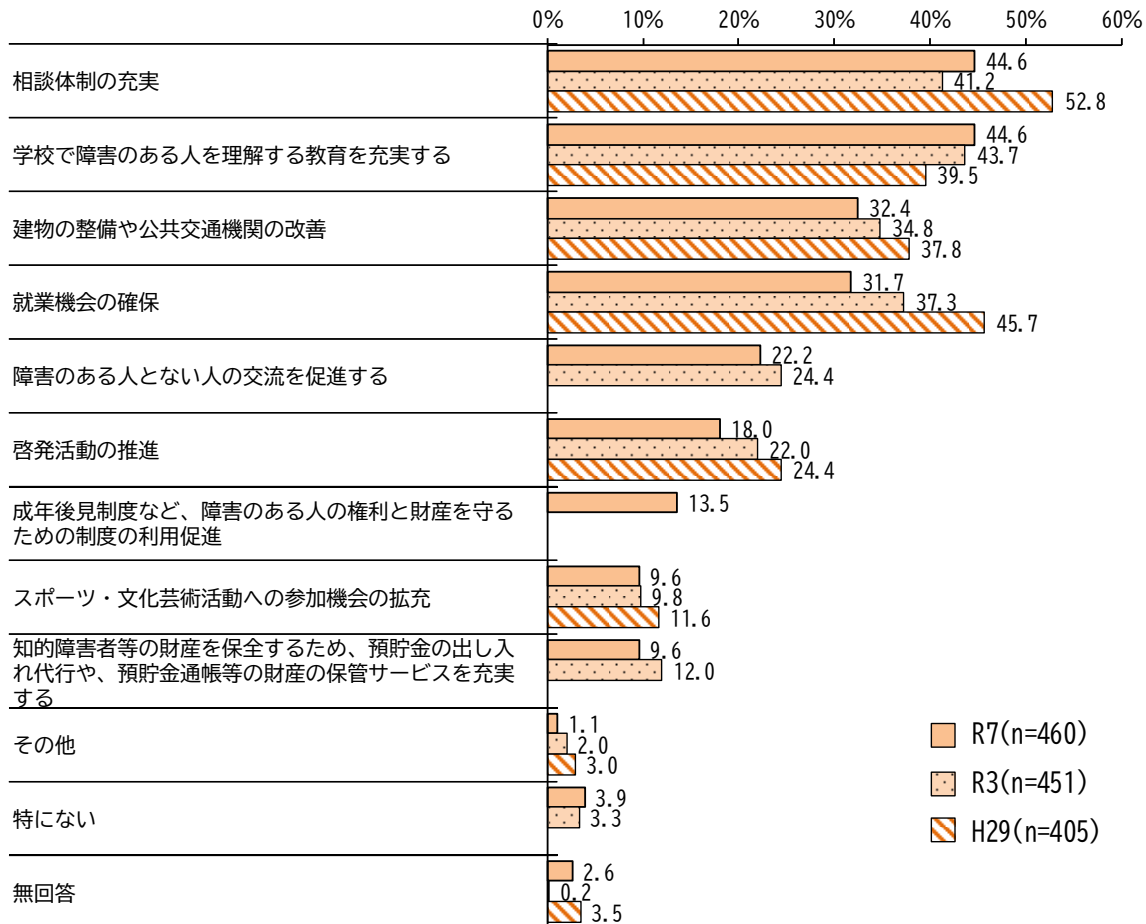
(単位:%)		回答者数 (n)	結婚問題等で周囲から反対を受けること	アパート等の賃貸住宅への入居が難しいこと	障害者や盲導犬などの施設利用(入店)の制限	その他	特にない	無回答
全体		(460)	14.1	25.7	21.7	1.7	7.0	2.8
性別	女性	(235)	15.7	26.8	23.0	1.3	6.4	3.4
	男性	(213)	11.3	23.5	19.2	2.3	7.5	2.3
	その他/回答しない	(9)	33.3	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0
年代別	18～29歳	(39)	33.3	28.2	25.6	0.0	7.7	0.0
	30歳代	(26)	15.4	23.1	26.9	0.0	11.5	0.0
	40歳代	(61)	19.7	19.7	32.8	0.0	8.2	0.0
	50歳代	(78)	12.8	25.6	23.1	1.3	9.0	1.3
	60歳代	(91)	14.3	25.3	20.9	2.2	2.2	1.1
	70歳以上	(164)	7.9	28.0	15.9	3.0	7.3	6.7

## 2 障害のある人の人権を守るために必要なこと

問 15 あなたは、障害のある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○は3つまで)

障害のある人の人権を守るために必要なことは、「相談体制の充実」と「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」(ともに 44.6%) が最も高く、次いで「建物の整備や公共交通機関の改善」(32.4%)、「就業機会の確保」(31.7%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度よりあまり大きな変化はありませんが、「就業機会の確保」が 5.6 ポイント、「啓発活動の推進」が 4.0 ポイント減少しています。



「障害のある人とない人の交流を促進する」は、R3 は「交流の促進」

「知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する」は、R3 は「財産管理サービス等の充実」

「障害のある人とない人の交流を促進する」「知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する」「特にない」は R3 から

「成年後見制度など、障害のある人の権利と財産を守るための制度の利用促進」は R7 から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」、男性は「相談体制の充実」が最も高くなっています。また、「啓発活動の推進」は男性（23.9%）が女性（13.2%）を10.7ポイント上回っており、「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」や「障害のある人とない人の交流を促進する」は女性が男性を7ポイント程度上回っています。

年代別で見ると、18～29歳と40歳代で「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」、30歳代で「就業機会の確保」、50歳代以上で「相談体制の充実」が最も高くなっています。

		回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	就業機会の確保	建物の整備や公共交通機関の改善	学校で障害のある人を理解する教育を充実する	スポーツ・文化芸術活動への参加機会の拡充
(単位:%)								
全 体		(460)	44.6	18.0	31.7	32.4	44.6	9.6
性別	女性	(235)	46.8	13.2	34.0	31.1	47.2	8.5
	男性	(213)	44.1	23.9	29.6	33.8	40.4	10.3
	その他/回答しない	(9)	11.1	0.0	22.2	44.4	66.7	0.0
年代別	18～29歳	(39)	23.1	12.8	25.6	25.6	61.5	17.9
	30歳代	(26)	42.3	15.4	46.2	26.9	30.8	3.8
	40歳代	(61)	37.7	18.0	37.7	26.2	47.5	9.8
	50歳代	(78)	55.1	19.2	29.5	32.1	37.2	6.4
	60歳代	(91)	45.1	13.2	31.9	31.9	42.9	12.1
	70歳以上	(164)	47.6	22.0	29.9	37.8	45.7	7.9

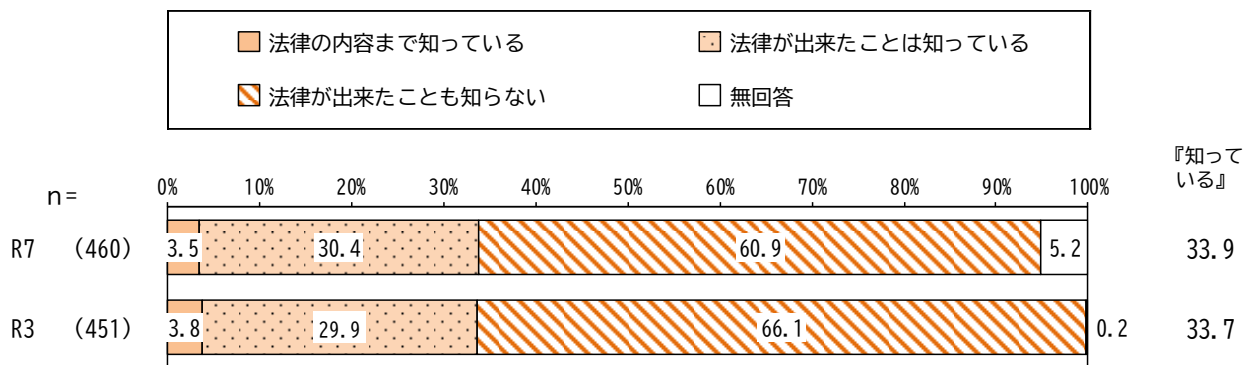
		回答者数 (n)	知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する	成年後見制度など、障害のある人の権利と財産を守るための制度の利用促進	障害のある人とない人の交流を促進する	その他	特にない	無回答
(単位:%)								
全 体		(460)	9.6	13.5	22.2	1.1	3.9	2.6
性別	女性	(235)	7.2	13.2	25.5	0.9	3.8	3.0
	男性	(213)	11.7	12.7	18.3	1.4	4.2	2.3
	その他/回答しない	(9)	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0
年代別	18～29歳	(39)	5.1	12.8	23.1	0.0	2.6	2.6
	30歳代	(26)	15.4	19.2	15.4	3.8	7.7	0.0
	40歳代	(61)	3.3	9.8	16.4	0.0	6.6	0.0
	50歳代	(78)	5.1	9.0	23.1	0.0	6.4	1.3
	60歳代	(91)	12.1	17.6	24.2	2.2	3.3	1.1
	70歳以上	(164)	12.8	14.0	23.2	1.2	1.8	5.5

### 3 障害者差別解消法の認知状況

問 16 あなたは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)をご存知ですか。(○は1つ)

障害者差別解消法の認知状況について、「法律の内容まで知っている」が3.5%、「法律が出来たことは知っている」が30.4%となっており、「法律が出来たことも知らない」が60.9%と6割を占めています。

過去調査と比較すると、「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」ともに、令和3年度とほぼ変化ありません。

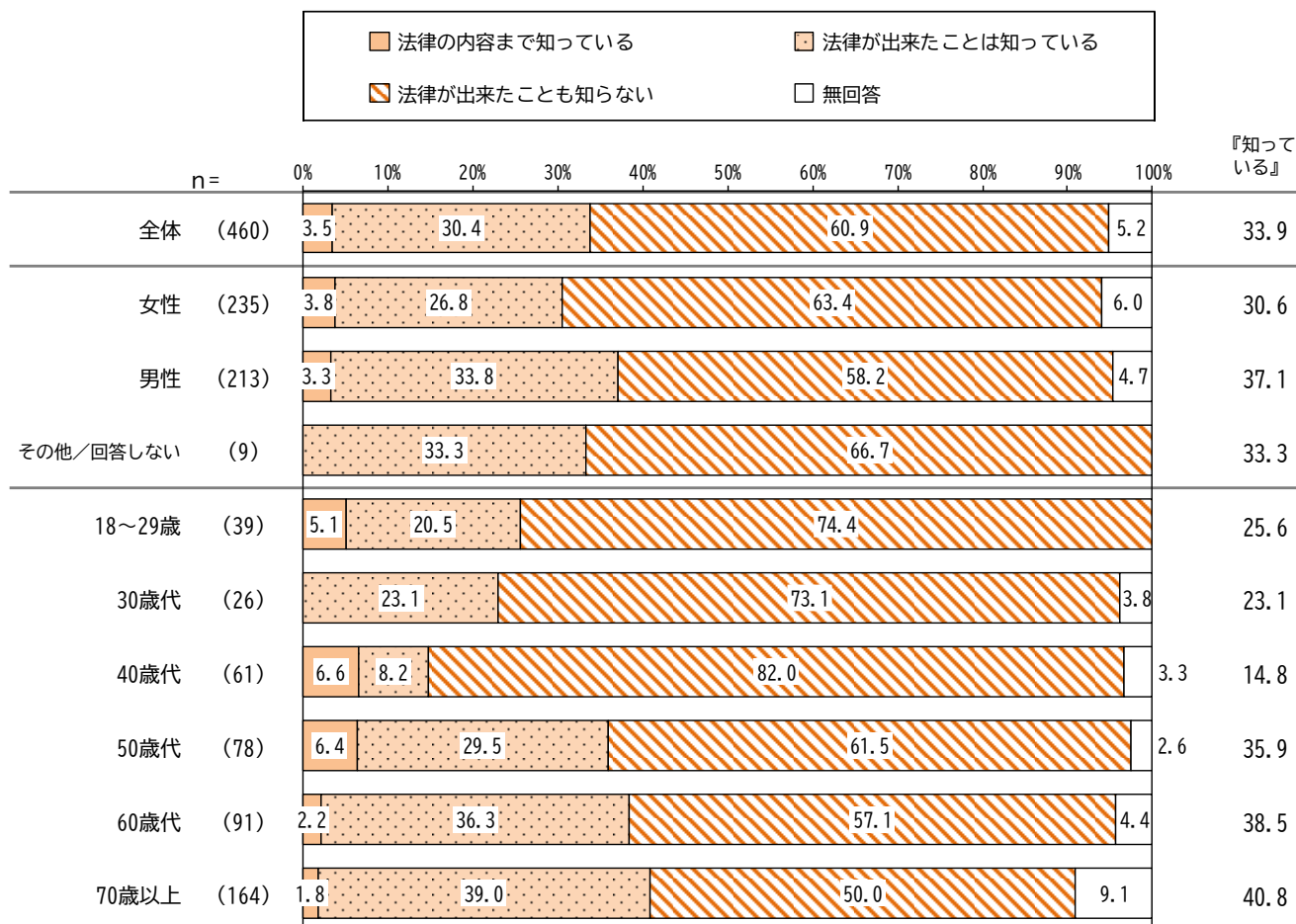


『知っている』:「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」の計

## 【性別・年代別】

性別で見ると、「法律が出来たことは知っている」は男性（33.8%）が女性（26.8%）を7.0ポイント上回っています。

年代別で見ると、「法律の内容まで知っている」は18～29歳と40～50歳代で5%を超えています。また、『知っている』は50歳以上で3割半ばを超えています。一方、40歳代では「法律が出来たことも知らない」が8割を超えています。



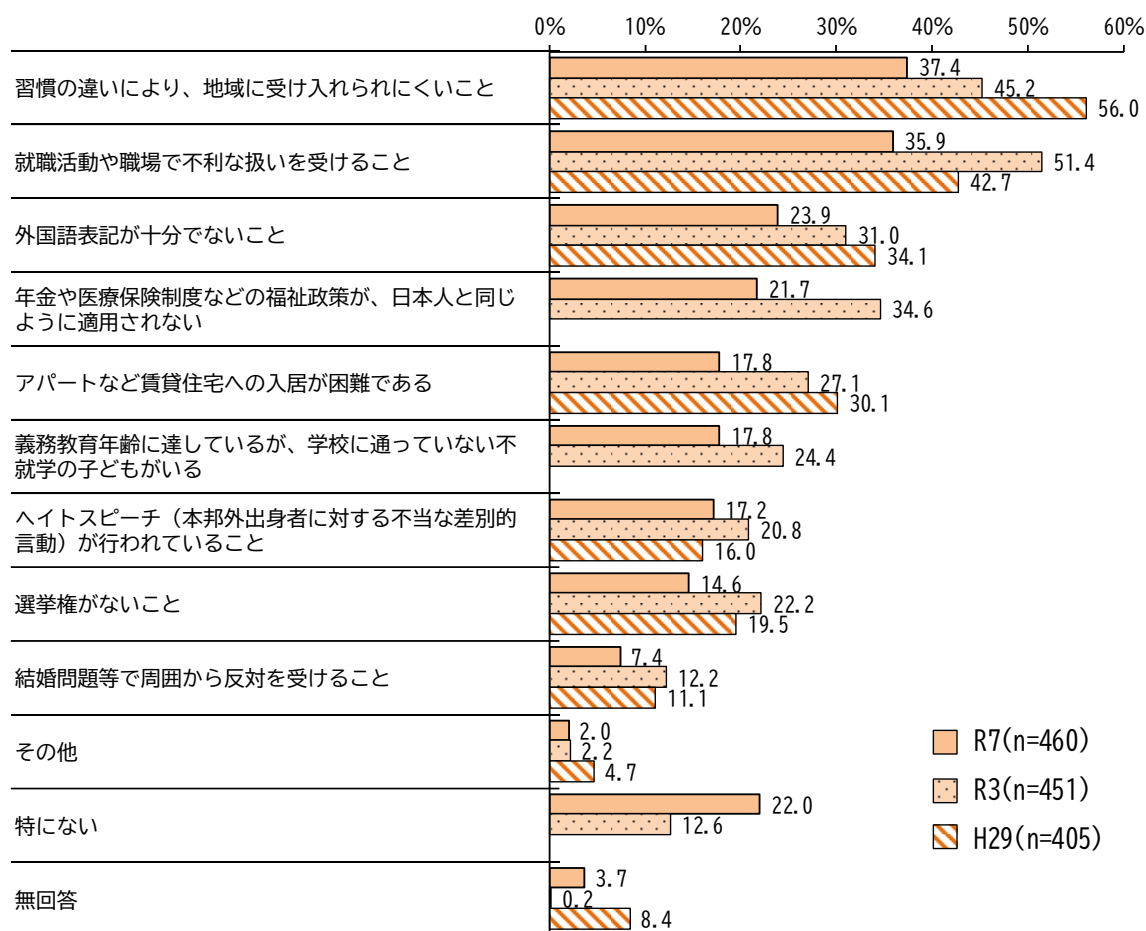
## 8 外国人の人権について

### 1 外国人の人権が尊重されていないと感じる状況

問 17 あなたは、日本に住んでいる外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「習慣の違いにより、地域に受け入れられにくいこと」(37.4%)と「就職活動や職場で不利な扱いを受けること」(35.9%)が3割半ばを超えて高く、次いで「外国語表記が十分でないこと」(23.9%)、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」(21.7%)が続いています。

過去調査と比較すると、いずれの項目でも令和3年度調査より下がっており、特に「就職活動や職場で不利な扱いを受けること」が15.5ポイント、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」が12.9ポイントと、10ポイント以上減少しています。一方で、「特にない」は9.4ポイント増加しています。



「義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいる」は、R3は「学校に通っていない不就学の子どもがいる」「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されない」「義務教育年齢に達しているが、学校に通っていない不就学の子どもがいる」「特にない」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「就職活動や職場で不利な扱いを受けること」と「習慣の違いにより、地域に受け入れられにくいこと」が3割半ばを超えて高くなっています。

年代別で見ると、18～29歳と70歳以上で「就職活動や職場で不利な扱いを受けること」、60歳代以下で「習慣の違いにより、地域に受け入れられにくいこと」が最も高くなっています。

	回答者数 (n)	就職活動や職場で 不利な扱いを受けること	選挙権がないこと	年金や医療保険制 度などの福祉政策 が、日本人と同じ ように適用されな い	アパートなど賃貸 住宅への入居が困 難である	義務教育年齢に達 しているが、学校 に通っていない不 就学の子もがい る	習慣の違いによ り、地域に受け入 れられにくいこと	
(単位:%)								
全 体	(460)	35.9	14.6	21.7	17.8	17.8	37.4	
性別	女性	(235)	35.7	11.9	21.7	17.0	19.1	35.7
	男性	(213)	37.1	17.4	22.1	18.3	16.0	39.4
	その他/回答しない	(9)	22.2	11.1	11.1	22.2	33.3	22.2
年代別	18～29歳	(39)	38.5	5.1	15.4	20.5	17.9	38.5
	30歳代	(26)	26.9	19.2	26.9	26.9	23.1	46.2
	40歳代	(61)	26.2	4.9	13.1	9.8	18.0	31.1
	50歳代	(78)	29.5	14.1	14.1	6.4	17.9	34.6
	60歳代	(91)	44.0	16.5	26.4	19.8	23.1	45.1
	70歳以上	(164)	39.0	18.9	26.8	23.2	14.0	34.8

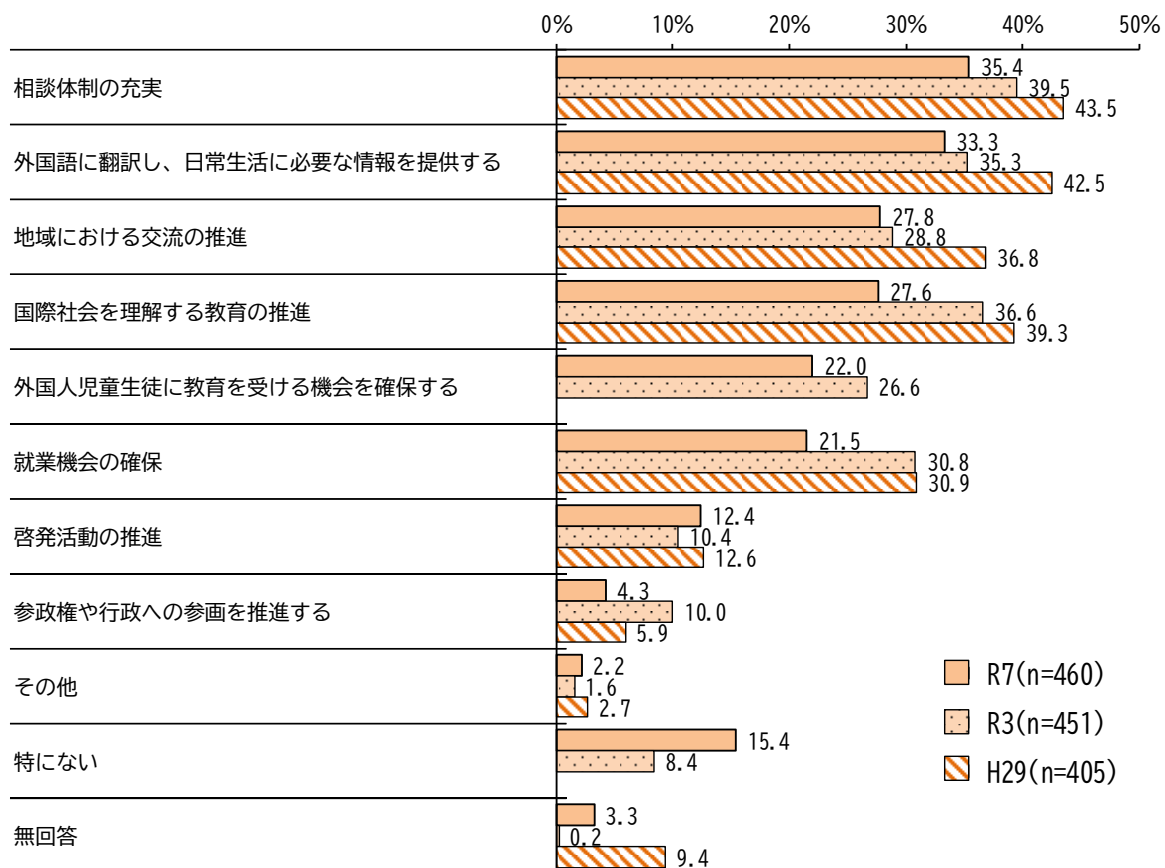
	回答者数 (n)	結婚問題等で周囲 から反対を受ける こと	外国語表記が十分 でないこと	ヘイトスピーチ (本邦外出身者 に対する不当な差 別的言動)が行われ ていること	その他	特にな	無回答	
(単位:%)								
全 体	(460)	7.4	23.9	17.2	2.0	22.0	3.7	
性別	女性	(235)	8.9	23.8	15.7	1.3	22.6	5.1
	男性	(213)	4.7	23.9	18.8	2.8	20.2	2.3
	その他/回答しない	(9)	22.2	33.3	11.1	0.0	44.4	0.0
年代別	18～29歳	(39)	12.8	23.1	28.2	0.0	20.5	0.0
	30歳代	(26)	19.2	30.8	23.1	3.8	23.1	0.0
	40歳代	(61)	8.2	13.1	14.8	1.6	32.8	1.6
	50歳代	(78)	2.6	19.2	17.9	1.3	30.8	6.4
	60歳代	(91)	7.7	29.7	17.6	1.1	16.5	2.2
	70歳以上	(164)	6.1	26.2	13.4	3.0	17.1	5.5

## 2 外国人の人権を守るために必要なこと

問 18 あなたは、日本に住んでいる外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

外国人の人権を守るために必要なことは、「相談体制の充実」(35.4%)と「外国語に翻訳し、日常生活に必要な情報を提供する」(33.3%)が3割を超えて高く、次いで「地域における交流の推進」(27.8%)、「国際社会を理解する教育の推進」(27.6%)が続いています。

過去調査と比較すると、「啓発活動の推進」「その他」「特にない」以外のいずれの項目でも令和3年度調査より下がっており、特に「国際社会を理解する教育の推進」と「就業機会の確保」が9ポイント程度減少しています。一方で、「特にない」は7.0ポイント増加しています。



「外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する」「特にない」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「相談体制の充実」と「外国語に翻訳し、日常生活に必要な情報を提供する」が3割を超えて高くなっています。また、「啓発活動の推進」は男性（15.5%）が女性（9.4%）を6.1ポイント上回っています。

年代別で見ると、30歳以下と60歳代で「外国語に翻訳し、日常生活に必要な情報を提供する」、40歳代以上で「相談体制の充実」が最も高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	就業機会の確保	国際社会を理解する教育の推進	外国語に翻訳し、日常生活に必要な情報を提供する	参政権や行政への参画を推進する
全 体		(460)	35.4	12.4	21.5	27.6	33.3	4.3
性別	女性	(235)	34.5	9.4	21.7	28.1	33.6	3.4
	男性	(213)	37.1	15.5	22.1	26.3	33.3	5.6
	その他/回答しない	(9)	22.2	11.1	11.1	33.3	33.3	0.0
年代別	18～29歳	(39)	20.5	7.7	20.5	33.3	41.0	5.1
	30歳代	(26)	23.1	7.7	19.2	30.8	46.2	7.7
	40歳代	(61)	27.9	8.2	8.2	26.2	24.6	1.6
	50歳代	(78)	35.9	7.7	21.8	25.6	25.6	5.1
	60歳代	(91)	39.6	14.3	25.3	23.1	39.6	3.3
	70歳以上	(164)	40.9	17.1	25.0	29.3	32.9	4.9

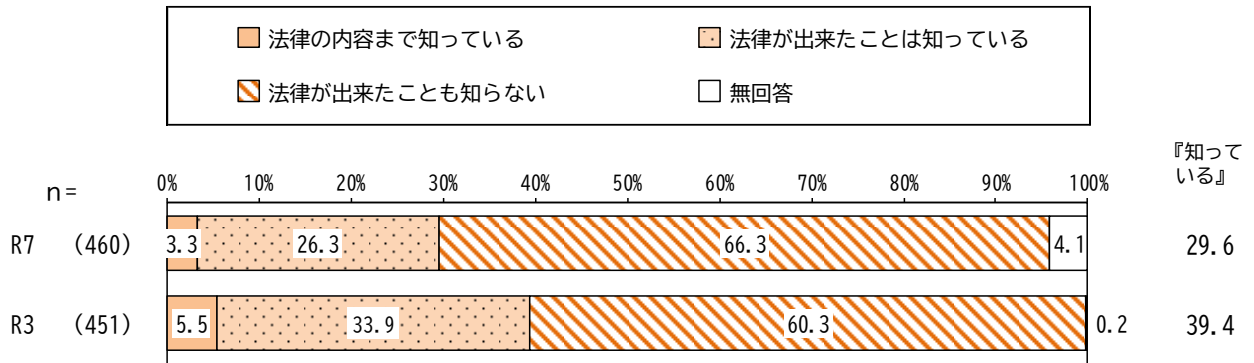
(単位:%)		回答者数 (n)	地域における交流の推進	外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する	その他	特にない	無回答
全 体		(460)	27.8	22.0	2.2	15.4	3.3
性別	女性	(235)	25.5	23.8	1.3	17.0	3.8
	男性	(213)	29.6	19.7	3.3	13.1	2.8
	その他/回答しない	(9)	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0
年代別	18～29歳	(39)	28.2	15.4	0.0	15.4	0.0
	30歳代	(26)	15.4	30.8	3.8	23.1	0.0
	40歳代	(61)	24.6	23.0	3.3	24.6	1.6
	50歳代	(78)	19.2	19.2	1.3	19.2	7.7
	60歳代	(91)	29.7	23.1	3.3	13.2	1.1
	70歳以上	(164)	34.1	22.6	1.8	10.4	4.3

### 3 ハイトスピーチ解消法の認知状況

問 19 あなたは、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ハイトスピーチ解消法)をご存知ですか。(〇は1つ)

ハイトスピーチ解消法の認知状況について、「法律の内容まで知っている」が3.3%、「法律が出来たことは知っている」が26.3%となっており、二つを合わせた『知っている』が29.6%と3割を占め、「法律が出来たことも知らない」が66.3%となっています。

過去調査と比較すると、『知っている』が令和3年度より9.8ポイント減少しています。

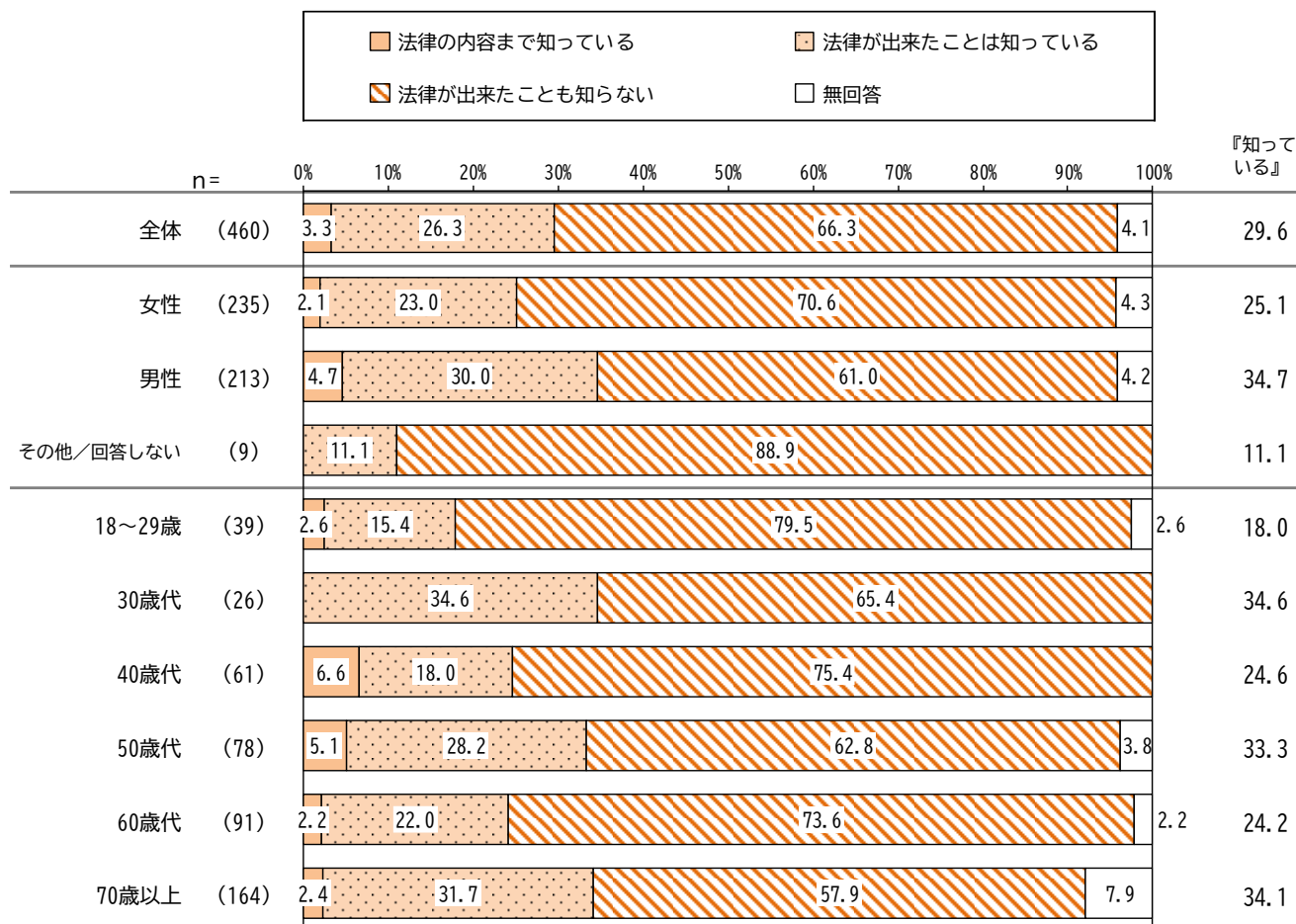


『知っている』:「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」の計

## 【性別・年代別】

性別で見ると、「法律が出来たことは知っている」は男性（30.0%）が女性（23.0%）を7.0ポイント上回っています。

年代別で見ると、「法律の内容まで知っている」は40～50歳代で5%を超えています。『知っている』は30歳以上で2割を超えていますが、30歳代では「法律の内容まで知っている」との回答はありませんでした。

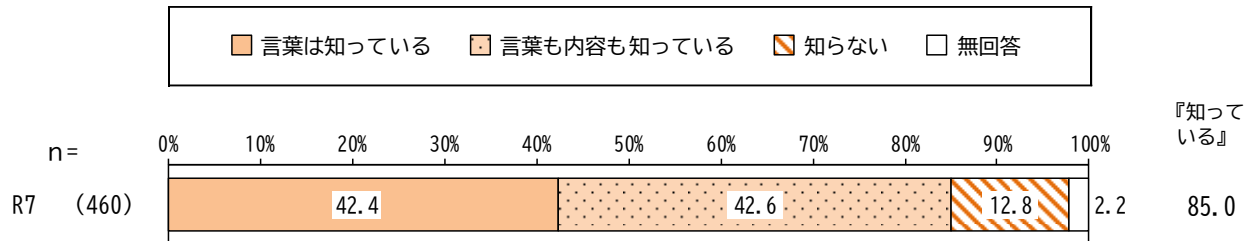


## 9 同和問題（部落差別）について

### 1 同和問題（部落差別）の認知状況

問 20 あなたは、同和問題(部落差別)について、知っていますか。(○は1つ)

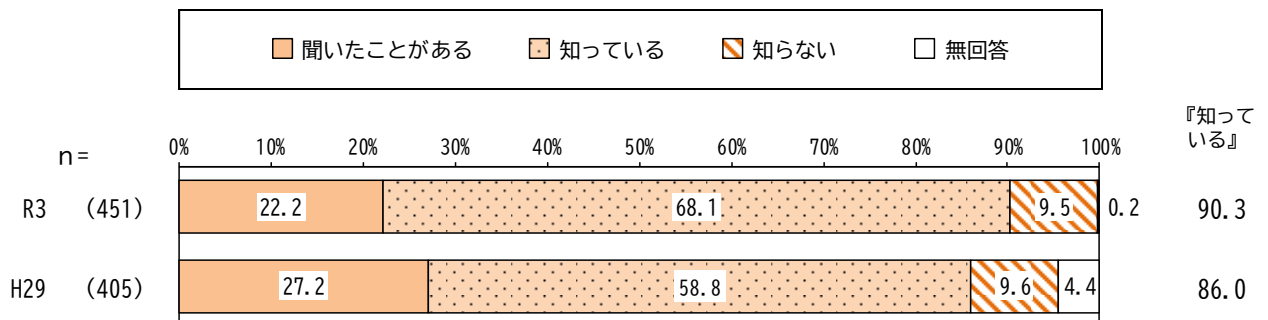
同和問題（部落差別）の認知状況について、「言葉は知っている」が42.4%、「言葉も内容も知っている」が42.6%となっており、二つを合わせた『知っている』が85.0%と8割半ばを占めています。一方、「知らない」が12.8%となっています。



『知っている』: 「言葉は知っている」と「言葉も内容も知っている」の計

【過去調査】(※令和7年度と選択肢の文言が異なるため参考として掲載)

過去調査でみると、『知っている』は令和3年度で9割を占めています。

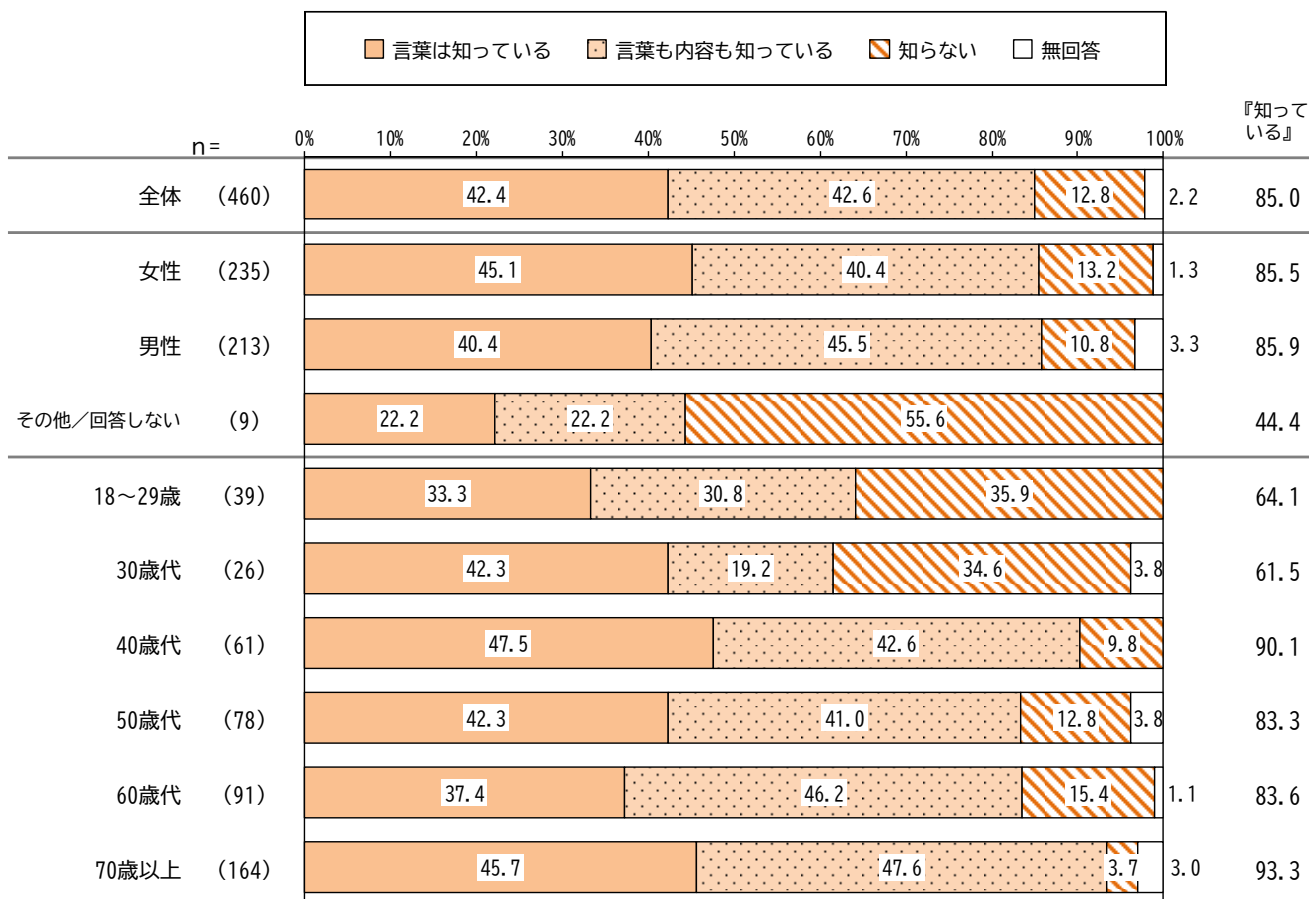


『知っている』: 「聞いたことがある」と「知っている」の計

## 【性別・年代別】

性別で見ると、「言葉も内容も知っている」は男性（45.5%）が女性（40.4%）を5.1ポイント上回っています。

年代別で見ると、『知っている』は40歳代以上で8割を超えており、特に40歳代と70歳以上で9割を超えて他の年代より高くなっています。一方、「知らない」は30歳代以下で3割半ば程度を占めて高くなっています。

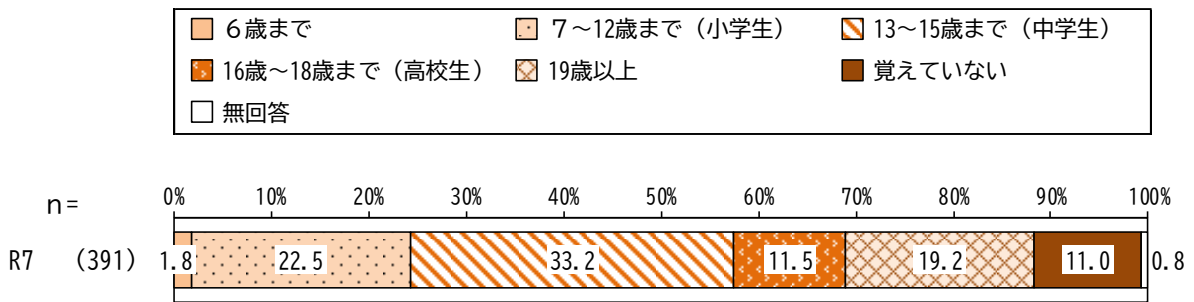


**【問20で「1. 言葉は知っている」または「2. 言葉も内容も知っている」と回答された方は問21～問30の設問をお答えください】**

## 2 同和問題（部落差別）を知った時期

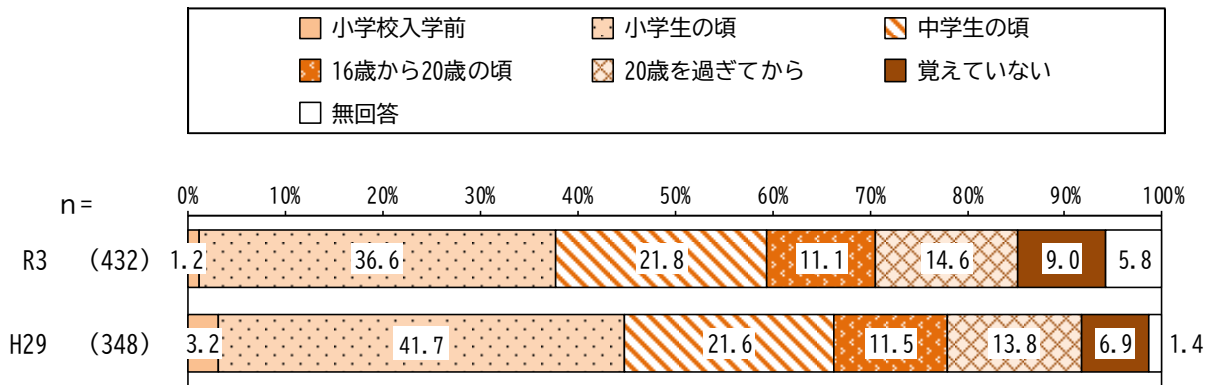
問21 あなたが同和問題(部落差別)を初めて知ったのはいつごろでしたか。(○は1つ)

同和問題（部落差別）を初めて知った時期は、「13～15歳まで（中学生）」（33.2%）が3割を超えて最も高く、次いで「7～12歳まで（小学生）」（22.5%）、「19歳以上」（19.2%）が続いており、中学生までで5割半ば以上が同和問題（部落差別）を知っています。



**【過去調査】**（※令和7年度と選択肢の文言が異なるため参考として掲載）

過去調査でみると、どの年度も「小学生の頃」が最も高くなっています。

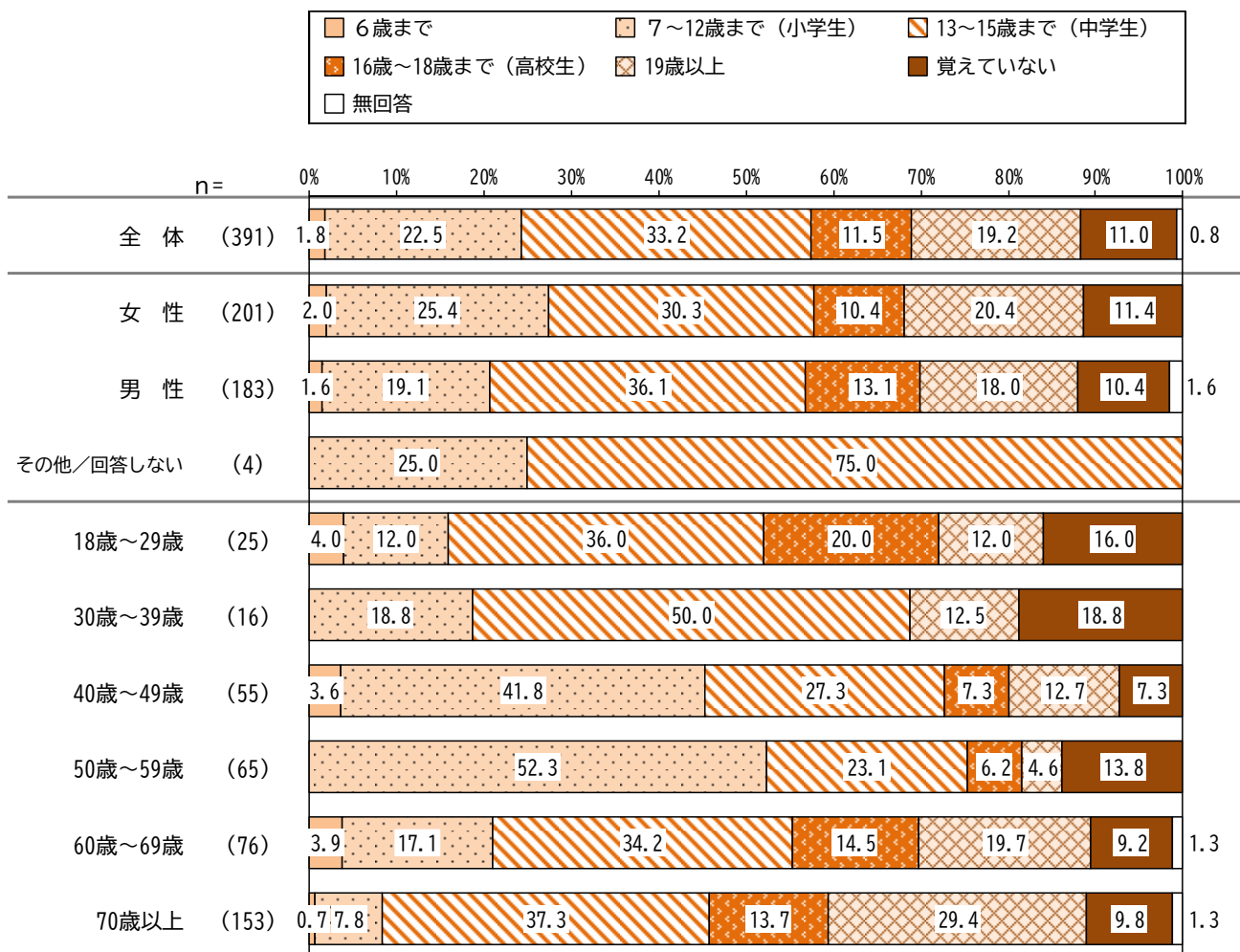


R3以前は同和問題（部落差別）を「聞いたことがある」「知っている」の回答者

### 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「13～15歳まで（中学生）」が最も高くなっており、中学生までに5割半ば以上が同和問題（部落差別）を知っています。

年代別で見ると、40～50歳代で「7～12歳まで（小学生）」が最も高くなっており、それ以外の年代では「13～15歳まで（中学生）」が最も高くなっています。

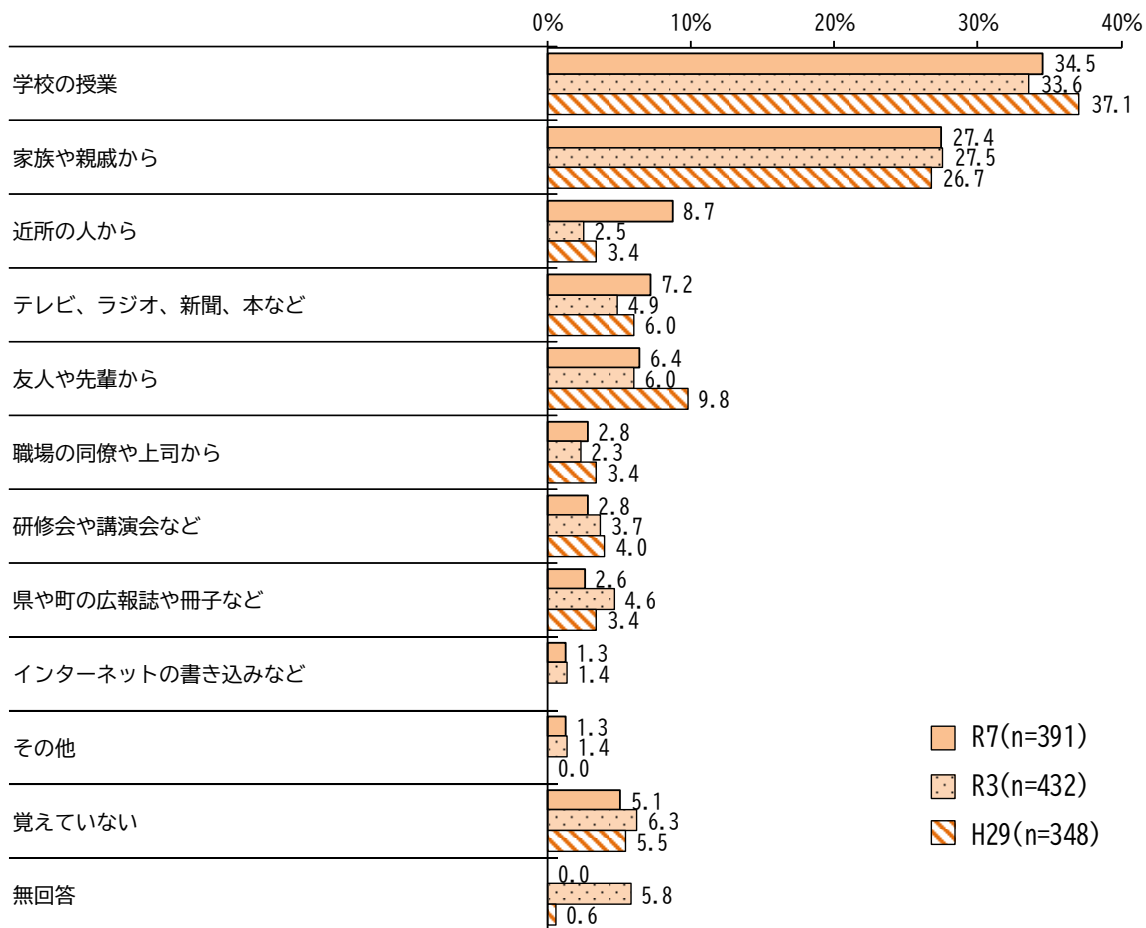


### 3 同和問題（部落差別）を知ったきっかけ

問 22 あなたが同和問題(部落差別)を初めて知ったきっかけは、何からですか。(〇は1つ)

同和問題（部落差別）を初めて知ったきっかけは、「学校の授業」（34.5％）が3割を超えて最も高く、次いで「家族や親戚から」（27.4％）、「近所の人から」（8.7％）が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査よりあまり大きな変化はありませんが、「近所の人から」が6.2ポイント増加しています。



R3 以前は同和問題（部落差別）を「聞いたことがある」「知っている」の回答者  
「インターネットの書き込みなど」は R3 から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「学校の授業」が3割を超えて最も高くなっています。また、「家族や親戚から」は女性（32.8%）が男性（20.8%）を12.0ポイント大きく上回っています。

年代別で見ると、60歳代以下で「学校の授業」が最も高く、特に40歳代以下では5割以上となっています。また、「家族や親戚から」は60歳代以上で3割を超えて高くなっています。

(単位:%)	回答者数 (n)	家族や親戚から	近所の人から	友人や先輩から	学校の授業	職場の同僚や上司 から	研修会や講演会な ど
全 体	(391)	27.4	8.7	6.4	34.5	2.8	2.8
性別	女性	32.8	10.0	5.0	34.3	2.0	1.5
	男性	20.8	7.7	8.2	34.4	3.8	4.4
	その他/回答しない	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年代別	18~29歳	12.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	30歳代	18.8	0.0	0.0	50.0	6.3	6.3
	40歳代	16.4	1.8	3.6	63.6	3.6	0.0
	50歳代	24.6	1.5	6.2	49.2	1.5	0.0
	60歳代	31.6	6.6	7.9	39.5	2.6	1.3
	70歳以上	33.3	17.6	8.5	9.8	3.3	5.9

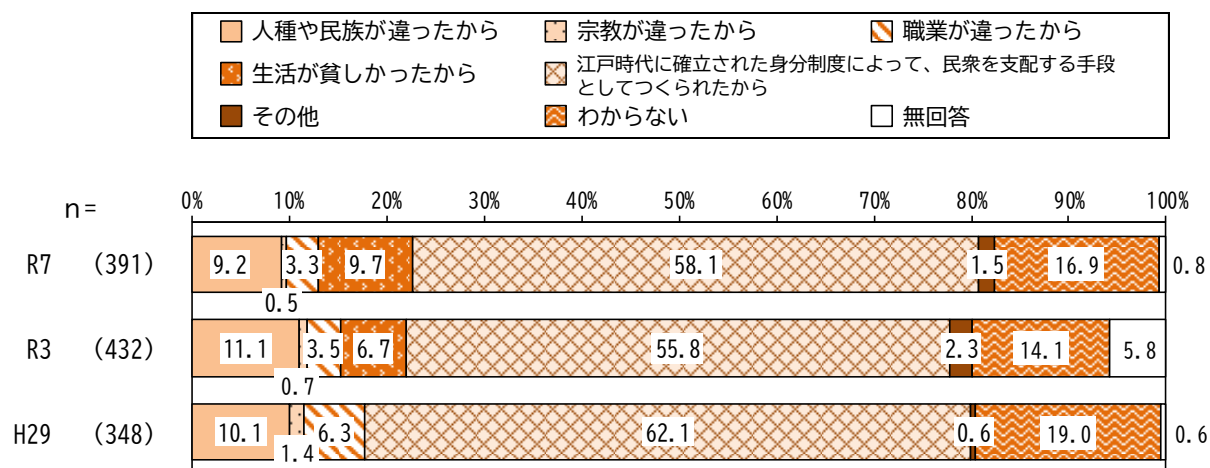
(単位:%)	回答者数 (n)	テレビ、ラジオ、 新聞、本など	インターネットの 書き込みなど	県や町の広報誌や 冊子など	その他	覚えていない	無回答
全 体	(391)	7.2	1.3	2.6	1.3	5.1	0.0
性別	女性	4.5	0.5	2.5	0.5	6.5	0.0
	男性	9.8	2.2	2.7	2.2	3.8	0.0
	その他/回答しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18~29歳	0.0	12.0	0.0	0.0	16.0	0.0
	30歳代	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	0.0	1.8	0.0	0.0	9.1	0.0
	50歳代	10.8	1.5	0.0	1.5	3.1	0.0
	60歳代	3.9	0.0	1.3	0.0	5.3	0.0
	70歳以上	9.8	0.0	5.9	2.6	3.3	0.0

## 4 同和問題（部落差別）の起源

問 23 あなたは、同和問題(部落差別)の起こりについて、どのように受け止めていますか。  
(○は1つ)

同和問題（部落差別）の起源をどのように受け止めているかについて、「江戸時代に確立された身分制度によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」（58.1%）が最も高く、次いで「わからない」（16.9%）、「生活が貧しかったから」（9.7%）が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査よりあまり大きな変化はありません。

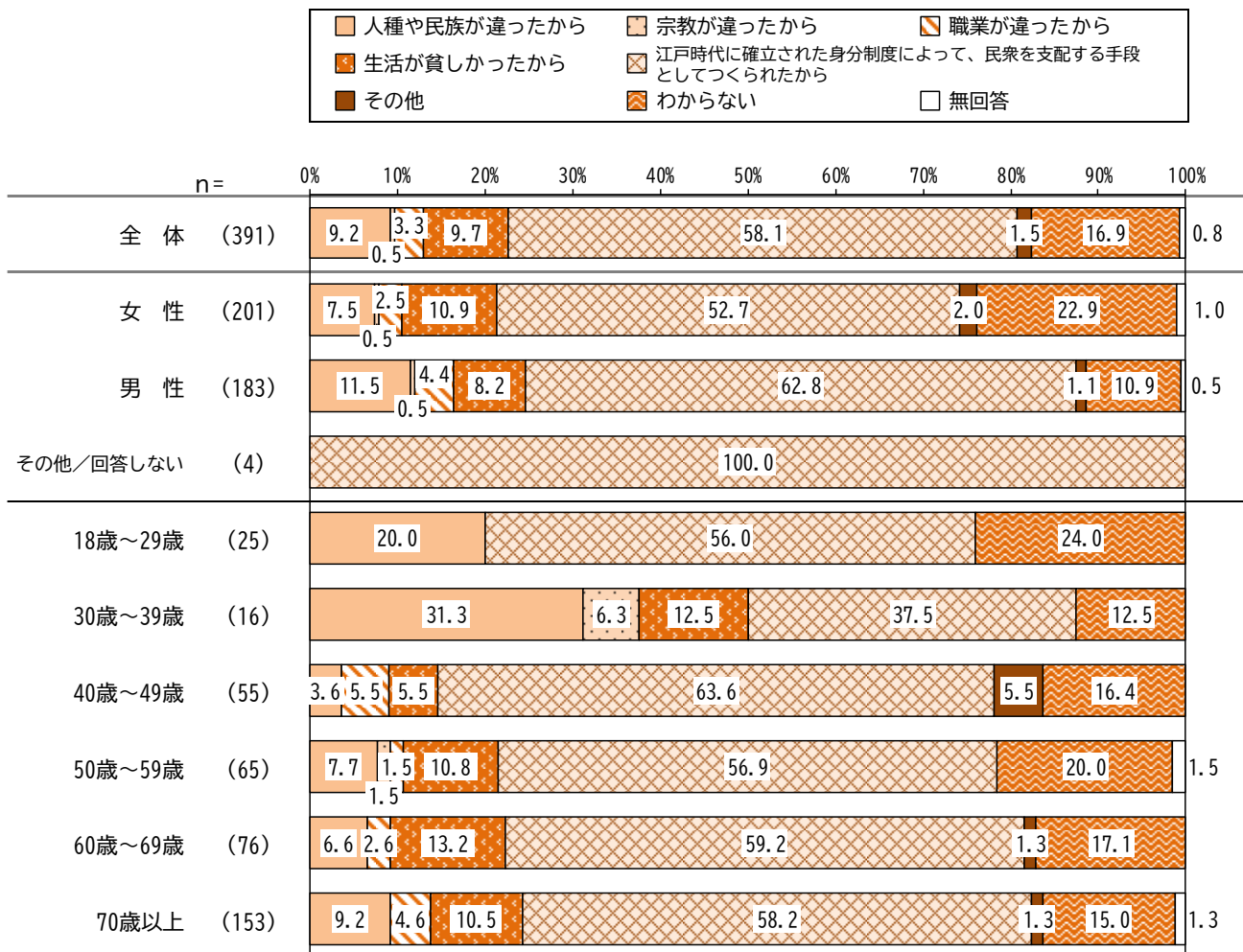


R3 以前は同和問題（部落差別）を「聞いたことがある」「知っている」の回答者

### 【性別・年代別】

性別で見ると、「江戸時代に確立された身分制度によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」は男性（62.8%）が女性（52.7%）を10.1ポイント大きく上回っています。

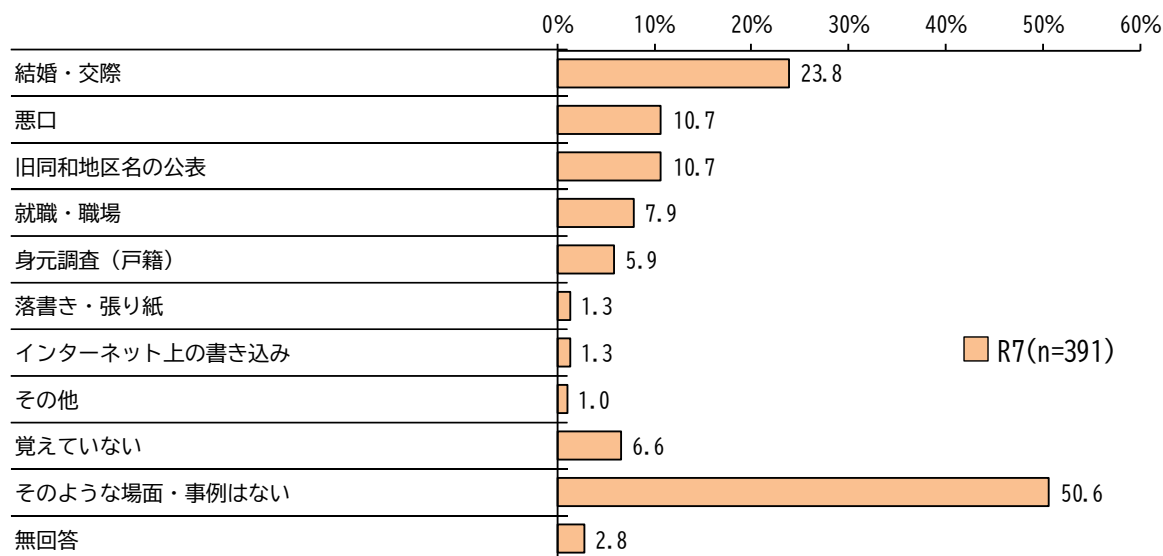
年代別で見ると、いずれの年代でも、「江戸時代に確立された身分制度によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も高く、30歳代以外のすべての年代で5割半ばを超えています。また、30歳代以下では「人種や民族が違ったから」が2割以上で他の年代より高くなっています。



## 5 部落差別が起こる場面・事例

問 24 あなたは、過去に部落差別による被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたことがありますか。あるいは、あなたの親族・知人が、過去に同様の被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしているのを見聞きしたことがありますか。あるとしたら、どのような場面・事例でしたか。(あてはまるものすべてに○)

部落差別が起こる場面や事例について、「そのような場面・事例はない」(50.6%)が5割を占めており、実際に起こった場面や事例では、「結婚・交際」(23.8%)が2割を超えて最も高く、次いで「悪口」と「旧同和地区名の公表」(ともに10.7%)が続いています。



### 【性別・年代別】

性別でみると、実際に起こった場面や事例では、女性・男性ともに「結婚・交際」が2割を超えて高くなっており、女性(26.9%)が男性(20.8%)を6.1ポイント上回っています。

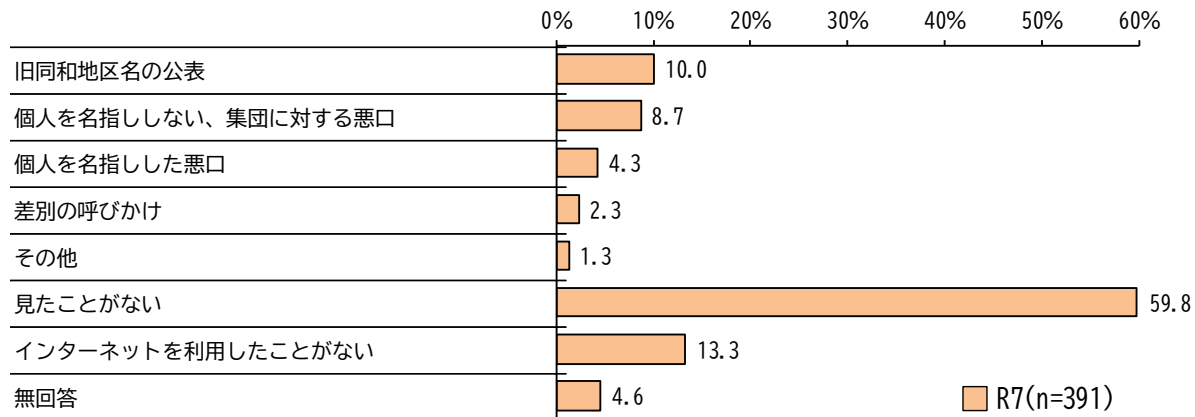
年代別でみると、30歳代と50歳代で「悪口」が最も高く、それ以外の年代では「結婚・交際」が最も高くなっています。また、「旧同和地区名の公表」は70歳代以上で16.3%と、他の年代よりも高くなっています。

(単位: %)	回答者数 (n)	結婚・交際	就職・職場	身元調査 (戸籍)	落書き・ 張り紙	悪口	インター ネット上 の書き込 み	旧同和地 区名の公 表	その他	覚えてい ない	そのよう な場面・ 事例はな い	無回答	
全体	(391)	23.8	7.9	5.9	1.3	10.7	1.3	10.7	1.0	6.6	50.6	2.8	
性別	女性	26.9	6.5	4.5	1.0	11.9	0.5	10.9	0.5	7.5	49.8	2.0	
	男性	20.8	9.8	7.7	1.6	9.8	2.2	10.4	1.1	5.5	51.4	3.8	
	その他/回答しない	(4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	
年代別	18~29歳	(25)	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	88.0	0.0	
	30歳代	(16)	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	62.5	0.0
	40歳代	(55)	16.4	5.5	5.5	1.8	9.1	1.8	1.8	1.8	5.5	65.5	3.6
	50歳代	(65)	13.8	9.2	9.2	0.0	15.4	0.0	9.2	0.0	3.1	63.1	1.5
	60歳代	(76)	21.7	7.9	5.3	1.3	11.8	2.6	11.8	2.6	7.9	46.1	1.3
	70歳以上	(153)	37.3	9.8	6.5	1.3	10.5	0.7	16.3	0.7	7.2	34.6	4.6

## 6 インターネット上での同和問題（部落差別）に関する人権侵害

問 25 あなたは、同和問題(部落差別)に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。あるとしたら、どのような内容のものでしたか。(あてはまるものすべてに○)

インターネット上での同和問題（部落差別）に関する人権侵害の事例として、「見たことがない」（59.8%）が約6割で最も高く、次いで「インターネットを利用したことがない」（13.3%）が続いています。実際に見たことがある人権侵害事例では、「旧同和地区名の公表」（10.0%）、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」（8.7）が高くなっています。



### 【性別・年代別】

性別でみると、実際に見たことがある人権侵害事例では、女性は「旧同和地区名の公表」、男性は「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が最も高くなっています。

年代別でみると、30歳代は「個人を名指しした悪口」「個人を名指ししない、集団に対する悪口」「差別の呼びかけ」が他の年代よりも高くなっています。

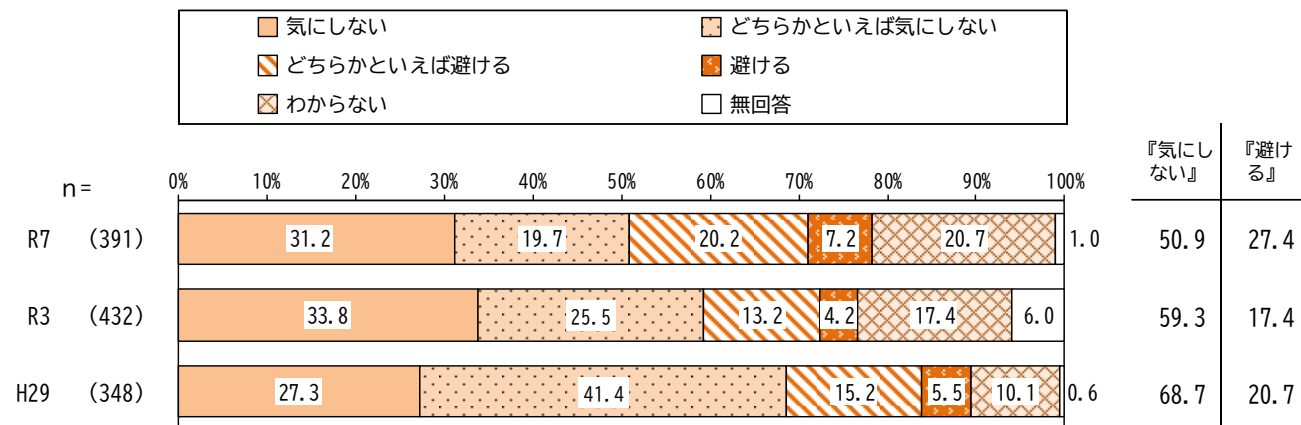
	回答者数 (n)	個人を名指しした悪口	個人を名指ししない、集団に対する悪口	旧同和地区名の公表	差別の呼びかけ	その他	見たことがない	インターネットを利用したことがない	無回答	
全体	(391)	4.3	8.7	10.0	2.3	1.3	59.8	13.3	4.6	
性別	女性	(201)	4.0	6.0	9.0	2.0	1.5	65.2	12.4	4.0
	男性	(183)	4.9	12.0	11.5	2.7	1.1	54.1	13.1	5.5
	その他/回答しない	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	18～29歳	(25)	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	84.0	0.0	0.0
30歳代	(16)	31.3	37.5	6.3	12.5	0.0	43.8	0.0	0.0	
40歳代	(55)	5.5	5.5	12.7	0.0	1.8	70.9	1.8	3.6	
50歳代	(65)	3.1	13.8	10.8	4.6	1.5	69.2	1.5	1.5	
60歳代	(76)	2.6	2.6	10.5	2.6	1.3	64.5	13.2	3.9	
70歳以上	(153)	3.3	6.5	10.5	1.3	1.3	47.1	26.1	7.8	

## 7 居住地に同和地区を避けるか

問 26 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合、避けることがありますか。(○は1つ)

住宅や生活環境を選ぶ際に同和地区を避けると思うかについて、「気にしない」(31.2%)と「どちらかといえば気にしない」(19.7%)を合わせた『気にしない』が50.9%となっており、「どちらかといえば避ける」(20.2%)と「避ける」(7.2%)を合わせた『避ける』(27.4%)を23.5ポイント上回っています。

過去調査と比較すると、『気にしない』は令和3年度調査より8.4ポイント下がっています。



『気にしない』:「気にしない」と「どちらかといえば気にしない」の計

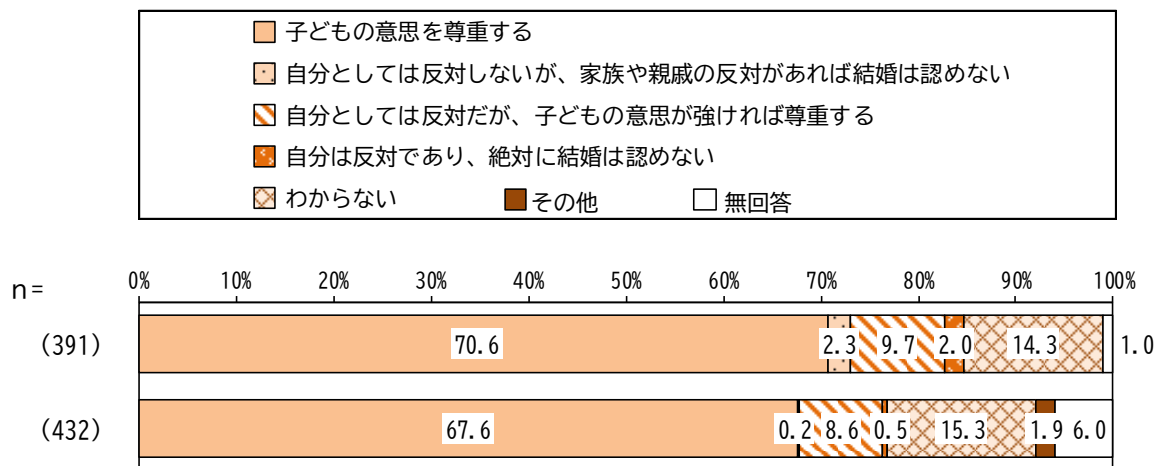
『避ける』:「どちらかといえば避ける」と「避ける」の計

## 8 子の結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応

問 27 あなたのお子さんの結婚相手が「同和地区」出身であるとわかった場合、あなたはどのように対応しますか。(○は1つ)

子の結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応について、「子どもの意思を尊重する」(70.6%)が7割を占めて最も高く、次いで「わからない」(14.3%)、「自分としては反対だが、子どもの意思が強ければ尊重する」(9.7%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査よりあまり変化はありませんが、「子どもの意思を尊重する」が3.0ポイント上がっています。

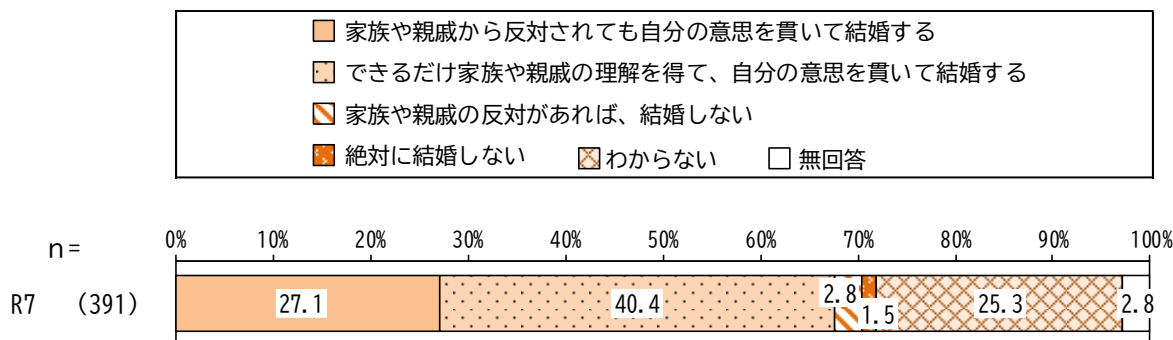


R3は同和問題(部落差別)を「聞いたことがある」「知っている」の回答者  
「その他」はR3のみ

## 9 結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応

問 28 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどのようにされますか。(○は1つ)

回答者自身の結婚相手が「同和地区」出身だった際の対応について、「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」(40.4%)が4割を占めて最も高く、次いで「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」(27.1%)続いており、二つを合わせた『結婚する』との回答が6割半ばを超えています。

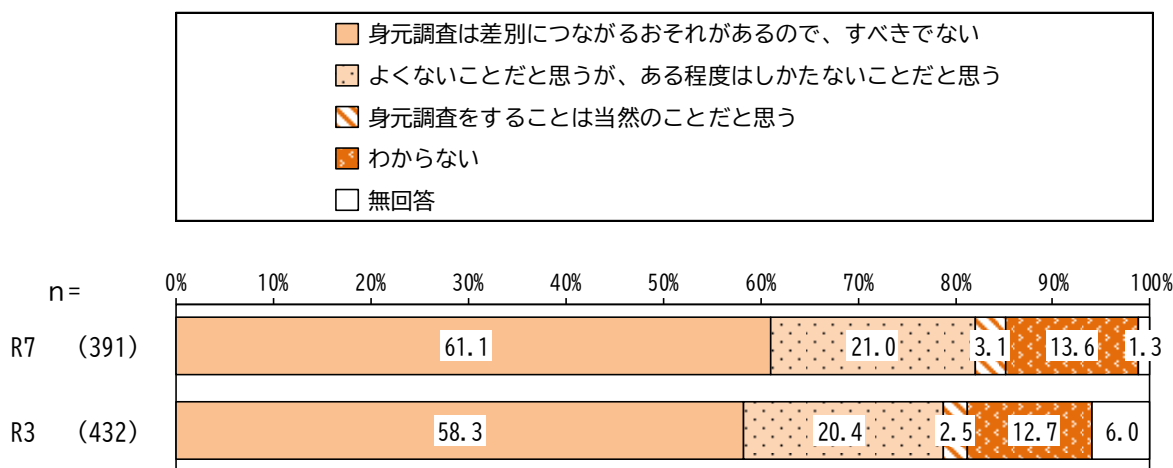


## 10 結婚や就職の際の同和地区出身者であるかについての身元調査の是非

問 29 あなたは、結婚や就職の際に、同和地区出身者であるかについて身元調査することをどう思いますか。(○は1つ)

結婚や就職の際に同和地区出身者であるか身元調査することをどう思うかについて、「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでない」(61.1%)が6割を超えて最も高く、次いで「よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う」(21.0%)、「わからない」(13.6%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査よりあまり変化はありませんが、「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでない」が2.8ポイント上がっています。



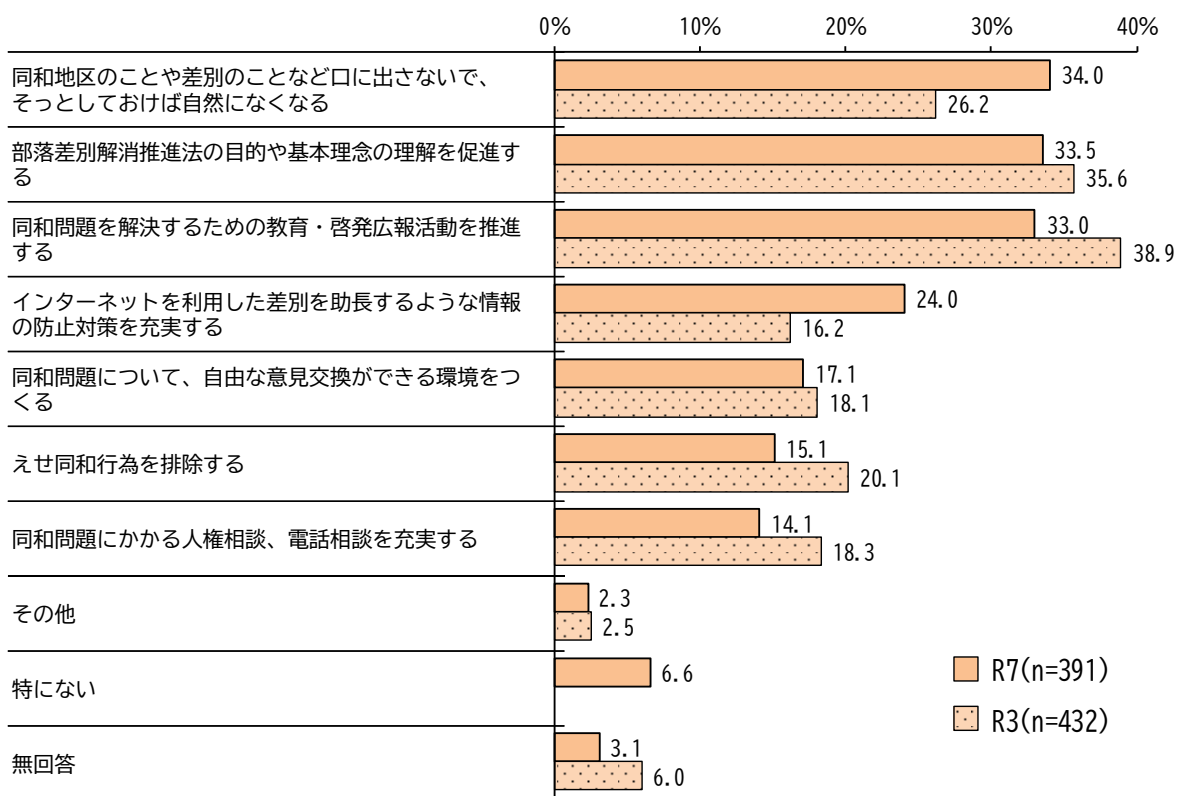
R3は同和問題(部落差別)を「聞いたことがある」「知っている」の回答者

## 11 同和問題を解決するために必要なこと

問 30 あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

同和問題を解決するために必要なことは、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」(34.0%)、「部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する」(33.5%)、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」(33.0%)が3割を超えて高く、次いで「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」(24.0%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」と「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」がともに7.8ポイント増加していますが、それ以外の項目はいずれも令和3年度調査より下がっています。



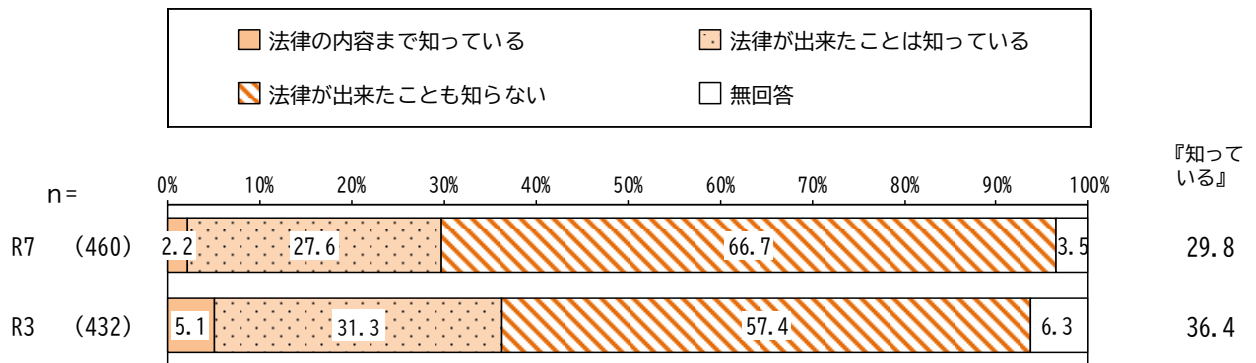
R3以前は同和問題（部落差別）を「聞いたことがある」「知っている」の回答者  
「特にない」はR7から

## 12 部落差別解消推進法の認知状況

問 31 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」(部落差別解消推進法)をご存知ですか。  
(○は1つ)

部落差別解消推進法の認知状況について、「法律の内容まで知っている」が2.2%、「法律が出来たことは知っている」が27.6%となっており、「法律が出来たことも知らない」が66.7%と6割半ばを超えています。

過去調査と比較すると、「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」ともに令和3年度より下がっており、二つを合わせた『知っている』は6.6ポイント減少しています。

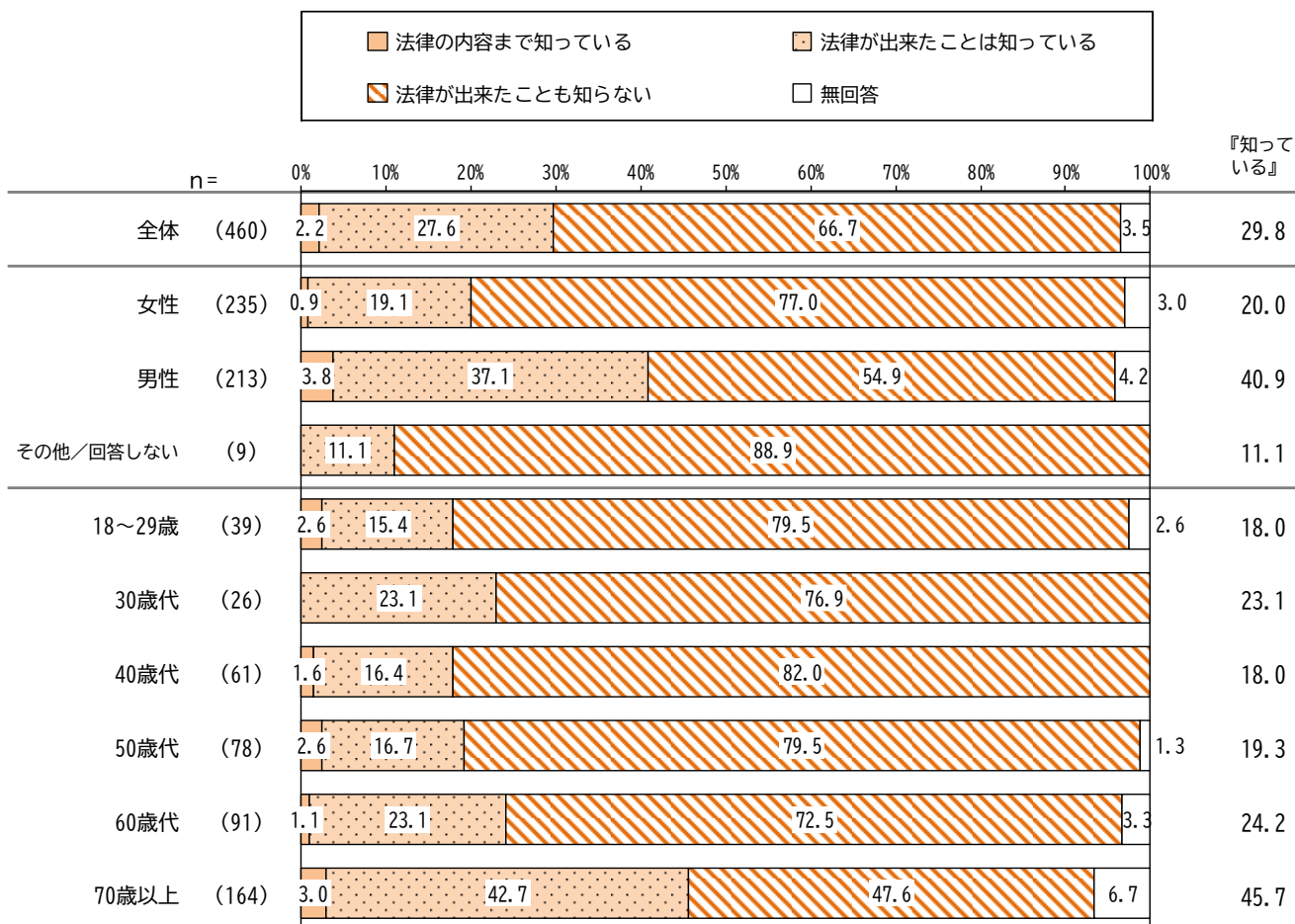


R3は同和問題(部落差別)を「聞いたことがある」「知っている」の回答者  
『知っている』:「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」の計

## 【性別・年代別】

性別で見ると、「法律が出来たことは知っている」は男性（37.1%）が女性（19.1%）を18.0ポイント大きく上回っており、「法律が出来たことも知らない」は女性で77.0%と7割半ばを超えています。

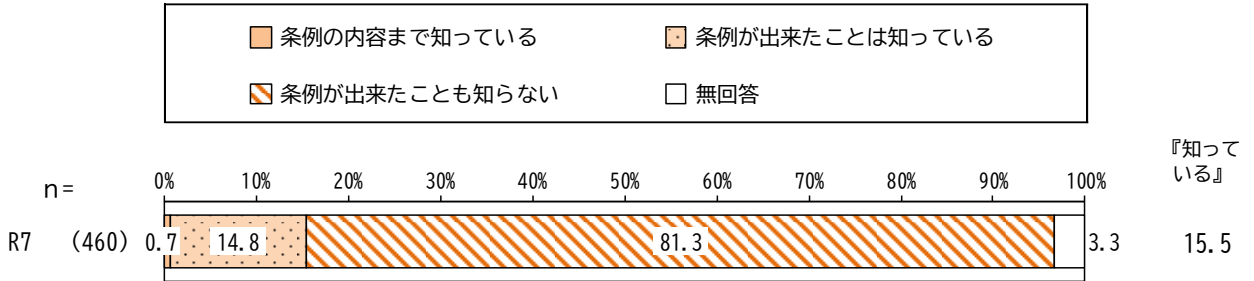
年代別で見ると、『知っている』は70歳以上で4割半ばを占めて他の年代より高くなっています。一方、「法律が出来たことも知らない」は60歳代以下で7割を超えています。



### 13 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例の認知状況

問 32 あなたは、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」をご存知ですか。(○は1つ)

埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例の認知状況について、「条例の内容まで知っている」が0.7%、「条例が出来たことは知っている」が14.8%となっており、「条例が出来たことも知らない」が81.3%と8割を超えています。

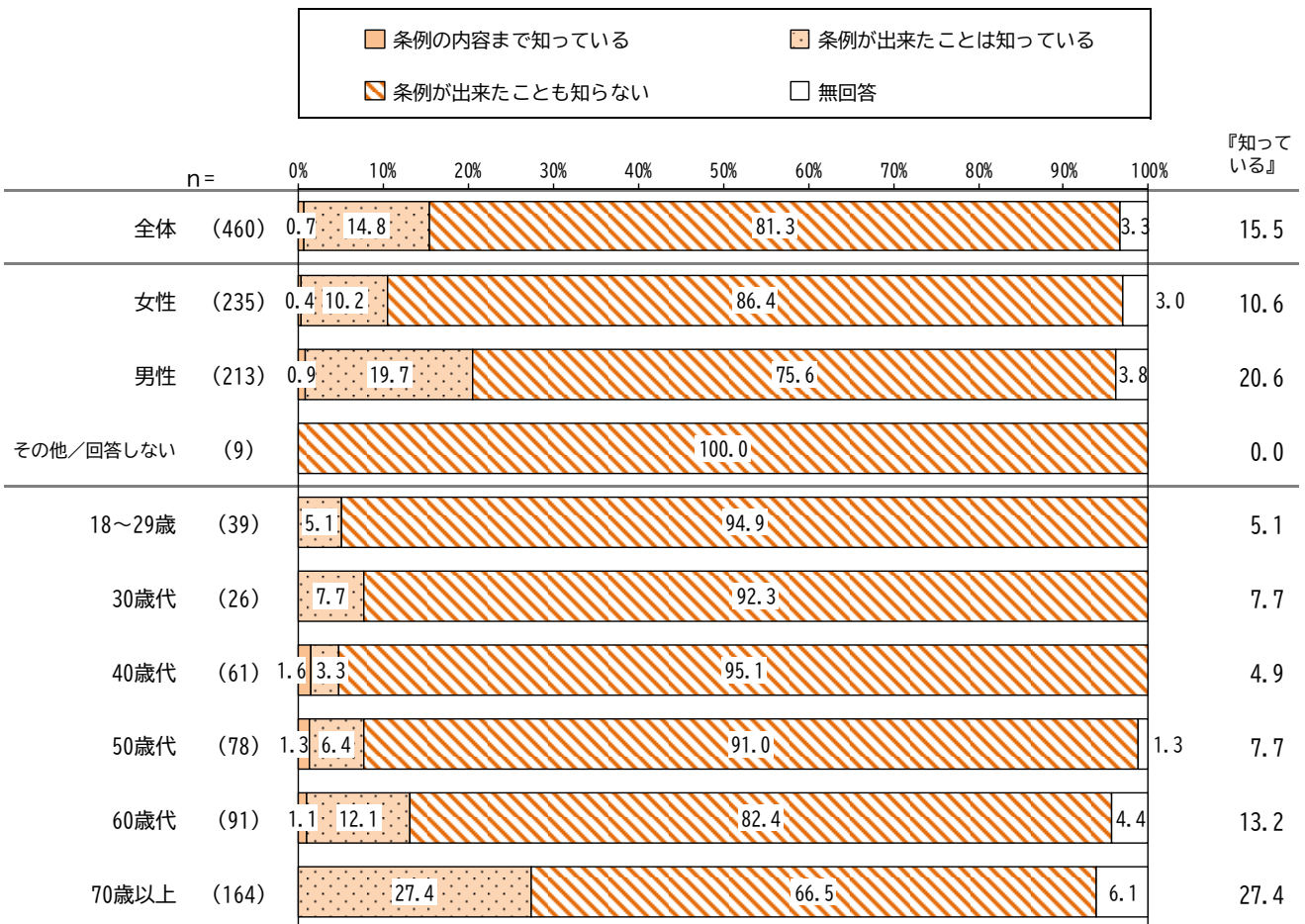


『知っている』: 「条例の内容まで知っている」と「条例が出来たことは知っている」の計

#### 【性別・年代別】

性別でみると、「条例が出来たことは知っている」は男性（19.7%）が女性（10.2%）を9.5ポイント上回っています。

年代別でみると、「条例の内容まで知っている」は30歳代以下と70歳以上で回答がありませんでした。「条例が出来たことは知っている」は70歳以上で2割半ばを超えており、他の年代よりも高くなっています。

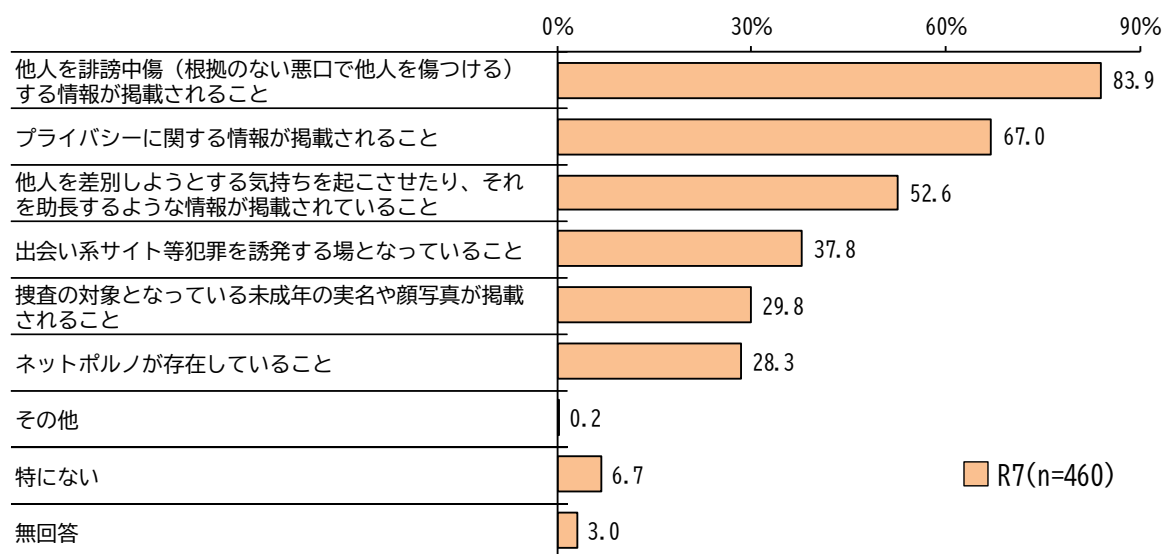


## 10 インターネットによる人権侵害について

### 1 インターネットによる人権侵害

問 33 あなたは、インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

インターネットによる人権侵害で特に問題があると思うことは、「他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること」（83.9%）が8割を超えて最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」（67.0%）、「他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること」（52.6%）が続いています。



## 【性別・年代別】

性別でみると、女性・男性ともに「他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること」が8割を超えて最も高くなっています。また、「その他」「特にない」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、「プライバシーに関する情報が掲載されること」「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」「捜査の対象となっている未成年の実名や顔写真が掲載されること」「ネットポルノが存在していること」で女性が男性を10ポイント以上大きく上回っています。

年代別でみると、すべての年代で「他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること」が8割を超えて最も高くなっています。また、30歳代と50歳代で「プライバシーに関する情報が掲載されること」が8割を超えて高く、30歳代では「他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること」や「ネットポルノが存在していること」も他の年代より高くなっています。

		回答者数 (n)	他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること	プライバシーに関する情報が掲載されること	出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること	捜査の対象となっている未成年の実名や顔写真が掲載されること	他人を差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されていること
(単位:%)							
全 体		(460)	83.9	67.0	37.8	29.8	52.6
性別	女性	(235)	87.2	74.5	43.4	34.5	52.3
	男性	(213)	80.3	58.2	31.0	24.4	51.6
	その他/回答しない	(9)	77.8	77.8	44.4	22.2	66.7
年代別	18～29歳	(39)	92.3	69.2	33.3	35.9	46.2
	30歳代	(26)	88.5	84.6	46.2	19.2	76.9
	40歳代	(61)	90.2	70.5	39.3	24.6	57.4
	50歳代	(78)	83.3	80.8	32.1	41.0	47.4
	60歳代	(91)	81.3	60.4	38.5	30.8	57.1
	70歳以上	(164)	80.5	59.1	39.0	25.6	48.2

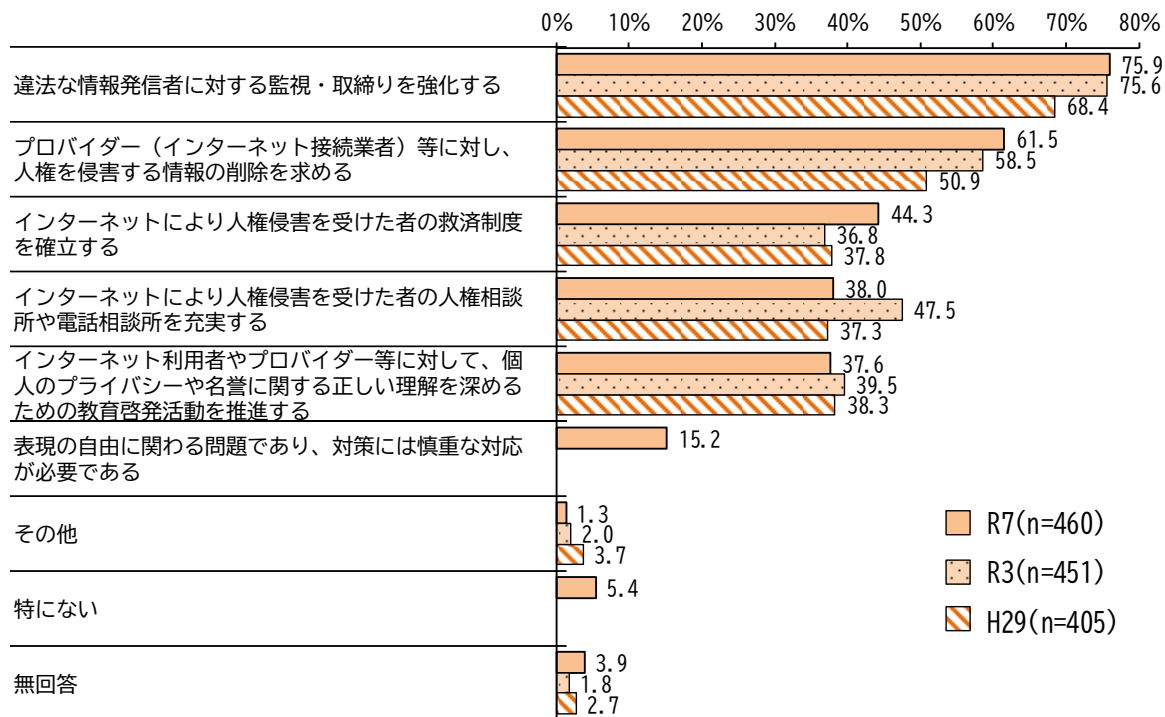
		回答者数 (n)	ネットポルノが存在していること	その他	特にない	無回答
(単位:%)						
全 体		(460)	28.3	0.2	6.7	3.0
性別	女性	(235)	34.9	0.0	4.3	2.1
	男性	(213)	18.8	0.5	9.4	4.2
	その他/回答しない	(9)	55.6	0.0	11.1	0.0
年代別	18～29歳	(39)	30.8	0.0	2.6	0.0
	30歳代	(26)	53.8	0.0	3.8	3.8
	40歳代	(61)	29.5	0.0	3.3	0.0
	50歳代	(78)	24.4	0.0	7.7	1.3
	60歳代	(91)	34.1	1.1	6.6	2.2
	70歳以上	(164)	21.3	0.0	9.1	6.1

## 2 インターネット等による人権侵害を解決するために必要なこと

問 34 あなたは、インターネットや携帯サイトによる人権侵害を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

インターネットや携帯サイトによる人権侵害を解決するため必要なことは、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(75.9%)が7割半ばを超えて最も高く、次いで「プロバイダー(インターネット接続業者)等に対し、人権を侵害する情報の削除を求める」(61.5%)、「インターネットにより人権侵害を受けた者の救済制度を確立する」(44.3%)が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「インターネットにより人権侵害を受けた者の救済制度を確立する」が7.5ポイント増加しており、反対に「インターネットにより人権侵害を受けた者の人権相談所や電話相談所を充実する」が9.5ポイント減少しています。



「プロバイダー(インターネット接続業者)等に対し、人権を侵害する情報の削除を求める」は、R3以前は「プロバイダー(インターネット接続業者)等に対し、情報の停止・削除を求める」  
 「表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である」「特になし」はR7から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が7割を超えて最も高くなっています。また、「その他」「特にない」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「インターネットにより人権侵害を受けた者の人権相談所や電話相談所を充実する」は10.6ポイント、「インターネットにより人権侵害を受けた者の救済制度を確立する」は8.3ポイント、女性が男性を上回っています。

年代別で見ると、すべての年代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高くなっています。また、40歳代以上で「プロバイダー（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求める」が6割を超えて高くなっています。30歳代以下では「インターネットにより人権侵害を受けた者の救済制度を確立する」が5割半ばを超えて、他の年代よりも高くなっています。

		回答者数 (n)	違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	プロバイダー（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求める	インターネット利用者やプロバイダー等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育啓発活動を推進する	インターネットにより人権侵害を受けた者の人権相談所や電話相談所を充実する	インターネットにより人権侵害を受けた者の救済制度を確立する
(単位:%)							
全体		(460)	75.9	61.5	37.6	38.0	44.3
性別	女性	(235)	77.4	61.7	38.3	43.0	47.7
	男性	(213)	73.7	59.6	36.2	32.4	39.4
	その他/回答しない	(9)	88.9	88.9	44.4	33.3	77.8
年代別	18～29歳	(39)	74.4	48.7	28.2	38.5	61.5
	30歳代	(26)	69.2	42.3	42.3	26.9	57.7
	40歳代	(61)	85.2	65.6	47.5	29.5	45.9
	50歳代	(78)	80.8	66.7	35.9	35.9	41.0
	60歳代	(91)	74.7	63.7	34.1	44.0	46.2
	70歳以上	(164)	72.0	62.2	38.4	40.2	38.4

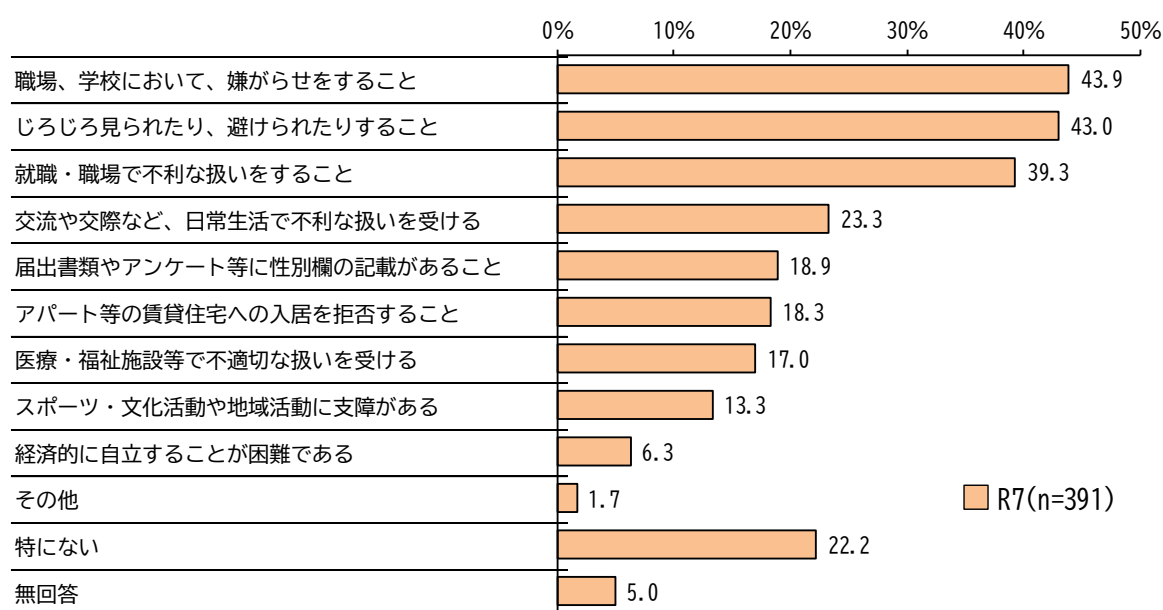
		回答者数 (n)	表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	その他	特にない	無回答
(単位:%)						
全体		(460)	15.2	1.3	5.4	3.9
性別	女性	(235)	15.7	0.4	4.7	3.0
	男性	(213)	13.6	2.3	6.1	5.2
	その他/回答しない	(9)	33.3	0.0	11.1	0.0
年代別	18～29歳	(39)	30.8	2.6	2.6	0.0
	30歳代	(26)	26.9	0.0	3.8	3.8
	40歳代	(61)	14.8	0.0	3.3	0.0
	50歳代	(78)	9.0	3.8	3.8	1.3
	60歳代	(91)	13.2	1.1	7.7	4.4
	70歳以上	(164)	14.0	0.6	6.7	7.3

# 11 性的少数者（LGBTQ等）の人権について

## 1 性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じる状況

問 35 あなたは、性的少数者(LGBTQ等)の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じる状況は、「職場、学校において、嫌がらせをすること」(43.9%)と「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(43.0%)が4割を超えて高く、次いで「就職・職場で不利な扱いをすること」(39.3%)、「交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受ける」(23.3%)が続いています。



## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性は「じろじろ見られたり、避けられたりすること」、男性は「職場、学校において、嫌がらせをすること」が最も高くなっています。また、「その他」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は女性（48.5%）が男性（36.2%）を12.3ポイント大きく上回っています。

年代別で見ると、すべての年代で「職場、学校において、嫌がらせをすること」が4割を超えて高くなっています。また、30歳代では「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が6割を超えて、他の年代よりも高くなっています。

	回答者数 (n)	職場、学校において、嫌がらせをすること	就職・職場で不利な扱いをすること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	スポーツ・文化活動や地域活動に支障がある	交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受ける	アパート等の賃貸住宅への入居を拒否すること	
全体	(460)	43.9	39.3	43.0	13.3	23.3	18.3	
性別	女性	(235)	46.4	43.0	48.5	14.9	26.0	21.7
	男性	(213)	40.8	35.7	36.2	10.8	19.7	13.1
	その他/回答しない	(9)	44.4	33.3	55.6	33.3	33.3	44.4
年代別	18～29歳	(39)	48.7	35.9	41.0	17.9	28.2	23.1
	30歳代	(26)	42.3	34.6	61.5	15.4	34.6	30.8
	40歳代	(61)	47.5	41.0	37.7	16.4	24.6	18.0
	50歳代	(78)	43.6	35.9	41.0	12.8	15.4	16.7
	60歳代	(91)	41.8	41.8	40.7	14.3	22.0	17.6
	70歳以上	(164)	43.3	40.9	44.5	10.4	24.4	16.5

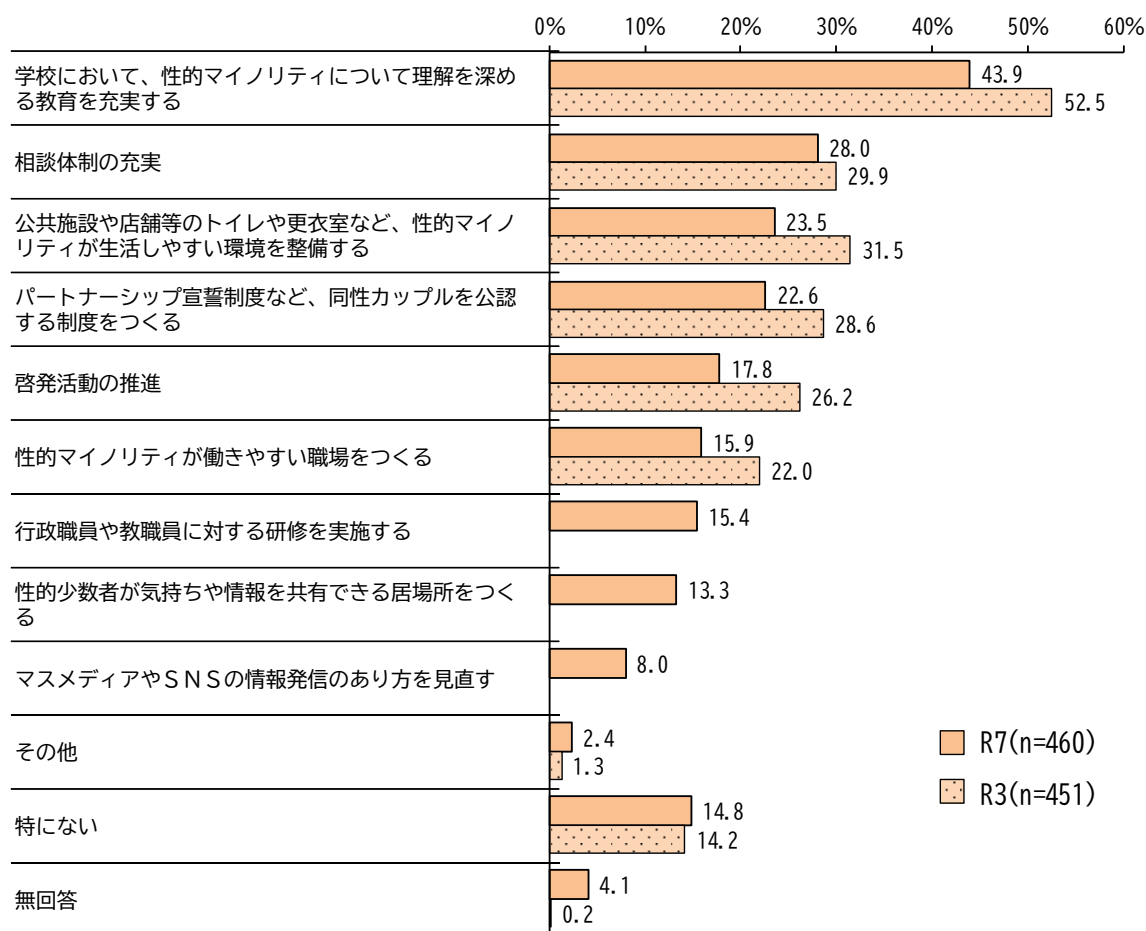
	回答者数 (n)	医療・福祉施設等で不適切な扱いを受ける	届出書類やアンケート等に性別欄の記載があること	経済的に自立することが困難である	その他	特になし	無回答	
全体	(460)	17.0	18.9	6.3	1.7	22.2	5.0	
性別	女性	(235)	20.4	22.6	6.8	1.7	17.0	5.5
	男性	(213)	12.2	13.6	5.2	1.9	27.7	4.7
	その他/回答しない	(9)	33.3	55.6	22.2	0.0	33.3	0.0
年代別	18～29歳	(39)	23.1	23.1	12.8	0.0	20.5	2.6
	30歳代	(26)	15.4	15.4	3.8	0.0	15.4	3.8
	40歳代	(61)	21.3	27.9	8.2	0.0	26.2	1.6
	50歳代	(78)	11.5	19.2	2.6	2.6	28.2	1.3
	60歳代	(91)	20.9	20.9	9.9	1.1	25.3	2.2
	70歳以上	(164)	14.0	14.0	4.3	3.0	17.7	10.4

## 2 性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要なこと

問 36 あなたは、性的少数者(LGBTQ等)の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要なことは、「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」（43.9％）が4割を超えて最も高く、次いで「相談体制の充実」（28.0％）、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」（23.5％）が続いています。

過去調査と比較すると、令和3年度調査より「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」「啓発活動の推進」が8ポイント以上減少しています。



「行政職員や教職員に対する研修を実施する」「性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる」「マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す」はR7から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が4割を超えて最も高くなっています。また、「公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する」は、女性が男性を14.7ポイント大きく上回っており、反対に「啓発活動の推進」は男性が女性を9.8ポイント上回っています。

年代別で見ると、すべての年代で「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が最も高くなっています。また、40歳代以下では「パートナーシップ宣誓制度など、同性カップルを公認する制度をつくる」が3割を超えて高く、特に18～29歳では4割半ばを超えて他の年代よりも高くなっています。

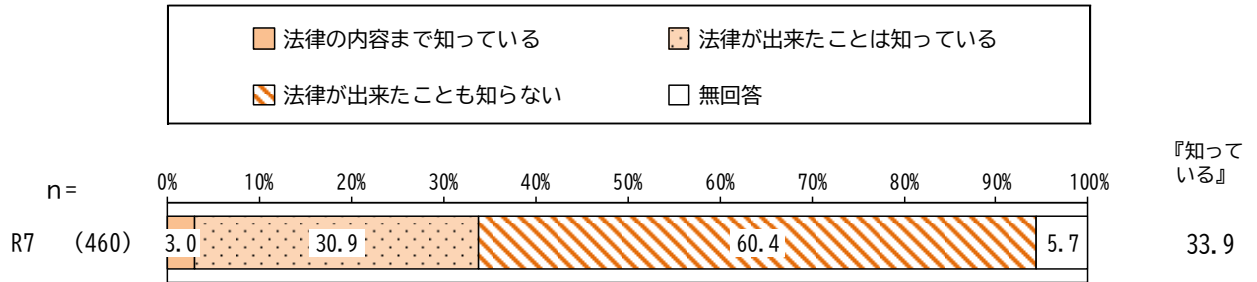
	回答者数 (n)	相談体制の充実	啓発活動の推進	学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する	行政職員や教職員に対する研修を実施する	パートナーシップ宣誓制度など、同性カップルを公認する制度をつくる	性的マイノリティが働きやすい職場をつくる	
(単位:%)								
全体	(460)	28.0	17.8	43.9	15.4	22.6	15.9	
性別	女性	(235)	28.9	13.2	43.8	19.1	26.8	17.9
	男性	(213)	28.2	23.0	43.7	11.3	17.8	13.6
	その他/回答しない	(9)	11.1	0.0	55.6	11.1	33.3	11.1
年代別	18～29歳	(39)	20.5	7.7	48.7	12.8	46.2	23.1
	30歳代	(26)	23.1	15.4	53.8	15.4	34.6	19.2
	40歳代	(61)	26.2	21.3	42.6	9.8	36.1	16.4
	50歳代	(78)	23.1	11.5	52.6	11.5	20.5	11.5
	60歳代	(91)	23.1	17.6	37.4	19.8	22.0	16.5
	70歳以上	(164)	36.6	22.0	41.5	17.7	11.6	15.2

	回答者数 (n)	公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する	性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる	マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す	その他	特になし	無回答	
(単位:%)								
全体	(460)	23.5	13.3	8.0	2.4	14.8	4.1	
性別	女性	(235)	30.2	12.8	6.8	3.4	10.6	4.3
	男性	(213)	15.5	13.1	9.4	1.4	19.2	4.2
	その他/回答しない	(9)	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0
年代別	18～29歳	(39)	15.4	17.9	15.4	0.0	12.8	2.6
	30歳代	(26)	26.9	7.7	7.7	0.0	11.5	3.8
	40歳代	(61)	19.7	9.8	6.6	3.3	16.4	1.6
	50歳代	(78)	25.6	9.0	5.1	3.8	17.9	1.3
	60歳代	(91)	28.6	17.6	9.9	0.0	18.7	2.2
	70歳以上	(164)	22.0	14.0	7.3	3.7	11.6	7.9

### 3 LGBT理解増進法の認知状況

問 37 あなたは、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」をご存知ですか。(○は1つ)

LGBT理解増進法の認知状況について、「法律の内容まで知っている」が3.0%、「法律が出来たことは知っている」が30.9%となっており、「法律が出来たことも知らない」が60.4%と6割を占めています。

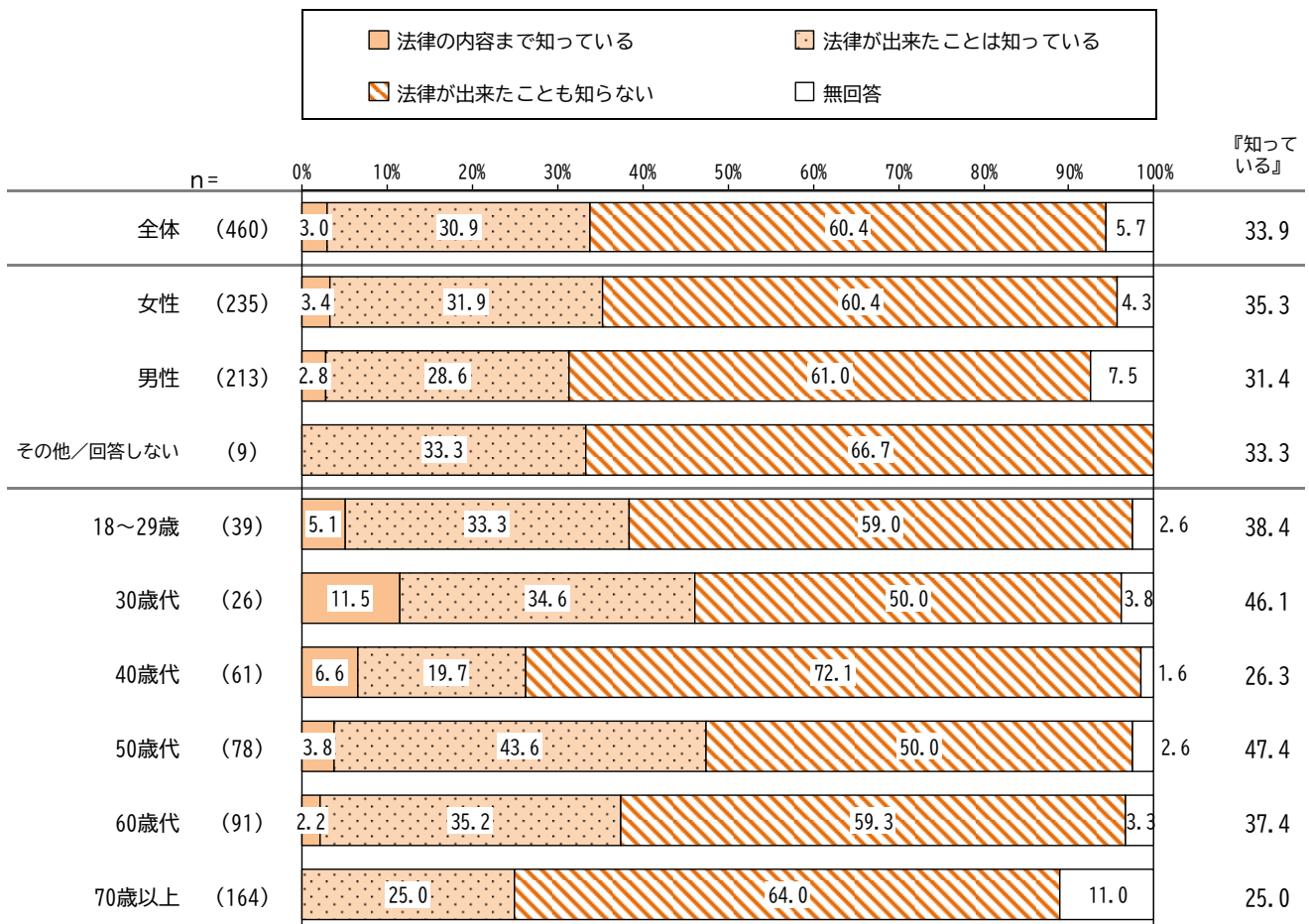


『知っている』: 「法律の内容まで知っている」と「法律が出来たことは知っている」の計

#### 【性別・年代別】

性別でみると、『知っている』は女性(35.3%)が男性(31.4%)を3.9ポイント上回っています。

年代別でみると、「法律の内容まで知っている」は40歳代以下で5%を超えており、特に30歳代では1割を超えて他の年代よりも高くなっています。「法律が出来たことは知っている」は40歳代と70歳以上以外のすべての年代で3割を超えています。



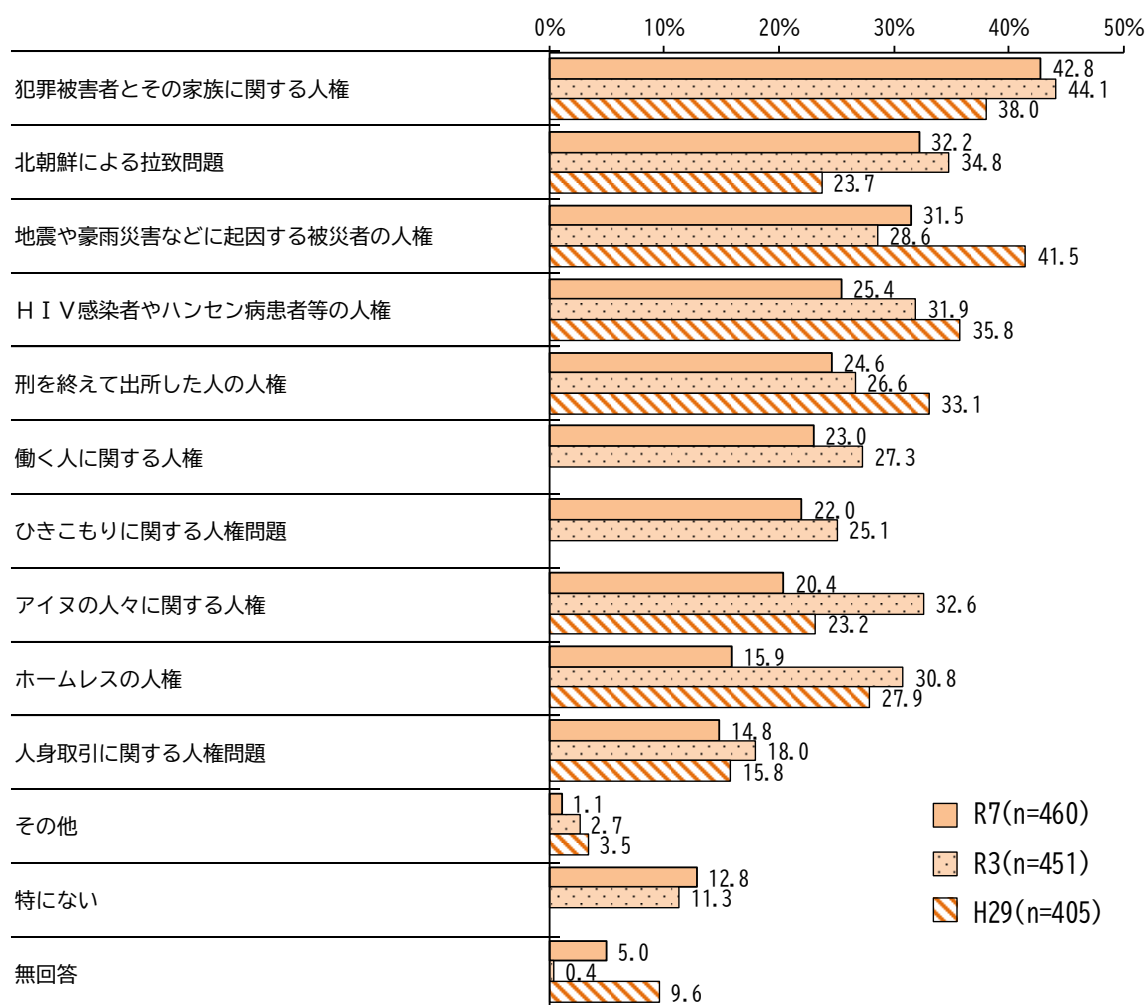
## 12 その他の人権問題について

### 1 その他にどのような人権問題があるか

問 38 あなたは、これまでお聞きした人権問題以外にどのような人権問題があると思われますか。  
(あてはまるものすべてに○)

その他にどのような人権問題があると思うかについて、「犯罪被害者とその家族に関する人権」(42.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「北朝鮮による拉致問題」(32.2%)、「地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権」(31.5%)が続いています。

過去調査と比較すると、「地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権」「特にない」以外のすべての項目で令和3年度調査より下がっており、特に「ホームレスの人権」が14.9ポイント、「アイヌの人々に関する人権」が12.2ポイントと、10ポイント以上減少しています。



「地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権」は、R3以前は「東日本大震災に起因する被災者の人権」  
「働く人に関する人権」「ひきこもりに関する人権問題」「特にない」はR3から

## 【性別・年代別】

性別で見ると、女性・男性ともに「犯罪被害者とその家族に関する人権」が最も高くなっています。また、「犯罪被害者とその家族に関する人権」は女性（47.2%）が男性（38.5%）を8.7ポイント上回っています。

年代別で見ると、30歳代以外のすべての年代で「犯罪被害者とその家族に関する人権」が最も高くなっており、30歳代では「働く人に関する人権」が6割を超えて他の年代よりも高くなっています。

(単位:%)		回答者数 (n)	アイヌの人々に関する人権	HIV感染者やハンセン病患者等の人権	刑を終えて出所した人の人権	犯罪被害者とその家族に関する人権	北朝鮮による拉致問題	ホームレスの人権	地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権
全体		(460)	20.4	25.4	24.6	<b>42.8</b>	32.2	15.9	31.5
性別	女性	(235)	18.7	26.4	23.8	<b>47.2</b>	30.6	14.5	34.9
	男性	(213)	23.0	24.9	24.9	<b>38.5</b>	34.3	16.0	29.1
	その他/回答しない	(9)	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1	<b>44.4</b>	11.1
年代別	18~29歳	(39)	23.1	28.2	23.1	<b>38.5</b>	23.1	23.1	<b>38.5</b>
	30歳代	(26)	26.9	26.9	26.9	34.6	30.8	23.1	34.6
	40歳代	(61)	16.4	18.0	14.8	<b>45.9</b>	24.6	11.5	29.5
	50歳代	(78)	20.5	23.1	23.1	<b>43.6</b>	25.6	15.4	29.5
	60歳代	(91)	19.8	30.8	20.9	<b>46.2</b>	34.1	14.3	36.3
	70歳以上	(164)	20.1	25.0	30.5	<b>41.5</b>	39.0	15.9	28.7

(単位:%)		回答者数 (n)	働く人に関する人権	人身取引に関する人権問題	ひきこもりに関する人権問題	その他	特にない	無回答
全体		(460)	23.0	14.8	22.0	1.1	12.8	5.0
性別	女性	(235)	22.6	14.9	20.9	1.3	10.6	5.5
	男性	(213)	23.5	14.1	22.1	0.9	14.6	4.7
	その他/回答しない	(9)	33.3	11.1	33.3	0.0	33.3	0.0
年代別	18~29歳	(39)	28.2	23.1	20.5	0.0	17.9	0.0
	30歳代	(26)	<b>61.5</b>	26.9	19.2	0.0	7.7	0.0
	40歳代	(61)	32.8	13.1	24.6	1.6	11.5	4.9
	50歳代	(78)	16.7	20.5	15.4	3.8	19.2	5.1
	60歳代	(91)	25.3	14.3	22.0	1.1	8.8	4.4
	70歳以上	(164)	14.0	9.1	24.4	0.0	12.2	7.3

## 13 自由回答

○ 最後に、人権問題についての意見等をご自由に記入してください。

人権問題についての意見等を自由回答で訊ねたところ、93人から回答がありました。紙面の都合上、抜粋した意見を以下に記載します。なお、内容については、意見の趣旨を損なわないよう一部修正したものもあります。

### 【自由回答】

回答内容（性別／年齢）
・学校などで人権問題についての教育をする機会を増やした方がいいと思いました。インターネットによる人権侵害が他の人権問題よりも身近というか、見たり聞いたりすることが多いと感じました。（女性／18歳～29歳）
・人権問題には多くの分野があるが、まずは多様性を認め合い、互いに尊重し合うことが大切だと考える。（女性／18歳～29歳）
・部落のことは小さい頃から親から聞いていました。時代とともに気にしない人達は増えていますが、やはり私の親より上の人達の理解は難しいと思います。実際に母方のいどこに身边を調査していた人を見たことがあります。あの人は部落だから、部落の人たちは何か事が起こると集団で何をしてくるかわからないから関わってはいけない、とか。個人の人間としてその人達と関わる時代になってくれるといいなと思います。（女性／30歳代）
・人権問題、というと大人でも堅苦しいというか、少し難しい問題に感じてしまう部分があると思います。子どもはより難しい問題、または自分には関係のないこと、と考える子がいてもおかしくないと思います。より身近に感じ、考えやすい環境づくりや分かりやすい言葉で説明をすること、考える場を設けることが大事だと考えています。（女性／30歳代）
・理解をする場、情報が少ないと思う。守られるのが当たり前という社会になるよう努力してほしい。たくさんの方の人が関わっていく問題だと思う。行政のひとつの窓口だけでなく、相談を受けた窓口が適切に支援に繋がられるようにしてほしい。当事者からの発信は重大になってからのことが大きい。そうならないためにも早く寄居町として重層的な体制を築いてほしいと思う。（女性／40歳代）
・身近なものもあれば、全くわかりにくい人権問題もあると思う。全ての人権が守られる地域、社会であってほしい。（女性／50歳代）
・個々の意識、年代の違いや捉え方によって、身近に起こりうるデリケートな問題だと思います。相談しやすい環境等を望みます。（女性／50歳代）
・自分が実際にその立場に立ってみないとわからないことが多いと思います。知識や事例をただ頭に入れるのではなく、考え、思い、できれば多くの人とロールプレイをし、意見を支援することで始めて理解できるのではないのでしょうか。（女性／60歳代）
・たくさんの人権問題がある事は、自分が直面してから気づく事もあるし、見えないところで苦しんでいる人も沢山いると思います。啓発活動や相談窓口等からの発信も必要で、これを機会に自分の置かれている立場から考えたいと思いました。（女性／60歳代）
・日々不自由なく生活しており、あまり人権問題について深く考えたことがありませんでした。今回このような形で人権について考えることができました。これからは、もっと真剣に考えてみたいと思います。みなが楽しく生活できたらいいなと思います。（女性／70歳以上）
・人権問題は難しい問題です。それぞれの人の思考、感情、成長過程や環境によって人権が侵害されている、という意識の相違があると思います。だからこそ法律や制度が必要とされて共通認識の中で平和で差別のない社会を育んでいきたいと願います。（女性／70歳以上）

<p>・精神障害者は、身体障害者や知的障害者に比べて社会の目が冷たく、サービスが不足していると感じる。例えば、電車の割引など。健常者に比べて車を運転することが難しく、維持費も払いにくいから公共交通機関を使わざるを得ないのに、精神障害者だけ割引が使えないことは不公平である。（男性／18歳～29歳）</p>
<p>・一言で人権問題と言っても簡単ではない。特に現代ではインターネットが日常的になってからより難しい。だからこそインターネットリテラシーを一人一人理解して行動しなければならないと思う。（男性／18歳～29歳）</p>
<p>・教育をする上で、それぞれの人権問題の背景を学び、自分はどう思うかを考えさせ、その上で他の人の意見を聞き、自分の考えが変わるか変わらないか再度考えてみる必要があるのではないと思う。（男性／30歳代）</p>
<p>・バランスが非常に重要だと考える。問題について思い考えすぎた結果、全体のバランスが崩れて新たな火種になることもありうる。今、自分は見たいことだけしか見ようとしてないかは、常に誰でも自問が必要と思う。人権問題の解決は権利を勝ち取る、というような認識で勝った負けたという話になると危うい。声の大きさ等に影響されない中道にいて判断できる人の存在が非常に大きいと思う。（男性／30歳代）</p>
<p>・障害がある方及び年配の方と触れ合う機会が少なすぎる。特に小さい頃から色々な方と触れ合わない距離が縮まらない。教科書だけではダメだと思う。実体験を積ませないと人権問題は、解決しない。（男性／40歳代）</p>
<p>・そもそも、自分と誰かを比較したり、相手よりも優位に立ちたい等、自分本位の考えにより様々な人権問題が発生すると思うので、まずは相手を理解しようとする行動が出来てくれば、人権問題は削減されると考えます。（男性／40歳代）</p>
<p>・人権は難しい問題ですが、解決することが肝要です。少しずつ、1つ1つを解決していくべき課題と認識します。（男性／50歳代）</p>
<p>・「人権」を意識することなく暮らせる社会が理想ですが、難しい問題だと思います。私にはトランスジェンダーの部下がいます。トランスジェンダーという点以外は、いわゆる一般人と何ら変わりありません。ですから、トランスジェンダーとして本人が希望する点を考慮し、守ってあげることで日常業務に何ら支障はありません。もちろん、我々もトランスジェンダーについて学び、理解を深めるようにしました。ある人権を守ることで、別の人権を侵害するようなことも起こると思います。とても繊細な問題だと思います。そこで大切なのは知り、学ぶということだと思います。少なくとも、人権が侵害されるような状況については、公正な広報で、我々が一つずつ考える機会が必要です。また社会全体として解決へのコンセンサスを得られるような社会を醸成していく必要があると思います。（男性／50歳代）</p>
<p>・思いやる気持ちの教育を子どもの頃に家族、学校、社会で育むことが必要ではないか。（男性／60歳代）</p>
<p>・これまで何度か人権問題を考えたことがあるが、自分に降りかからないと行動に移すことはないと思った。生きにくい世の中になってしまったと思う時があるが、いつの時代も人権尊重は、必要だと思い、これを機会に又考えて行きたいと思いました。（男性／60歳代）</p>
<p>・人権問題は幅広い。貧困、人種、性の問題等、つきつめて見るとお互いの尊重と福祉の観念が重要であります。人々は、仲間の意識、許し合える心、敬う気持ちが大事。人を責めず、共存共栄で良い社会を作っていきたい。（男性／70歳以上）</p>
<p>・今日、人権問題はインターネットの普及により広く、より深刻になりつつあると思います。「表現の自由」をはき違えた書き込み、悪意の自覚を持たない誹謗中傷による人権侵害、私にはわかりませんが、これらを規制する技術が確立されることを望みます。（男性／70歳以上）</p>
<p>・疑問に思ったのが、男性の人権について触れていないことです。女性や高齢者などの人権について考えている。一方、男性についての質問はありませんでした。男性についても同様に考える必要は十分にあると考えます。（その他／回答しない／18歳～29歳）</p>

## 14 調査のまとめ

### 1 回答者について

性別の構成割合は、女性 51.1%（前回調査 53.9%）、男性 46.3%（前回調査 45.0%）、「その他／回答しない」は 2.0%となっています。

年齢の構成割合については、70 歳以上が 35.7%と 3 割半ばを占めており、次いで 60～69 歳（19.8%）、50～59 歳（17.0%）が続いており、50 歳以上で 7 割を超えています。

回答方法については、紙調査票での回答が 8 割、webでの回答が 2 割となっており、前回調査とあまり差はありませんが、若年層の 30 歳代以下の年齢ではほぼ半数がweb回答を行っており、若年層のインターネット利用率の高さがうかがえます。

### 2 人権全般について

日本は人権が尊重されていると思う人が 68.0%（前回調査 73.8%）となっており、調査ごとに下降傾向がみられます。

具体的に関心のある人権問題については、「インターネットによる人権侵害」や「障害のある人の人権」が 4 割を超えて高く、次いで「女性の人権」、「高齢者の人権」が続いています。過去調査と比較すると、「高齢者の人権」、「犯罪被害者とその家族の人権」以外の項目はいずれも令和 3 年度調査より下がっていますが、今回調査から追加された「働く人に関する人権」（31.3%）、「北朝鮮による拉致問題」（28.7%）、「災害時における人権」（22.0%）への関心が高まっています。

これまで人権を侵害されたことがあると感じた人は、27.8%（前回調査 24.0%）で、その内容は「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」や「職場で不当な待遇やいじめ・嫌がらせ（パワーハラスメント等）を受けた」が 4 割を超えて高くなっています。

人権侵害された場合の対応については、「家族や親戚に相談する」が最も高くなっていますが、「県や町の相談窓口で相談する」や「国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する」の割合が前回調査から大きく増加しており、公的機関に相談する傾向が高まっていることから、今後も相談窓口のさらなる周知と相談体制の整備を継続していく必要があります。

### 3 女性の人権について

女性の人権が尊重されていないと感じる状況については、「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が 5 割を超えて最も高く、調査ごとに上昇傾向がみられます。

女性の人権を守るために必要なことについては、「男女平等や性についての教育の充実」、「相談体制の充実」の割合が高くなっています。また、「女性の就業機会の拡大や能力開発機会の拡充」の割合が前回調査から大きく増加しており、経済社会における女性の活躍が求められていることから、それに応じた女性の働きやすい職場環境の整備や、女性の就業機会の拡大が課題となっています。

## 4 子どもの人権について

---

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況については、「仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要」や「いじめなどに対して見て見ぬふりをする」が6割を超えて高くなっています。また、今回調査から追加された「ヤングケアラー（日常的に家事や家族の世話などを行っている子ども）問題」が38.0%となっています。

子どもの人権を守るために必要なことについては、「相談体制の充実」、「子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる」、「教師の人間性、指導力を高める」が前回調査から変わらず上位を占めていることから、引き続き子どもが助けを求めやすい相談体制づくりやいじめをなくすための教育が求められています。

また、「インターネットや携帯電話の利用等に関わる規則を強化する」の割合が前回調査より上がっており、インターネットやSNS等の有害情報からどのように子どもを守るか等、リテラシー教育の推進が課題となっています。

## 5 高齢者の人権について

---

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況については、「経済的な保障が十分でない」、「高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）」が高く、特にインフレや物価高の影響もあってか、「経済的な保障が十分でない」が5割を超えて前回調査よりも増加しています。

高齢者の人権を守るために必要なことについては、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」、「相談体制の充実」等の割合が前回調査から引き続いて高くなっており、高齢者が安心して相談できる窓口の拡充が必要となっています。

## 6 障害のある人の人権について

---

障害のある人の人権が尊重されていないと感じる状況については、「障害や障害のある人に対する理解が不十分」が65.7%と最も高くなっていますが、前回調査と比べるとその割合は減少しており、全体的に減少傾向が見られます。一方で、今回調査から追加された「福祉サービスが不十分」(29.6%)、「病院や施設等で本人の意思に反して自由を制限する」(11.5%)など、新たな課題も顕在化しました。

また、「アパート等の賃貸住宅への入居が難しいこと」が前回調査より増加しており、障害のある人が地域移行する上でのハードルとなっています。

障害のある人の人権を守るために必要なことについては、「相談体制の充実」、「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」、「建物の整備や公共交通機関の改善」、「就業機会の確保」の割合が依然として高くなっており、引き続きソフト面とハード面の両方の取り組みをバランス良く進めて行く必要があります。また、「学校で障害のある人を理解する教育を充実する」の割合が調査ごとに上昇傾向をみせており、学校での幼少からの教育の重要性が高まっています。

障害者差別解消法の認知度は33.9%と前回調査(33.7%)からほぼ変化がないため、周知・啓発をより一層推進していく必要があります。

## 7 外国人の人権について

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況については、「習慣の違いにより、地域に受け入れられにくいこと」と「就職活動や職場で不利な扱いを受けること」が3割半ばを超えて高くなっていますが、いずれの項目でも割合が前回調査より減少しており、「特にない」が増加しています。

外国人の人権を守るために必要なことについては、「相談体制の充実」と「外国語に翻訳し、日常生活に必要な情報を提供する」が3割を超えて高く、全体的に前回調査より減少していますが、「啓発活動の推進」は増加しています。

また、ヘイトスピーチ解消法の認知度も29.6%と前回調査(39.4%)より下がっており、外国人の人権についてさらなる周知・啓発を進める必要があります。

## 8 同和問題（部落差別）について

同和問題を『知っている』人は、年代ごとにみると40歳代以上では8割を超えていますが、30歳代以下では6割台と、若年層で低くなっています。

同和問題を知った時期については、40～50歳代では「7～12歳まで（小学生）」、他の世代では「13～15歳まで（中学生）」が最も高くなっています。

同和問題を知ったきっかけは、60歳代以下では「学校の授業」が最も高く、特に40歳代以下では5割以上となっています。また、60歳代以上では「家族や親戚から」が3割を超えています。

同和問題の起源の受け止めについては、すべての年代で「江戸時代に確立された身分制度によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も高くなっています。

同和問題（部落差別）が起こる場面・事例については、実際に起こった場面や事例では「結婚・交際」が、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、70歳以上で37.3%となっています。

インターネット上での同和問題（部落差別）に関する人権侵害の事例としては、30歳代で「個人を名指した悪口」、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が3割を超えて高くなっています。

同和問題に関する行動については、住宅や生活環境を選ぶ際に同和地区を『避ける』人が27.4%と忌避意識が前回調査(17.4%)より増加しています。一方で、子の結婚問題では、子どもの意思を尊重する割合が増加しており、自身の結婚問題では『結婚する』が6割半ばを超えています。結婚や就職時の身元調査では、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う」が21.0%、「身元調査をすることは当然のことだと思う」が3.1%と2割以上が身元調査を容認しており、差別意識は減少傾向にあるものの、いまだ根強く残っていることがうかがえ、同和問題の解決に向けたさらなる取り組みをしていく必要があります。

同和問題の解決に向けた具体的な取り組みについては、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」の割合が前回調査より増加しており、同和問題を正しく理解するためには、学校での人権教育が重要であり、正しい知識のさらなる周知・啓発が必要となっています。

また、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」の割合についても前回調査より増加しており、インターネット上の部落差別に対する問題意識が高まっていることがうかがえます。

なお、部落差別解消推進法についての認知度は29.8%（前回調査36.4%）、埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例の認知度は15.5%と低く、課題が残る結果となりました。

## 9 インターネットによる人権侵害について

---

インターネット上の人権侵害は大きな社会問題となっているため、最も関心のある人権問題と言えます。

特に問題があると思うインターネットによる人権侵害については、「他人を誹謗中傷（根拠のない悪口で他人を傷つける）する情報が掲載されること」が83.9%と8割を超えて高くなっており、インターネット等による人権侵害を解決するために必要なことについては、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が75.9%（前回調査75.6%）、「プロバイダー（インターネット接続業者）等に対し、人権を侵害する情報の削除を求める」が61.5%（前回調査58.5%）と調査ごとに上昇傾向をみせています。

デジタル化が急速に進展し、インターネット上には正確でない情報も多く存在しています。そのため、正しい情報を見極めるリテラシーが求められます。情報の受け手のリテラシー強化とともに、国の規制やプラットフォームの迅速な対応が求められています。

## 10 性的少数者（LGBTQ等）の人権について

---

性的少数者（LGBTQ等）の人権が尊重されていないと感じる状況については、「職場、学校において、嫌がらせをすること」、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が4割を超えて高くなっています。

性的少数者（LGBTQ等）の人権を守るために必要なことについては、「学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する」が4割を超えて最も高くなっています。

また、LGBT理解増進法の認知度が33.9%となっており、近年関心が高くなっている問題ですが、性（セクシュアリティ）の多様性への理解を深めていくことが必要です。

## 11 その他の人権問題について

---

これまでに訊ねた人権問題以外にどのような人権問題があると思うかについては、「犯罪被害者とその家族に関する人権」が42.8%（前回調査44.1%）、「北朝鮮による拉致問題」が32.2%（前回調査34.8%）、「地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権」が31.5%（前回調査28.6%）で3割を超えて高くなっています。調査ごとに項目の増減の変動が大きくなっており、調査時の社会情勢や関心の高い項目が上位に来る傾向がみられます。どの問題も知ることで理解が深まるため、これまで十分に周知されていなかった人権問題についても、より多くの人に認識してもらうための取り組みが必要です。

## 令和7年度 寄居町人権問題に関する町民意識調査 調査票

### 《ご協力をお願い》

町民の皆様には、日頃より教育行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

この調査は、人権・同和問題に関する住民の意識の現状を把握し、今後における寄居町の人権教育・啓発に役立てるため、町内にお住まいの満18歳以上の方の中から1,200人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。調査項目について、あなたが知っていることや日常考えていることを、ありのままご記入ください。

なお、**調査票に名前を書く必要はありません。また、調査内容を目的以外に使用したり、調査内容によりご迷惑をおかけすることは一切ございません。**

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年8月

寄居町・寄居町教育委員会・寄居町人権教育推進協議会

【ご記入にあたってのお願い】※郵送かインターネットでお答えください

#### ●郵送の場合

調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。

- ・宛名のご本人がご記入ください。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などが、お考えをお聞きの上、代理で記入してください。
- ・多くの質問は選択式となっています。あてはまる選択肢に「○」印を付けてください。また、「その他」に「○」印を付けた方は、( ) に具体的な内容を記入してください。
- ・回答終了後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和7年**9月30日(火)**までにポストに投函してください。

<QRコード>

#### ●インターネットの場合

- ・スマートフォンから二次元バーコードを読み込むか、又は、下記のURLを入力し、パスワード「」を入力して、専用ページからご回答ください。
- 回答は令和7年**9月30日(火)24時**までに送信完了してください。

<調査票フォームURL> <https://>

パスワード：

※お送りいただいたご回答は、個人を特定できないよう、取り扱っております。

※通信サービスの接続料金は、回答される方のご負担となりますのでご了承ください。

問い合わせ 寄居町人権推進課

〒369-1292 大里郡寄居町大字寄居1180-1

TEL：581-2121（内線251・252） FAX：581-1173

## ●あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの性別(自認する性別でも可)をお答えください。(○は1つ)

- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. その他/回答しない |
|-------|-------|--------------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～29歳 | 3. 40歳～49歳 | 5. 60歳～69歳 |
| 2. 30歳～39歳 | 4. 50歳～59歳 | 6. 70歳以上   |

## 1. 人権全般についておたずねします

問3 あなたは、今の日本において、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(○は1つ)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

問4 現在、日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 女性の人権              | 10. アイヌの人々の人権         |
| 2. 子どもの人権             | 11. 犯罪被害者とその家族の人権     |
| 3. 高齢者の人権             | 12. 新型コロナウイルスに関する人権問題 |
| 4. 障害のある人の人権          | 13. 北朝鮮による拉致問題        |
| 5. 同和問題(部落差別)         | 14. 災害時における人権         |
| 6. 外国人の人権             | 15. 働く人に関する人権         |
| 7. インターネットによる人権侵害     | 16. その他( )            |
| 8. 性的少数者(LGBTQ等)の人権   | 17. 特にない              |
| 9. HIV感染者・ハンセン病患者等の人権 |                       |

問5 あなたは、これまであなた自身、またはあなたの身近な人(家族・友人など)の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(○は1つ)

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1. ある →問6へ | 2. ない →問7へ | 3. わからない →問8へ |
|------------|------------|---------------|



問9 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談体制の充実
2. 啓発活動の推進
3. 男女平等や性についての教育の充実
4. 女性の就業機会の拡大や能力開発機会の拡充
5. 議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する
6. 女性が暴力等の被害から逃避するための緊急避難所（シェルター）の整備
7. 女性が被害者になる犯罪の取締りの強化
8. 捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする
9. テレビや雑誌など、メディアの倫理規定の強化
10. その他（ )
11. 特にない

### 3. 子どもの人権についておたずねします

問10 あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 教師による子どもへの体罰等
2. 保護者等による子どもへの暴力・虐待
3. 仲間はずれ、無視、身体への直接攻撃、相手が嫌がることの強制・強要
4. いじめなどに対して見て見ぬふりをすること
5. 親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない
6. 児童売春・児童ポルノ等
7. ヤングケアラー（日常的に家事や家族の世話などを行っている子ども）問題
8. その他（ )
9. 特にない

問11 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談体制の充実
2. 啓発活動の推進
3. 子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる
4. 校則や規則を再検討する
5. 教師の人間性、指導力を高める
6. 地域の人々に関心を持って接する
7. 家庭教育の充実
8. 児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする
9. インターネットや携帯電話の利用等に関わる規則を強化する
10. その他（ )
11. 特にない

## 4. 高齢者の人権についておたずねします

問 12 あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 経済的な保障が十分でない
2. 働ける能力を発揮する機会が少ない
3. 施設などのサービス体制が十分でない
4. 病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりする
5. 高齢者に冷たい態度を取ったり、相手にしなかったりすること
6. 高齢者に対する悪徳商法（オレオレ詐欺、振り込め詐欺等）
7. 高齢者に対する虐待やいじめ
8. 判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害がある
9. 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある
10. その他（ )
11. 特にない

問 13 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談体制の充実
2. 啓発活動の推進
3. 就業機会の確保
4. 建物の整備や公共交通機関の改善
5. 高齢者とほかの世代との交流を促進する
6. 判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する
7. 成年後見制度<sup>\*</sup>など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用促進
8. 悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る
9. 本人の意思を尊重した介護を行う
10. その他（ )
11. 特にない

### ※成年後見制度とは？

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度で、大きく分けると、法定後見制度と任意後見制度の2つの制度があります。







問 25 あなたは、同和問題(部落差別)に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。あるとしたら、どのような内容のものでしたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 個人を名指した悪口          | 5. その他 ( )           |
| 2. 個人を名指ししない、集団に対する悪口 | 6. 見たことがない           |
| 3. 旧同和地区名の公表          | 7. インターネットを利用したことがない |
| 4. 差別の呼びかけ            |                      |

問 26 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、仮にその場所が同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。(○は1つ)

- |                  |                |          |
|------------------|----------------|----------|
| 1. 気にしない         | 3. どちらかといえば避ける | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば気にしない | 4. 避ける         |          |

問 27 あなたのお子さんの結婚相手が「同和地区」出身であるとわかった場合、あなたはどのように対応しますか。(○は1つ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 子どもの意思を尊重する                      |
| 2. 自分としては反対しないが、家族や親戚の反対があれば結婚は認めない |
| 3. 自分としては反対だが、子どもの意思が強ければ尊重する       |
| 4. 自分は反対であり、絶対に結婚は認めない              |
| 5. わからない                            |

問 28 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であると分かった場合、あなたはどうされますか。(○は1つ)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する     |
| 2. できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する |
| 3. 家族や親戚の反対があれば、結婚しない             |
| 4. 絶対に結婚しない                       |
| 5. わからない                          |

問 29 あなたは、結婚や就職の際に、同和地区出身者であるかについて身元調査することをどう思いますか。(○は1つ)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでない  |
| 2. よくないことだと思うが、ある程度はしかたないことだと思う |
| 3. 身元調査をすることは当然のことだと思う          |
| 4. わからない                        |

問 30 あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する
2. 同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する
3. 同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する
4. えせ同和行為を排除する
5. 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
6. インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する
7. 同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
8. その他 ( )
9. 特にない

→問 31 へ

問 31 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律<sup>※</sup>」(部落差別解消推進法)をご存知ですか。(○は1つ)

1. 法律の内容まで知っている
2. 法律が出来たことは知っている
3. 法律が出来たことも知らない

**※「部落差別の解消の推進に関する法律」とは？**

現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴い部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別のない社会を実現することを目的に制定された法律で、平成 28 年 12 月に施行されました。

この法律では、部落差別は許されないものであるとの認識のもと、国や地方公共団体の責務や相談体制の充実、教育及び啓発、部落差別に係る調査などについて規定されています。

問 32 あなたは、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例<sup>※</sup>」をご存知ですか。(○は1つ)

1. 条例の内容まで知っている
2. 条例が出来たことは知っている
3. 条例が出来たことも知らない

**※「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」とは？**

部落差別の解消に関し、基本理念を定め、県、県民及び事業者の責務を明らかにするとともに、部落差別の解消を総合的に推進するために必要な事項を定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的に制定された条例で、令和 4 年 7 月に施行されました。

この条例では、図書、地図その他資料の公表又は流布、インターネットの利用による情報の提供、結婚又は就職に際しての身元の調査、土地建物等を取引の対象から除外するための調査その他の行為による部落差別の禁止などについて規定されています。



問 35 あなたは、性的少数者(LGBTQ等)の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況等に対してですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場、学校において、嫌がらせをすること
2. 就職・職場で不利な扱いをすること
3. じろじろ見られたり、避けられたりすること
4. スポーツ・文化活動や地域活動に支障がある
5. 交流や交際など、日常生活で不利な扱いを受ける
6. アパート等の賃貸住宅への入居を拒否すること
7. 医療・福祉施設等で不適切な扱いを受ける
8. 届出書類やアンケート等に性別欄の記載があること
9. 経済的に自立することが困難である
10. その他 ( )
11. 特にない

問 36 あなたは、性的少数者(LGBTQ等)の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談体制の充実
2. 啓発活動の推進
3. 学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する
4. 行政職員や教職員に対する研修を実施する
5. パートナーシップ宣誓制度※など、同性カップルを公認する制度をつくる
6. 性的マイノリティが働きやすい職場をつくる
7. 公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、性的マイノリティが生活しやすい環境を整備する
8. 性的少数者が気持ちや情報を共有できる居場所をつくる
9. マスメディアやSNSの情報発信のあり方を見直す
10. その他 ( )
11. 特にない

**※パートナーシップ宣誓制度とは？**

パートナーシップ宣誓制度とは、地方自治体が、同性のカップルを「婚姻に相当する関係」と認め、自治体独自の証明書を発行する制度。

問 37 あなたは、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律<sup>\*</sup>」をご存知ですか。(○は1つ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 法律の内容まで知っている   | 3. 法律が出来たことも知らない |
| 2. 法律が出来たことは知っている |                  |

※「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」とは？

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性を受け入れる精神を涵養（かんよう）し、もって性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的に制定された法律で、令和5年6月に施行されました。

この法律では、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する施策の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の役割等を明らかにするとともに、基本計画の策定その他の必要な事項を定めることなどについて規定されています。

問 38 あなたは、これまでお聞きした人権問題以外にどのような人権問題があると思われますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. アイヌの人々に関する人権         |  |
| 2. HIV感染者やハンセン病患者等の人権   |  |
| 3. 刑を終えて出所した人の人権        |  |
| 4. 犯罪被害者とその家族に関する人権     |  |
| 5. 北朝鮮による拉致問題           |  |
| 6. ホームレスの人権             |  |
| 7. 地震や豪雨災害などに起因する被災者の人権 |  |
| 8. 働く人に関する人権            |  |
| 9. 人身取引に関する人権問題         |  |
| 10. ひきこもりに関する人権問題       |  |
| 11. その他 ( )             |  |
| 12. 特にない                |  |

○ 最後に、人権問題についての意見等をご自由に記入してください。


ご協力ありがとうございました。

この調査票は、三つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて**9月30日(火)**

までに郵便ポストへご投函ください。

なお、インターネットにて回答された方は、郵送での回答は不要です。

人権に関することでお困りのことやご相談がありましたら、  
下記の「人権相談窓口」にご連絡ください。

一人で悩まずに相談しましょう

## 人権相談窓口



様々な人権問題に関する相談

みんなの人権110番  
Tel 0570-003-110

セクハラ、家庭内暴力など女性かていないぼうりよくの人権じょせいの相談

女性の人権ホットライン  
Tel 0570-070-810

いじめ・虐待など子どもぎやくたいの人権じんけんの相談そうだん

子どもの人権110番  
Tel 0120-007-110

外国語がいこくごでの人権じんけんの相談そうだん (10言語対応げんごたいおう)

外国語人権相談ダイヤル  
Tel 0570-090-911

様々な人権問題に関するインターネット相談

インターネット人権相談受付窓口  
<https://www.jinken.go.jp>



お手元に残したい場合は、左の点線に沿ってハサミで切り取ってください。  
切り取った場合は、13ページまでのアンケート調査票部分のみご返送ください。

※切り取りの際はホチキスが外れないようご注意ください。

令和7年度

寄居町人権問題に関する町民意識調査

調査結果報告書

令和8年2月

発行：寄居町・寄居町教育委員会・寄居町人権教育推進協議会

住所：〒369-1292 大里郡寄居町大字寄居1180-1

電話 048-581-2121（内線251・252）

FAX 048-581-1173